

---

**大会長講演 第 1 会場 (福岡国際会議場 3 階 メインホール) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 9:00~9:30**

---

座長: 辻 貞俊 (国際医療福祉大学)

**PL 持続可能なてんかん学**  
Sustainable epileptology

- 赤松 直樹  
国際医療福祉大学医学部脳神経内科

---

**理事長講演 第 1 会場 (福岡国際会議場 3 階 メインホール) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 9:30~10:00**

---

座長: 安元 佐和 (福岡大学医学部総合医学研究センター)

**CL 医療変革の時代における日本てんかん学会の現状と課題**  
The Current Status and Challenges of the Japan Epilepsy Society in the Era of Medical Transformation

- 川合 謙介  
自治医科大学

---

**特別講演 1 第 1 会場 (福岡国際会議場 3 階 メインホール) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 12:55~13:55**

---

座長: 赤松 直樹 (国際医療福祉大学医学部脳神経内科)

**SL1 究極の医療は戦争をしないこと、させないこと~スーダン内戦を経験して~**  
The ultimate healthcare is not to go war, and not to let it happen~Experiencing the civil war in Sudan

- 川原 尚行  
認定 NPO 法人ロシナンテス

---

**特別講演 2 第 1 会場 (福岡国際会議場 3 階 メインホール) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 14:00~15:00**

---

座長: 赤松 直樹 (国際医療福祉大学医学部脳神経内科)

**SL2 Semiology of Focal Seizures**  
○ANDREW FABIAN BLEASEL  
Westmead Hospital, University of Sydney

大会長講演

理事長講演

特別講演

大会長特別企画 第 1 会場 (福岡国際会議場 3 階 メインホール) 第 2 日/9 月 13 日(金) 18:10~18:30

創作講談「病気だって友だち」

○加納 塩梅

医療法人財団緑雲会多摩病院/公益社団法人日本てんかん協会千葉県支部

シンポジウム 1 第 1 会場 (福岡国際会議場 3 階 メインホール) 第 1 日/9 月 12 日(木) 10:00~11:30

小児神経科医による VNS 治療

座長：下野 九理子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所)

田村 健太郎 (国立病院機構奈良医療センターてんかんセンター/脳神経外科)

【趣旨・狙い】

小児期発症てんかんの約 2 割が抗発作薬を適正に使用されても依然、発作コントロールが不良であると言われている。認知機能獲得に重要な発達期の小児にとって発作コントロールを少しでも改善することは重要である。しかし、本邦において実際には、どのような症例に、いつ適応するのが良いのか、対象となるてんかんが広いだけに判断の難しさがあり、また、脳梁離断術とどちらを優先するべきか迷うことも多い。2015 年から 2023 年まで VNS 埋め込み術を受けた患者数は年間平均 325 名であり、うち、18 歳以下の小児例は年間平均 62 例であり、欧米ほどには増えていない。VNS の設定調整は脳神経外科医以外のてんかん専門医でも可能であり、認定を取得した専門医の人数は全国に 673 名(小児科 319 名、脳神経外科 218 名、脳神経内科 81 名、精神神経科 54 名)と、小児科医が最も多い。小児期発症てんかんの場合には、VNS の植え込みをまず患者・保護者に提案するのは小児科医であるが、経験が少ないと説明しにくい実情があると考えられる。本シンポジウムでは VNS の調整と薬剤調整を実際に行なっている先生方に実臨床での経験や注意点を発表いただき、VNS 治療の可能性についてディスカッションしていきたい。

SY1-1 小児期発症てんかんにおける迷走神経刺激療法 (VNS)

VNS therapy for Child-onset Epilepsy

○下野 九理子<sup>1,2,4)</sup>、谷 直樹<sup>3,4)</sup>、貴島 晴彦<sup>3,4)</sup>

1)大阪大学大学院連合小児発達学研究所 2)大阪大学医学系研究科小児科

3)大阪大学医学部脳神経外科 4)大阪大学医学部附属病院てんかんセンター

SY1-2 VNS 療法を患者や家族に受け入れてもらうには？

How do we get patients and families to accept VNS therapy?

○本田 涼子

NHO 長崎医療センター小児科

SY1-3 北陸における小児神経科医が行う迷走神経刺激療法の現状

Vagus nerve stimulation therapy by pediatric neurologists in Hokuriku

○中川 裕康

浅ノ川総合病院小児科

**SY1-4 小児神経科医による VNS 治療 鹿児島県における取り組み**

VNS treatment by pediatric neurologists : A system in Kagoshima Prefecture

○丸山 慎介<sup>1,2)</sup>、東 拓一郎<sup>2,3)</sup>、泊 祐美<sup>2,3)</sup>、下村 育史<sup>1,2)</sup>、濱田 詩織<sup>1,2)</sup>、花谷 亮典<sup>2,3)</sup>

1)鹿児島大学病院小児科 2)鹿児島大学病院てんかんセンター 3)鹿児島大学病院脳神経外科

**SY1-5 本邦における VNS 治療の現状と小児神経科医参入への期待**

Current status of VNS Therapy and expectation of programming by pediatric neurologists

○山本 貴道、山添 知宏、川路 博史

聖隷三方原病院てんかん・機能神経外科

**シンポジウム 2 第2会場（福岡国際会議場 5階 501） 第1日/9月12日(木) 10:00~11:30****ウェアラブルデバイス開発の現状と展望**

座長：松本 理器（神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学分野）

**【趣旨・狙い】**

てんかん診療では、外来の診察室で発作が出現することは稀であり、的確な診断には入院での長時間ビデオ脳波モニタリング検査による発作記録や発作間欠期てんかん性放電の記録が重要となる。発作時対応には、発作の感知・予知による当事者、家族、介護者による転倒予防・即座の対応がてんかんを持つ人々のQOL向上には重要となる。世界で発作感知・予知の wearable device や在宅脳波計測に向けた超小型脳波計の開発が進んでいる。ウェアラブル機器開発の経験を有する我が国の研究者が、日本・世界での動向と展望を概説する。

**SY2-1 心拍変動を用いた2段階てんかん発作予知アルゴリズムの開発**

Development of Two-stage Algorithm for Predicting Epileptic Seizures Using Heart Rate Variability

○藤原 幸一

名古屋大学大学院工学研究科

**SY2-2 ウェアラブルデバイス開発の経験**

Trends in the Development of Wearable EEG Devices

○甲田 一馬<sup>1)</sup>、北村 竜也<sup>2)</sup>、保多 隆裕<sup>2)</sup>、松本 理器<sup>1)</sup>

1)神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学

2)神戸大学大学院医学研究科医療創成工学専攻医療機器システム学

**SY2-3 ウェアラブルデバイス開発の現状と展望**

Current Status and Prospects of Wearable Device Development for Epilepsy Monitoring

○宮島 美穂

東京医科歯科大学大学院精神行動医学分野

## シンポジウム 3 第 3 会場 (福岡国際会議場 5 階 502+503) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 10:00~11:30

## てんかんと周期性不機嫌症

座長：渡邊 さつき (埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科)

安元 眞吾 (久留米大学医学部神経精神医学講座)

## 【趣旨・狙い】

1900 年代の初めにドイツの精神科医である Kraepelin は、てんかん患者にみられる易刺激性や多彩な精神症状を伴う気分変動状態を、周期性不機嫌症として記述した。その後、1990 年代には、発作間欠期不快感分症という概念が提唱されたが、臨床概念や精神科診断体系における位置づけは未だ定まっていない。本シンポジウムでは、かつて Kraepelin が唱えた周期性不機嫌症について、各演者の臨床経験や研究を元に講演いただき、臨床概念や今後の展望について議論する。また、実臨床における不機嫌状態への対応についても意見交換する。

最近のてんかん学会での精神科関連の講演は、精神科以外の医師にとって分かりやすい内容としているものが多いが、本シンポジウムはあえて専門性の高い内容としている。精神医学とてんかん学の両側面から、てんかんの精神症状について深掘りしてみたいと思う。

## SY3-1 わたしの考える周期性不機嫌症

Consideration of periodic dysphoria in patients with epilepsy

○渡辺 裕貴

天久台病院精神科

## SY3-2 発作間欠期不快感分症の追跡研究

A follow up study of Interictal dysphoric disorder

○岩田 朋大<sup>1)</sup>、吉益 晴夫<sup>2)</sup>、吉野 相英<sup>1)</sup>

1) 防衛医科大学校精神科学講座 2) 埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック

## SY3-3 周期性不機嫌症から不快感分症へ

Evolution from periodische Verstimmung to dysphoric disorder

○吉野 相英

駒木野病院

## シンポジウム4 第4会場(福岡国際会議場 4階 411+412) 第1日/9月12日(木) 10:00~11:30

## 知的発達症とてんかん：臨床場面での課題と対応

座長：原 広一郎（浅井病院精神科）

宮本 雄策（聖マリアンナ医科大学小児科学）

## 【趣旨・狙い】

知的発達症(知的障害)はてんかんに高率に併存します。その性質上、病気の理解や治療への協力をいかにして得るか、侵襲性を伴う検査や手術に対しての自己決定、日常生活や自立に関する問題、さらに行動の障害や精神症状など、さまざまなハードルが存在します。これらが小児科から成人科へのトランジションの障壁となることも少なくなく、てんかんを診る各診療科共通の課題とも言えます。一方で、知的発達症をもつ患者の臨床については各科独自の視点があり、それぞれの対応の工夫や経験知が蓄積されています。本シンポジウムでは小児科、精神科、脳神経外科、脳神経内科の4診療科のエキスパートの先生方にご登壇頂きます。現状と課題、そして多様な視点と対応のヒントを共有することにより、知的発達症の臨床に対する理解を深め、ひいては成人科への移行促進につながることを期待したいと思います。

## SY4-1 小児の知的発達症とてんかん：円滑な移行医療を見据えて

Cognitive and behavioral consequences in children with epilepsy

○金村 英秋

東邦大学医学部小児科学（佐倉）

## SY4-2 神経発達症とてんかん：精神科ではどう対応しているか

Neurodevelopmental Disorders and Epilepsy：How Psychiatry is Approaching

○谷口 豪<sup>2)</sup>、中田 千尋<sup>1)</sup>、加藤 英生<sup>1)</sup>、大竹 眞央<sup>1)</sup>、藤 雄一朗<sup>1)</sup>、斉藤 聡志<sup>1)</sup>、  
梅田 真洋<sup>1)</sup>、嶋崎 広海<sup>1,2)</sup>、中川 栄二<sup>1)</sup>

1) 国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部 2) 公益財団法人西熊谷病院

## SY4-3 てんかん外科と知的発達症：臨床場面での対応のヒント

Epilepsy surgery for patients with intellectual developmental disorder：clinical practice and tips

○小野 智憲<sup>1,2)</sup>、本田 涼子<sup>1,3)</sup>、佐藤 和明<sup>1,4)</sup>

1) 国立病院機構長崎医療センターてんかんセンター

2) 国立病院機構長崎医療センター脳神経外科 3) 国立病院機構長崎医療センター小児科

4) 国立病院機構長崎医療センター脳神経内科

## SY4-4 症例からふりかえる。何が治療を難しくさせたのか

Think about at the cases, What made it difficult to treatments of epilepsy with intellectual development disorder

○山崎 悦子、西田 拓司、橋本 陸美、今井 克美

NHO 静岡てんかん・神経医療センター

## シンポジウム 5 第 2 会場 (福岡国際会議場 5 階 501) 第 1 日/9 月 12 日(木) 14:00~15:30

## てんかん発作症候学 ビデオケースセッション

座長：上原 平 (国際医療福祉大学医学部脳神経内科)

## 【趣旨・狙い】

本セッションでは、てんかん発作の多様な症状とその診断、治療に関する知見をビデオケースを通じて共有し、理解を深めることを目的とする。大沢伸一郎先生は、救命救急センターに搬送される心因性非てんかん発作(PNES)の臨床像と症状を解説する。宇田武弘先生は、定位的頭蓋内脳波(SEEG)の普及によって、理解がますます重要になってきた島葉・弁蓋部起始発作を解説する。萩原綱一先生は、その中でも特に痛覚発作について詳しく説明する。白石秀明先生は、小児期に特有の発作症状を示す。遠藤文香先生は、重症心身障害者のてんかん診療の困難さと、ビデオ脳波同時記録の有用性を具体的な症例を通じて提示する。小林勝哉先生は、側頭葉病変を伴う難治性てんかん症例の発作時ビデオ脳波を紹介し、発作症候について議論する。本セッションを通じて、参加者が発作症候学に関する理解を深め、実臨床での診断や治療に役立てることを期待する。

## SY5-1 脳外科・救急領域でみる心因性非てんかん発作

Psychogenic nonepileptic seizures identified in neurosurgery and emergency department

○大沢 伸一郎<sup>1)</sup>、岩城 弘隆<sup>2)</sup>、小川 舞美<sup>3)</sup>、中里 信和<sup>3)</sup>、遠藤 英徳<sup>1)</sup>

1) 東北大学医学系研究科神経外科学分野 2) 道央佐藤病院

3) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

## SY5-2 定位的頭蓋内脳波を行った後のビデオ脳波モニタリングで捕捉した弁蓋部から島回起始の発作と手術予後

Seizures from opercular part and/or insula captured by SEEG evaluation

○宇田 武弘、川嶋 俊幸、田上 雄大、石本 幸太郎、高 沙野、後藤 剛夫  
大阪公立大学大学院医学研究科脳神経外科

## SY5-3 てんかん発作症候学 ビデオケースセッション (小児疾患)

Epileptic Seizure Symptomatology Video Case Session (Children)

○白石 秀明

獨協医科大学医学部小児科学

## SY5-4 痛覚発作

Painful somatosensory seizure

○萩原 綱一

福岡山王病院てんかん・すいみんセンター

## SY5-5 重症心身障害者におけるビデオ脳波の有用性—呆然とする発作—

The value of video-EEG monitoring for patients with disability

○遠藤 文香

南岡山医療センター小児神経科

**SY5-6 側頭葉画像変化を有する難治焦点てんかんの一例**

A patient of drug-resistant focal epilepsy with MRI abnormalities in temporal lobes

○小林 勝哉<sup>1)</sup>、下竹 昭寛<sup>2)</sup>、立田 直久<sup>1)</sup>、江頭 柊平<sup>1)</sup>、真田 悠希<sup>1)</sup>、菊池 隆幸<sup>3)</sup>、池田 昭夫<sup>4)</sup>

1) 京都大学大学院医学研究科臨床神経学 2) 国立病院機構宇多野病院脳神経内科

3) 京都大学大学院医学研究科脳神経外科学

4) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学

シンポジウム 6 第3会場 (福岡国際会議場 5階 502+503) 第1日/9月12日(木) 14:00~15:30

**向精神薬と自動車運転—エビデンスの社会実装—**

座長：山田 了士 (地方独立行政法人岡山県精神科医療センター)

中林 哲夫 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

**【趣旨・狙い】**

これまで、本邦の向精神薬の添付文書では、自動車運転等を禁止しているものが大半であった。一方、欧米では、自動車運転等を一律に禁止するのではなく、エビデンスに基づいて添付文書の注意喚起を規定し、医療者と患者との適切なリスクコミュニケーションを行うことが重要と考えられ、向精神薬の自動車の運転技能への影響の評価方法も検討されてきた。近年は、眠気等の副作用が少ない向精神薬の使用が可能になった状況を踏まえ、2022年12月に、厚生労働省より「向精神薬が自動車の運転技能に及ぼす影響の評価方法に関するガイドライン」が通知された。同時に、運転シミュレータを用いた評価系も開発され、本邦でも新薬と既承認薬の影響を評価する基盤は整った。現在は、向精神薬の影響の程度を判定する基準も策定中である。本シンポジウムでは、向精神薬が自動車の運転技能に及ぼす影響の評価方法と影響の程度の判定、国内で整備した運転技能の評価系、抗てんかん薬に関するエビデンスを概説し、適切なリスクコミュニケーションについても議論する。

**SY6-1 向精神薬の影響を評価する自動車運転試験ガイドラインと新規運転評価系の開発**

Development of guideline for driving performance test to evaluate the influence of psychotropic drugs and new driving evaluation system

○岩本 邦弘

名古屋大学大学院医学系研究科発達老年精神医学分野

**SY6-2 向精神薬が自動車運転に及ぼす影響を評価するための判定基準について**

Development of Criteria for Evaluating the Effects of Psychotropic Drugs on Motor Vehicle Driving Performance

○中林 哲夫

医薬品医療機器総合機構



**SY6-3 抗てんかん発作薬と自動車運転に関するエビデンス**

Evidence on anti-seizure medications and driving in patients with epilepsy

○河合 三穂子<sup>1)</sup>、佐治 木萌<sup>2)</sup>、松岡 絵美<sup>3)</sup>、岩本 邦弘<sup>4)</sup>、尾崎 紀夫<sup>5)</sup>、兼本 浩祐<sup>6)</sup>

1)愛知医科大学病院精神神経科 2)熊野病院 3)衣ヶ原病院

4)名古屋大学大学院医学系研究科発育・加齢医学

5)名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学 6)中部 PNES リサーチセンター

**SY6-4 てんかん治療におけるリスクコミュニケーション**

Risk communication in treatment of epilepsy

○渡邊 さつき

埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

---

**シンポジウム7 第4会場（福岡国際会議場 4階 411+412） 第1日/9月12日（木） 14:00～15:30**

---

**高齢者てんかん診療・研究の現状と課題**

座長：山野 光彦（東海大学医学部付属病院脳神経内科）

中野 美佐（市立吹田市民病院脳神経内科）

**【趣旨・狙い】**

日本は「超高齢社会」と定義されから10年以上経過し、今後も高齢社会化が継続すると推測される。てんかん領域においても「高齢者てんかん」が注目されるようになり、そのマネジメントは、小児期・成人期でのてんかんとは異なる特殊性を重視した診断や治療が必要となる。特に高齢者てんかんは、脳血管障害、認知症、さらには自己免疫介在性てんかんなど、原因が多岐にわたり、それぞれの領域における診療・研究の進歩がみられる。本シンポジウムでは、高齢者てんかんの疫学調査から、原因、診断、治療、また特に高齢者の発症率が高いとされるてんかん重積状態の診断や治療に至るまで、エキスパートの演者の先生方にご講演頂き、本領域の診療・研究の現状と今後の課題について考察する。

**SY7-1 高齢者てんかんの疫学**

Epidemiology of epilepsy in the elderly

○田中 章浩

京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経内科学

**SY7-2 自己免疫と高齢者てんかん**

Autoimmune epilepsy in the elderly

○下竹 昭寛<sup>1)</sup>

1)国立病院機構宇多野病院脳神経内科

2)京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

**SY7-3 脳卒中とてんかん**

Stroke and Epilepsy

○田中 智貴

国立循環器病研究センター



**SY7-4 背景病態を考慮した高齢発症てんかんの治療**

Medical treatment of late-onset epilepsy considering the underlying and comorbid pathology

○松本 理器

神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学分野

**SY7-5 高齢者のてんかん重積状態**

Status epilepticus in the elderly

○吉村 元

神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科

---

シンポジウム 8 第 1 会場 (福岡国際会議場 3 階 メインホール) 第 1 日/9 月 12 日(木) 16:30~18:00

---

**てんかん診療における精神科医への期待**

座長：原 恵子 (原クリニック/東京医科歯科大学)

谷口 豪 (国立精神・神経医療研究センター)

**【趣旨・狙い】**

本邦では長年にわたり、多くの成人てんかん患者を精神科医が診療してきた。てんかんは様々な精神疾患の合併率が一般より高いこと、てんかんで見られる精神症状には発作後精神病などのてんかん特有のものもあること、てんかん専門施設でしばしば心因性非てんかん発作が診断されることから、精神科との連携が不可欠である。一方で、現在、精神科は当学会の会員数が減少し、精神科医のてんかん診療離れが危惧されている。精神科てんかん専門医のいない医療機関でてんかんを診療することはめづらしくない。てんかん診療に関わる各科の演者から、精神科医への期待や要望、精神科のてんかん診療の関わり方、現状と問題点、今後のあり方などを発表いただく。

研究の面においても、精神科の研究対象は認知機能なども含む。てんかんは外科的治療に加えて様々な機能画像検査も進歩しており、精神科としても、てんかんを対象とすることや他の科との連携により、研究の幅が広がることが期待される。

**SY8-1 脳神経外科から精神科への期待**

What epilepsy surgeons expect from psychiatrists

○田村 健太郎

国立病院機構奈良医療センターてんかんセンター

**SY8-2 てんかん診療における精神科医への期待**

Expectations of Psychiatrists in Epilepsy Care

○白石 秀明

獨協医科大学医学部小児科学

**SY8-3 脳神経内科から精神科への期待**

What a neurologist expects from psychiatrists for managements of epilepsy

○代田 悠一郎

東京大学

**SY8-4 てんかん診療において精神科に期待される役割について**

The Expected Role of Psychiatry in Epilepsy Care

- 谷口 豪<sup>1)</sup>、中田 千尋<sup>1)</sup>、加藤 英生<sup>1)</sup>、大竹 真央<sup>1)</sup>、藤 雄一朗<sup>1)</sup>、斉藤 聡志<sup>1)</sup>、  
梅田 真洋<sup>1)</sup>、嶋崎 広海<sup>12)</sup>、中川 栄二<sup>1)</sup>

1) 国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部 2) 公益財団法人西熊谷病院

**SY8-5 指定発言**

- 古郡 規雄

獨協医科大学精神神経医学講座

---

**シンポジウム 9 第2会場（福岡国際会議場 5階 501） 第1日/9月12日(木) 16:30~18:00**


---

**てんかん外科治療と脳機能マッピング最前線**

座長：貴島 晴彦（大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学）

**【趣旨・狙い】**

てんかん焦点切除を目的とする際に行われる脳機能マッピングは、焦点検索の目的で挿入された硬膜下電極を使用する方法が第一に挙げられる。最近ではSEEGの電極も脳機能マッピングに使用することができる。さらに、覚醒下手術が実現したことにより、より精緻にマッピングし機能温存が計られることや皮質下の情報も得られることができるようになってきている。従来は電気刺激での機能誘発や阻害によって判定されていたが、最近ではタスクを行いその時の自発脳活動を測定する方法も用いられている。マッピングする脳機能に関しても、感覚運動や言語だけでなく、記憶や注意などの高次脳機能のマッピングも試みられている。本シンポジウムから、脳機能マッピングの tips や最新の情報が得られるものと期待している。

**SY9-1 頭蓋内電極による術前評価の実際**

Presurgical functional mapping using intracranial electrode

- 江夏 怜、三國 信啓

札幌医科大学

**SY9-2 皮質下連絡機能からせまる脳機能局在の解明**

Functional Brain Network Mapping using the state-of-the art electrical stimulation methods

- 松本 理器<sup>1)</sup>、菊池 隆幸<sup>2)</sup>、池田 昭夫<sup>3)</sup>、篠山 隆司<sup>4)</sup>

1) 神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学分野 2) 京都大学大学院医学研究科脳神経外科学  
3) 京都大学大学院医学研究科てんかん運動異常生理学  
4) 神戸大学大学院医学研究科脳神経外科学分野

**SY9-3 脳機能野マッピングの最前線**

Current status and future perspectives of functional brain mapping

○菊池 隆幸<sup>1)</sup>、澤田 真寛<sup>1)</sup>、下竹 昭寛<sup>2)</sup>、小林 勝哉<sup>3)</sup>、山尾 幸広<sup>4)</sup>、松本 理器<sup>5)</sup>、池田 昭夫<sup>6)</sup>、荒川 芳輝<sup>1)</sup>

- 1) 京都大学大学院医学研究科脳神経外科
- 2) 国立病院機構宇多野病院脳神経内科
- 3) 京都大学大学院医学研究科脳神経内科
- 4) 国立病院機構京都医療センター脳神経外科
- 5) 神戸大学大学院医学研究科・内科学講座脳神経内科分野
- 6) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

**SY9-4 深部電極による脳機能野マッピングと切除手術**

Functional mapping using SEEG electrodes and epileptic focus resection

○HUI MING KHOO<sup>1,2)</sup>、佐竹 祐人<sup>3)</sup>、佐藤 俊介<sup>3,5)</sup>、鐘本 英輝<sup>1)</sup>、末廣 聖<sup>3)</sup>、岩田 貴光<sup>1,2)</sup>、柳澤 琢史<sup>1,2)</sup>、谷 直樹<sup>1,2)</sup>、押野 悟<sup>1,2)</sup>、吉山 颯次<sup>3)</sup>、貴島 晴彦<sup>1,2)</sup>

- 1) 大阪大学大学院医学系研究科
- 2) 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター
- 3) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
- 4) 大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター
- 5) 医療法人松柏会榎坂病院

シンポジウム 10 第 3 会場 (福岡国際会議場 5 階 502+503) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 16:30~18:00

**てんかんセンターのない地域での診療連携**

座長：小野 智憲 (国立病院機構長崎医療センターてんかんセンター)

**【趣旨・狙い】**

厚生労働省と都道府県によるてんかん地域診療連携体制整備事業における支援拠点病院や、日本でてんかん学会が認定する包括的てんかん専門医療施設など、各地におけるてんかん医療メガセンターの増加と充実が近年目覚ましい。しかしその反面、地域格差問題はどのくらい着目され、そして解決されてきたのだろうか。日本各地には「てんかんセンターのない地域」で孤軍奮闘する専門医もたくさんおり、それぞれの地域背景が異なり、また利用できる資源やネットワークが限られながらも地域診療連携を構築したり、センターを新たに立ち上げたり、独自の工夫で現状を打開している。彼らがこれまでどういう困難に直面し、そしてどう解決したのかという経験は必ずやこれから地域でてんかん診療体制を築き上げようとする者たちへの有益なメッセージとなるであろう。学会が進める高度医療提供施設の充実のみでは解決されない課題や、ギャップレス/ボーダーレスなてんかん医療の提供に地域が必要としているものは何なのかという問題についても議論の中で提議したい。

**SY10-1 てんかんセンターのない地域での診療連携～小児科の立場から～**

Medical collaboration in areas without epilepsy centers—From the pediatric perspective

○池田 ちづる

国立病院機構熊本再春医療センター小児科

**SY10-2 単独専門医としての取り組み：福井県におけるてんかん診療の現場から**

Challenges in Epilepsy Care as the Only Specialist in Fukui

○今村 久司、高木 廣平、福永 晃久、山中 治郎、早瀬 史子、高野 誠一郎  
福井赤十字病院

**SY10-3 医療資源の疎な地域でのてんかん診療連携：地域てんかん診療拠点を立ち上げるには**  
Sustainable Medical Collaboration in Epilepsy : To develop regional epilepsy center

○高橋 章夫<sup>1)</sup>、井田 久仁子<sup>2)</sup>、間島 竹彦<sup>3)</sup>、山浦 美和子<sup>4)</sup>、岩丸 樹<sup>5)</sup>、狩野 未樹<sup>6)</sup>、  
宮城島 孝昭<sup>7)</sup>、板橋 悠太郎<sup>7)</sup>、伊部 洋子<sup>8)</sup>

- 1) 国立病院機構渋川医療センター脳神経外科
- 2) 国立病院機構渋川医療センター小児科
- 3) 国立病院機構渋川医療センター精神科
- 4) 国立病院機構渋川医療センター医療福祉相談部
- 5) 国立病院機構渋川医療センター看護部
- 6) 国立病院機構渋川医療センターリハビリテーション部
- 7) 群馬大学医学部脳神経外科
- 8) 群馬大学医学部リハビリテーション科

**SY10-4 大分県におけるてんかん診療連携体制の整備とてんかん診療への DX 活用**

Development of a cooperative system for epilepsy care in Oita Prefecture and the use of  
DX for epilepsy care

○松田 浩幸<sup>1,2)</sup>

- 1) 大分大学医学部附属病院医療情報部
- 2) 大分大学医学部脳神経外科

シンポジウム 11 第 4 会場 (福岡国際会議場 4 階 411+412) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 16 : 30~18 : 00

**てんかんクリニックの運営の現状と課題**

座長：川崎 淳 (川崎医院)

池田 仁 (てんかん・神経大阪南森町いけだクリニック)

**【趣旨・狙い】**

てんかん専門医の大部分は病院や諸施設に勤務しているが、クリニックで診療にあたるてんかん専門医も約 14% を占めるようになってきている。彼らの多くはいわゆるプレイング・マネージャーであるため、医療行為以外の多くの業務を兼務することになる。また、地域の医療機関として存続するために経営的な安定も必要となる。このセッションでは、てんかんクリニックの現状、クリニックならではの利点や問題点、包括的てんかん医療における存在意義、今後の課題などについて、実際にクリニックで活躍している演者の先生方からのお話をふまえてディスカッションしたい。

**SY11-1 てんかん専門クリニックを成功させるために**

What is the contribution of Epilepsy Clinic for people with Epilepsy?

○渡邊 雅子

医療法人社団千紫会新宿神経クリニック

**SY11-2 てんかん専門クリニックを名乗るからには**

Pride and responsibilities to be an epilepsy clinic

○小出 泰道

小出内科神経科

**SY11-3 定年前後での開業とコロナ禍**

Going into practice around retirement age and covid-19 pandemic

○久保田 英幹、久保田 裕子

日本橋神経クリニック

**SY11-4 地域に根ざしたてんかん診療**

Community-based epilepsy care.

○高尾 明

高尾クリニック

---

**シンポジウム 12 第 1 会場 (福岡国際会議場 3 階 メインホール) 第 2 日/9 月 13 日(金) 9:00~10:30**

---

**てんかんの遠隔診療**

座長：山内 秀雄 (埼玉医科大学病院てんかんセンター・小児科)

**【趣旨・狙い】**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う日本政府の時限的特例的対応として許可された電話診療が廃止された。代わりに令和 4 年度の診療報酬改訂では、情報通信機器を用いたオンライン診療における指導料加算の適応の領域拡大が認められるようになった。オンライン診療の本格的な到来である。てんかん診療になじみやすく、急速に普及してゆくことが推察される。本シンポジウムでは東日本大震災を契機とする遠隔診療から始まり今日のオンライン診療に至るまでの 10 年以上にわたる道のりと今後の問題点、てんかん地域診療連携体制整備事業の目的であるてんかん診療における地域連携体制モデルの確立という観点からみたオンライン診療の役割、さらにてんかん専門医療施設におけるオンライン診療導入にあたっての課題について議論を行う。

**SY12-1 てんかん遠隔診療の光と影：12 年の経験から**

Light and shadow of remote epilepsy clinic : from 12 years of experience

○中里 信和

東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

**SY12-2 包括的てんかん専門医療施設へのオンライン診療導入の経験**

Experience in introducing online medical care to a comprehensive specialized medical facility for epilepsy

○山内 秀雄

埼玉医科大学病院小児科

**SY12-3 てんかん遠隔診療とてんかん地域診療連携体制整備事業**

Epilepsy telemedicine and the Epilepsy Regional Clinical Cooperation System Project

○中川 栄二

国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

---

シンポジウム 13 第2会場 (福岡国際会議場 5階 501) 第2日/9月13日(金) 9:00~10:00

---

### てんかんの神経心理学的探究

座長：赤松 直樹 (国際医療福祉大学医学部脳神経内科)

#### 【趣旨・狙い】

てんかんの神経心理学的研究は、てんかん患者の背景にある神経心理学的特徴を知ることができるので、臨床に役立つとともにてんかんを理解する上で学問的にも興味深い。本シンポジウムでは、側頭葉てんかん患者での、意識決定機能、表情認知機能、嗅覚機能におけるその特徴を明らかにした3研究について発表をお願いした。演者の先生方は、てんかんの国際誌に研究成果を報告されている研究者である。側頭葉てんかんの臨床においては、患者が直面する日常生活での困難にこれらの神経心理学的な機能障害が関連している可能性を考慮して診療にあたる必要がある。今後、神経心理学を探究する研究者の一助となればと思い、本シンポジウムを企画した。

#### SY13-1 側頭葉てんかんの意思決定機構

Decision-making in patients with temporal lobe epilepsy

○山野 光彦

東海大学医学部付属病院脳神経内科

#### SY13-2 側頭葉てんかんの表情認知機能

Facial emotion recognition in temporal lobe epilepsy

○田中 章浩

京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経内科学

#### SY13-3 てんかんの嗅覚機能障害の特徴

Characteristics of olfactory dysfunction in patients with temporal lobe epilepsy

○元木 文子<sup>1)</sup>、Naoki Akamatsu<sup>2)</sup>、Tomoyuki Fumuro<sup>3)</sup>、Ayako Miyoshi<sup>4)</sup>、Hideaki Tanaka<sup>5)</sup>、

Koichi Hagiwara<sup>4)</sup>、Shinji Ohara<sup>6)</sup>、Takashi Kamada<sup>7)</sup>、Hiroshi Sigeto<sup>8)</sup>、Hiroyuki Murai<sup>2)</sup>

1) International University of Health and Welfare Graduate School of Medicine Doctoral Program

2) International University of Health and Welfare Graduate School of Medicine Department of

Neurology 3) Oita University School of Medicine Department of Advanced Medical Sciences

4) Fukuoka Sanno Hospital Neuroscience Center

5) Fukuoka University Hospital Department of Neurology 6) Ohara Neurosurgery Clinic

7) Kurume University School of Medicine 8) Kyushu University Division of Medical Technology

## シンポジウム 14 第3会場 (福岡国際会議場 5階 502+503) 第2日/9月13日(金) 9:00~10:30

## てんかんと臨床心理：明日から役立つアプローチ

座長：岸本 百合 (医療法人天仁会天久台病院心理室)

小玉 聡 (東京大学神経内科学)

## 【趣旨・狙い】

このセッションは、てんかん診療と研究の最前線で活躍する心理専門職が提供するレクチャーシリーズです。普段、臨床心理に馴染みのないてんかん医療従事者を対象としています。

てんかん診療に従事する限り、患者の心理的・社会的問題を無視することはできません。心理専門職は、この問題に対処するプロフェッショナルです。セッションでは、「心理評価」と「社会支援」の2つの視点から、てんかん診療における心理専門職の役割を解説し、彼らの学術的な知識と実践的な経験を共有します。また、臨床心理的なアプローチを用いた最新の研究についても紹介します。

このセッションを通じて、参加者が心理専門職の専門性を理解し、その知見を日常の臨床や研究に取り入れることで、より包括的で効果的なてんかん診療と研究の実現を目指します。

## SY14-1 てんかん診療における心理検査の基本と解釈

Basics and Interpretation of Psychological Tests in Epilepsy Treatment

○笠井 良修

静岡てんかん・神経医療センター

## SY14-2 てんかん患児への心理支援

Psychological support for children with epilepsy

○成田 有里<sup>1,2)</sup>、浜野 晋一郎<sup>1,2,3)</sup>

1)埼玉県立小児医療センター保健発達部 2)埼玉県立小児医療センター小児てんかんセンター

3)埼玉県立小児医療センター神経科

## SY14-3 心理職からアプローチするてんかん患者への社会的支援

Social support for epilepsy patients approached by Psychologists

○岸本 百合、早田 真吾

医療法人天仁会天久台病院心理室

## SY14-4 てんかん診療における臨床心理学：最近の話題

Recent Advances in Clinical Psychology for Epilepsy

○小川 舞美、中里 信和

東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野



---

 シンポジウム 15 第1会場(福岡国際会議場 3階 メインホール) 第2日/9月13日(金) 10:40~12:10
 

---

**てんかんと妊娠 最新情報とマネジメントの実際**

座長：渡邊 さつき (埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科)

**【趣旨・狙い】**

本シンポジウムでは、てんかンを有する女性の妊娠・出産に関する多岐にわたる課題と最新の研究成果について扱う。まず産婦人科の観点から、抗てんかん薬が胎児に与えるリスクと、妊娠・出産期の発作管理の重要性について呈示いただく。次に、妊娠レジストリ研究に基づく抗てんかん薬の安全性と、その臨床応用に関する最新のデータが紹介される。また、妊娠可能年齢の女性に対する抗てんかん薬治療の現状とその課題、授乳と抗てんかん薬の関係、てんかん合併妊娠における葉酸補充の意義とその課題について議論する。これらの講演を通じて、てんかンを有する女性の妊娠・出産に関する理解を深め、最適な治療法およびマネジメントの確立を目指す。

**SY15-1 産婦人科からみたてんかん合併妊娠と出産**

Pregnancy and Delivery in Women with Epilepsy in Obstetric Practice

○佐世 正勝

山口県立総合医療センター産婦人科

**SY15-2 てんかんの妊娠レジストリ研究**

The study of epilepsy pregnancy registry

○大谷 英之

静岡てんかん・神経医療センター

**SY15-3 妊娠可能年齢女性の抗てんかん発作薬治療の実際**

Clinical Practice of antiseizure treatment in Women of Childbearing Age

○小出 泰道

小出内科神経科

**SY15-4 授乳と抗てんかん発作薬**

Breastfeeding and Mothers With Epilepsy

 ○原 恵子<sup>1,2)</sup>

1)原クリニック 2)東京医科歯科大学てんかんセンター

**SY15-5 てんかん合併妊娠と葉酸**

Folic acid supplementation for women with epilepsy

○大守 伊織

岡山大学学術研究院教育学域

## シンポジウム 16 第 2 会場 (福岡国際会議場 5 階 501) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 10:40~12:10

## SEEG の普及を目指して

座長：川合 謙介 (自治医科大学)

飯田 幸治 (広島大学病院てんかんセンター)

## 【趣旨・狙い】

ロボット支援下 SEEG の保険適用開始から 2 年が経過し、導入を検討中の施設も多いだろう。てんかん性ネットワークの 3 次元把握、低侵襲性、管理の容易さ等、SEEG の利点は先行する欧州で認識されていたがロボット支援下 SEEG の導入によって米国を中心に爆発的に普及している。本シンポジウムでは、先行して導入した施設から、その有効性と安全性、導入における施行体制確立や技術習得における課題と工夫を報告していただき、本邦での現状について共有する。一方、多くの施設で高額なロボットの導入は依然として困難な状況であることから、従来の定位フレームによる SEEG における工夫や効果についても報告いただき、その可能性と限界について共有する。

## SY16-1 ROSA one Brain system を用いた当科での SEEG の成績と今後の展望

Results and Future Prospects of SEEG Using ROSA One Brain System

○飯村 康司<sup>1,2)</sup>

1) 順天堂大学医学部脳神経外科 2) 順天堂医院てんかんセンター

## SY16-2 手術支援ロボットを用いた定位的頭蓋内脳波 (SEEG) 初期 16 例の検討

Early experience of stereotactic electroencephalography (SEEG) using surgical robot system for 16 patients

○香川 幸太<sup>1)</sup>、飯田 幸治<sup>2)</sup>、橋詰 顕<sup>1,2)</sup>、瀬山 剛<sup>1,2)</sup>、岡村 朗健<sup>1,2)</sup>、Askoro Rofat<sup>2,3)</sup>、堀江 信貴<sup>3)</sup>

1) 広島大学病院脳神経外科 2) 広島大学病院てんかんセンター

3) 広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学

## SY16-3 ロボット支援下 SEEG 導入により何が変わったか？

What has changed after the introduction of robot assisted SEEG ?

○久保田 有一、横佐古 卓、神部 茉由

東京女子医科大学附属足立医療センター

## SY16-4 非ロボットガイドによる SEEG と定位温熱凝固術

Non-robotic, frame-guided implantation of SEEG electrodes and radiofrequency thermocoagulation

○白水 洋史<sup>1,2)</sup>

1) 国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科

2) 国立病院機構西新潟中央病院視床下部過誤腫センター

---

シンポジウム 17 第 1 会場 (福岡国際会議場 3 階 メインホール) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 16:30~18:00

---

### てんかん学の歴史と未来 レジェンドからの提言

座長：花井 敏男 (福岡山王病院神経小児科)

辻 貞俊 (国際医療福祉大学)

#### 【趣旨・狙い】

てんかんは紀元前のヒポクラテスの時代から知られ、今日まで診療、治療、研究が進歩してきた疾患です。このシンポジウムでは、てんかん診療・治療・研究に長年に亘って携わり、偉大な功績をあげておられる各分野(脳神経外科学、小児神経学、精神医学)の高名なエキスパートの先生方に、それぞれの分野での国内外のてんかん学の長い歴史と確かな進展を先ずは紐解いていただき、それぞれの歴史的な epoch-making な出来事を通じて、てんかん学のこれまでの歩みや卓越した成果をご講演いただきます。演者の先生方は日本てんかん学会で理事長、理事、学術集会会長等を歴任され、更にはてんかん学に関連した治療・研究実績をあげられ、かつ強力なリーダーシップのもとにてんかん学の発展に尽くしてこられました。今後のてんかん学の在り方や展望を明快に解き明かしていただき、これから私共の進むべきてんかん学を提言していただけるものと期待しています。

#### SY17-1 The past, current and future of epilepsy surgery

○Tatsuya Tanaka<sup>1,2)</sup>

1) Professor Emeritus, Asahikawa Medical University 2) Tokuda Neurosurgical Hospital

#### SY17-2 小児てんかんの臨床と研究を振り返って

Review on the Clinical Practice and Research in Epilepsy in Children

○黒川 徹

前誠愛リハビリテーション病院小児科

#### SY17-3 てんかんにまつわるスティグマとその解消に向けて

Epilepsy stigma : Moving from a global problem to a solution

○山内 俊雄

埼玉医科大学かわごえクリニック

## シンポジウム 18 第 4 会場 (福岡国際会議場 4 階 411+412) 第 3 日/9 月 14 日 (土) 9:00~10:30

## てんかんの DBS 治療

座長：木村 唯子 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科)

## 【趣旨・狙い】

本邦において、焦点てんかんに対し脳深部刺激療法 (Deep Brain Stimulation, DBS) が 2023 年に認可されたことで、てんかん外科治療の選択肢がまた一つ増えた。しかし、現状では適応が焦点てんかんに限られることや、VNS など既存の治療法との使い分け、デバイス管理の煩雑性など課題もある。本シンポジウムを通じ、てんかんに対する DBS 治療成績や合併症リスクなどを明らかにし、適切な手術適応判断につながることを期待するとともに、将来的には closed loop stimulation 使用での更なる DBS の有効性、また全般てんかんを対象とした DBS ターゲットの適応拡大の可能性など、今後の安全な DBS 治療と、治療成績の向上につながるような議論を行いたい。

## SY18-1 難治性てんかんに対する脳深部刺激療法—当院の経験から

Deep brain stimulation for intractable epilepsy : A case report

○上利 崇<sup>1)</sup>、赤松 直樹<sup>2)</sup>

1) 国際医療福祉大学成田病院脳神経外科 2) 国際医療福祉大学医学部脳神経内科

## SY18-2 てんかんに対する視床 DBS 治療のエビデンス

Evidence for thalamic DBS in epilepsy

○前澤 聡<sup>1)</sup>、石崎 友崇<sup>2)</sup>、齋藤 竜太<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構名古屋医療センター 2) 名古屋大学医学系研究科脳神経外科

## SY18-3 epilepsy DBS における sensing と closed-loop stimulation の可能性

Potential of sensing and closed-loop stimulation in epilepsy DBS

○谷 直樹<sup>1)</sup>、HUI MING KHOO<sup>1)</sup>、押野 悟<sup>1)</sup>、柳澤 琢史<sup>2)</sup>、貴島 晴彦<sup>1)</sup>

1) 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科 2) 大阪大学高等共創研究院

## SY18-4 視床垂核とてんかんの臨床

Epilepsy and the thalamic nuclei

○池谷 直樹<sup>1)</sup>、アン タンドラ<sup>2)</sup>、ダミアニ アリアナ<sup>3)</sup>、ヘクト ジャスミン<sup>3)</sup>、マレラ アルカ<sup>3)</sup>、ゴンザレス-マルティネス ホルヘ<sup>3)</sup>

1) 横浜市立大学医学部脳神経外科 2) Department of Neurology, University of Pittsburgh

3) Department of Neurological Surgery, University of Pittsburgh

シンポジウム 19 第 5 会場 (福岡国際会議場 4 階 413+414) 第 3 日/9 月 14 日(土) 9:00~10:30

### 治療ガイドラインを超えて一抗てんかん発作薬第 2 選択薬一

座長：夏目 淳 (名古屋大学障害児 (者) 医療学寄附講座)

重藤 寛史 (九州大学大学院医学系研究院保健学部門検査技術科学分野/九州大学病院脳神経内科)

#### 【趣旨・狙い】

客観的なエビデンスに基づく診療ガイドラインの推奨を提示することは、多くの医師や患者の助けになる。一方でガイドライン作成過程の複雑さ、重要臨床課題のエビデンス不足など多くの課題も存在する。現在、日本神経学会と日本でんかん学会合同でてんかん診療ガイドラインの改訂作業を行っている。本シンポジウムでは第一選択薬で発作が消失しない場合の第二選択薬に焦点を当てて、シンポジストに様々な観点で発表をしていただく。今回の議論が新しいエビデンスの構築やガイドラインのあり方について考える一助になることを期待している。

#### SY19-1 ファーストライン薬で発作抑制できないとき；小児科での工夫

Pediatrician's approach when first-line drugs fail to control seizures

○遠山 潤

国立病院機構西新潟中央病院神経小児科

#### SY19-2 カルバマゼピンで発作抑制できないとき

What to Do When Seizures Cannot Be Controlled with Carbamazepine

○傳 和真<sup>1)</sup>、竹内 昌孝<sup>2)</sup>、松本 崇<sup>2)</sup>、清水 有<sup>2)</sup>、後藤 忠輝<sup>2)</sup>

1) 西湘病院脳神経内科 2) 西湘病院脳神経外科

#### SY19-3 レベチラセタムで発作抑制できないとき

When Seizures Cannot Be Controlled with Levetiracetam

○藤本 礼尚

聖隷浜松病院てんかん・機能神経センター

#### SY19-4 妊娠可能女性；ファーストライン薬で発作抑制できないとき

Second-line therapy for epileptic women of childbearing potential

○加藤 昌明

むさしの国分寺クリニック

#### SY19-5 ファーストラインで薬で発作抑制出来ないときの薬の変更の仕方

How to change ASMs when first-line ASMs fail to control seizures

○落合 卓

おちあい脳クリニック

## シンポジウム 20 第4会場（福岡国際会議場 4階 411+412） 第3日/9月14日（土） 10：30～12：00

## 持続可能なてんかん医療のために；日本てんかん協会との協働

座長：梅本 里美（公益社団法人日本てんかん協会会長）

山内 俊雄（埼玉医科大学かわごえクリニック）

## 【趣旨・狙い】

てんかんは多彩である。てんかん原性が低く抗てんかん発作薬が効きやすいこともあれば、高いてんかん原性があり難治に経過することもある。合併する神経学的、精神的、心理的な状態は多岐にわたる。さらに患者のおかれた社会的な状況も多彩である。治療の選択も容易でないこともある。てんかんをもつ人からの視点、てんかん学に基づく医学的・科学的な評価、医療制度の利用の統合がてんかん医療では重要である。日本てんかん協会と日本てんかん学会との協働が不可欠な所以である。本シンポジウムでは、それぞれの立場からのてんかん医療について現状と課題を議論し、今後のてんかん医療の改善と持続可能性につなげていく。

## SY20-1 てんかん協会佐賀県支部長としての15年間の小さな歩み

As a SAGA branch director of Japan Epilepsy Association：slow progress of 15 years

○鶴澤 礼実

高木病院小児科

## SY20-2 てんかん支援拠点病院：福岡県での取り組み

Epilepsy Support Base Hospital：Efforts in Fukuoka Prefecture

○重藤 寛史<sup>1,2)</sup>

1)九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野 2)九州大学病院脳神経内科

## SY20-3 てんかんのある人の地域での支援

○岡本 朗

公益社団法人日本てんかん協会常務理事/社会福祉法人さざなみ福祉会理事長

## SY20-4 世界のとんかんアドボカシーと当事者支援

Global advocacy and care for individuals with epilepsy

○藤川 真由<sup>1,2,3)</sup>、中里 信和<sup>1,3)</sup>

1)東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 2)日本てんかん協会国際委員会

3)日本てんかん学会国際担当委員会

## SY20-5 てんかんのある人からの日本てんかん学会への要望

Requests to the Japanese Epilepsy Society from people with epilepsy

○遠藤 翔馬<sup>1,2)</sup>

1)日本てんかん協会 2)東京都立大学大学院人文科学研究科

**SY20-6 日本のてんかん運動の成果とこれからめざすもの**

Achievements of epilepsy initiatives in Japan and future goals

○田所 裕二

日本てんかん協会（波の会）

シンポジウム 21 第5会場（福岡国際会議場 4階 413+414） 第3日/9月14日（土） 10：30～12：00

**一過性てんかん性健忘（TEA）をめぐる**

座長：伊藤 ますみ（上善神経医院）

**【趣旨・狙い】**

一過性てんかん性健忘(TEA)は、高齢者に好発する特異なてんかん性疾患として1990年代後半より報告が相次ぎ、高齢者人口の増加も相まりその存在認識が高まっている病態である。意識は障害されないまま突発的に数分～数時間にわたって健忘が生じる一方、発作間欠期には認知機能は障害されない。健忘発作以外に幻臭、自動症等の焦点発作を合併し、脳波異常を認めること、抗発作薬にて症状消失することからてんかんの一類型と考えられている。さらに発作間欠時に特異な記憶障害(長期的加速健忘、個人史の欠落)が持続的に併存する例が多く認められ、特に高齢者では認知症との鑑別が重要になる。病態機序として内側側頭葉における限局的発作および発作後機能低下が推測されている。しかし、なおTEAの症例集積やバイオマーカーの検出は不十分であり、独立するてんかん類型として確立するには至っておらずなお検討を要する病態である。本シンポジウムでは臨床症状、病因、鑑別診断から病態機序、さらにてんかん分類における位置づけまで広く議論する機会としたい。

**SY21-1 TEA の概念とその混乱**

Ill-defined concept of TEA

○川口 典彦

静岡てんかん・神経医療センター脳神経内科

**SY21-2 TEA の鑑別疾患：一過性全健忘（TGA）を中心に**

Differential Diagnosis of TEA：Focusing on Transient Global Amnesia（TGA）

○上原 平<sup>1,2)</sup>

1)国際医療福祉大学医学部脳神経内科 2)福岡山王病院脳神経内科

**SY21-3 TEA の診断と治療**

Diagnosis and treatment of transient epileptic amnesia

○音成 秀一郎<sup>1,2)</sup>

1)広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 2)広島大学病院てんかんセンター

**SY21-4 TEA と TEACS のてんかん学における位置づけ**

Position of TEA and TEACS in Epileptology

○鶴飼 克行

総合上飯田第一病院老年精神科



## シンポジウム 22 第 1 会場 (福岡国際会議場 3 階 メインホール) 第 3 日/9 月 14 日(土) 14:30~16:00

## てんかん遺伝子研究と臨床

座長：廣瀬 伸一 (福岡大学医学部総合医学研究センター)

## 【趣旨・狙い】

ほんのひと昔前まで、「てんかんの遺伝子」と言うことさえはばかられた。その後も、変異を含め遺伝子の情報は、てんかんの診療に役立たないとの議論が長く続いた。しかし、そんなことも過去のものとなり、今や遺伝子の情報がてんかんの診断、治療、予後予想等に利用されるようになってきた。

とは言え、てんかんの医療従事者にとって、「遺伝子異常がどうしててんかん発症に繋がるのか?」、「どのような遺伝学的検査があり、限界や問題点はなにか?」、「実際に遺伝学的検査の結果の意義の判定や臨床応用は?」等といった疑問は尽きない。

本シンポジウムでは、いずれも「てんかんの遺伝子」の第一人者である三人の先生方に、てんかん遺伝子研究から臨床にわたり、わかっていることも、またわかっていないことも含めて「てんかん遺伝子研究と臨床」について解説してもらうことにした。

## SY22-1 ナトリウムチャネル遺伝子 SCN2A 変異によるてんかん・神経発達症発症メカニズム

Pathomechanisms of epilepsy and neurodevelopmental disorders caused by sodium channel gene SCN2A mutations

○山川 和弘

名古屋市立大学大学院医学研究科

## SY22-2 臨床におけるてんかんの遺伝子診断と今後の治療戦略

Genetic diagnosis and treatment strategies for epilepsies in clinical practice

○加藤 光広<sup>1,2)</sup>

1) 昭和大学医学部小児科学講座 2) 昭和大学病院てんかん診療センター

## SY22-3 ILAE てんかん症候群 2022 における遺伝学的検査の意義と臨床アプローチ

Clinical significance of genetic testing in ILAE 2022 epilepsy syndromes

○日暮 憲道<sup>1,2)</sup>

1) 武蔵小杉小児科・てんかんクリニック 2) 東京慈恵会医科大学小児科

## シンポジウム 23 第 5 会場 (福岡国際会議場 4 階 413+414) 第 3 日/9 月 14 日 (土) 14 : 30~16 : 00

## 本当に治療が困難な精神科症例からみるてんかんの臨床

座長：辻 富基美 (わかやま友田町クリニック)

伊藤 ますみ (上善神経医院)

## 【趣旨・狙い】

精神科のてんかん専門医がこれまで経験した治療困難な症例から、これまで明文化されていない臨床に役立つ診療技術の技と今後のてんかん臨床の課題を考える。

てんかん診療にかかわる精神科医の減少からこれまで培われた治療抵抗性症例に対応する臨床技術が次世代に伝承されないおそれがある。本シンポジウムでは現在、臨床に従事するてんかんを診療する精神科医から「本当に治療が困難な精神科症例」をてんかん診療の困難さを中心に発表いただき、臨床場面で培われた診療技術を明らかにして今後の課題を考える。櫻井氏から大学病院精神科にて発作後精神病を疑い対応が遅れた抗 NMDA 受容体脳炎の一例、辻氏から大学病院精神科にて 10 年以上治療を行った身体疾患を併存したてんかん性不機嫌症のある症例、西田氏からてんかんセンター精神科にててんかん外科手術後の重症うつ病の症例、本岡氏から大学病院精神科にて PNES かてんかん発作か判別に難渋した症例を提示し、それぞれの問題点、対処法について議論する。

## SY23-1 発作後精神病を疑い対応が遅れた抗 NMDA 受容体脳炎の一例

A case of anti-NMDAR encephalitis with delayed treatment due to suspected postictal psychosis

○櫻井 高太郎

すずかけクリニック

## SY23-2 身体疾患を伴ったてんかん性不機嫌症の対応から考える精神科臨床

Clinical problems in a case with Interictal dysphoric disorder with cerebrovascular disease

○辻 富基美

わかやま友田町クリニック

## SY23-3 てんかん外科治療後の精神症状の対応と連携：重度のうつ病を示した症例を通して

The management of psychiatric symptoms after epilepsy surgery : A case with severe depression after epilepsy surgery

○西田 拓司

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

## SY23-4 回診の度に起こる (回診誘発性発作) は何発作？

Which type of seizure does an attack that occurs at each ward round correspond to?

○本岡 大道

久留米大学医学部神経精神医学講座

---

**教育講演 1 第2会場（福岡国際会議場5階501）第3日/9月14日（土） 11：30～12：00**

---

座長：藤本 礼尚（聖隷浜松病院てんかん・機能神経センター）

**EL1 海外留学のスプメー米国てんかん学研究と臨床の実際—**

Encouragement of Studying Abroad : Practical Insights from Epilepsy Research and Clinical Practice in the United States

○黒田 直生人<sup>1,2)</sup>

1) ウェイン州立大学小児科 2) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

---

**教育講演 2 第5会場（福岡国際会議場 4階 413+414）第1日/9月12日（木） 9：30～10：00**

---

座長：菊池 健二郎（埼玉県立小児医療センター神経科）

**EL2 代謝性疾患によるてんかんでどう診療するか**

Treatment of metabolic epilepsy

○倉橋 宏和

愛知医科大学医学部小児科

---

**教育講演 3 第5会場（福岡国際会議場 4階 413+414）第1日/9月12日（木） 10：00～10：30**

---

座長：浜野 晋一郎（埼玉県立小児医療センター小児てんかんセンター・神経科）

**EL3 セカンドトランジション**

Second Transition

○渡邊 雅子

新宿神経クリニック

---

**教育講演 4 第5会場（福岡国際会議場 4階 413+414）第1日/9月12日（木） 10：30～11：00**

---

座長：白石 秀明（獨協医科大学医学部小児科学）

**EL4 てんかん診療医のための頭痛のプライマリーケア**

Primary care for headaches in epilepsy patients

○榎 日出夫

川崎医科大学小児科

---

**教育講演 5 第 5 会場 (福岡国際会議場 4 階 413+414) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 11:00~11:30**

---

座長: 曾根 大地 (東京慈恵会医科大学精神医学講座)

**EL5 てんかんに関するスティグマと心理社会的支援の重要性**Stigma in Epilepsy and the Importance of Psychosocial Support  
Stigma in Epilepsy and Psychosocial Support for People with Epilepsy

○倉持 泉

埼玉医科大学総合医療センター神経精神科

---

**教育講演 6 第 5 会場 (福岡国際会議場 4 階 413+414) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 14:00~14:30**

---

座長: 飛松 省三 (福岡国際医療福祉大学医療学部・視能訓練学科)

**EL6 脳波、脳磁場記録の比較からみたてんかん放電の電流源推定**

Generator source estimation of epileptic discharges based on comparison of EEG and MEG

○長峯 隆

井ノ上病院

---

**教育講演 7 第 5 会場 (福岡国際会議場 4 階 413+414) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 14:30~15:00**

---

座長: 森本 昌史 (京都府立医科大学医学部看護学科)

**EL7 新生児発作の脳波**

EEG of Neonatal Seizures

○奥村 彰久

愛知医科大学医学部小児科

---

**教育講演 8 第 5 会場 (福岡国際会議場 4 階 413+414) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 15:00~15:30**

---

座長: 前原 健寿 (東京医科歯科大学脳神経外科)

**EL8 視床下部過誤腫—笑い発作のメカニズムと診断・治療—**

Hypothalamic hamartoma—the mechanism of gelastic seizure, diagnosis, and treatment—

○白水 洋史<sup>1,2)</sup>

1) 国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科

2) 国立病院機構西新潟中央病院視床下部過誤腫センター

---

**教育講演 9 第 5 会場 (福岡国際会議場 4 階 413+414) 第 1 日/9 月 12 日(木) 16:30~17:00**

---

座長: 中里 信和 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

**EL9 脳波と MEG によるてんかん焦点解析 (仮題)**

○松橋 眞生

京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

---

**教育講演 10 第 5 会場 (福岡国際会議場 4 階 413+414) 第 1 日/9 月 12 日(木) 17:00~17:30**

---

座長: 國枝 武治 (愛媛大学脳神経外科)

**EL10 てんかんの病理**

Surgical pathologic features of the epileptogenic brain lesions

○柿田 明美

新潟大学脳研究所

---

**教育講演 11 第 5 会場 (福岡国際会議場 4 階 413+414) 第 2 日/9 月 13 日(金) 9:00~9:30**

---

座長: 藤井 正美 (山口県立総合医療センター脳神経外科・てんかんセンター)

**EL11 ここに目をつける! 脳波判読のコツ**

Tips of EEG interpretation.

○飛松 省三

福岡国際医療福祉大学

---

**教育講演 12 第 5 会場 (福岡国際会議場 4 階 413+414) 第 2 日/9 月 13 日(金) 9:30~10:00**

---

座長: 岡田 元宏 (三重大学大学院医学系研究科精神神経科学分野)

**EL12 ころで向き合うてんかん臨床のシナリオ~ “誰でも・いつでも・どこでも” という指向性~**

Psychiatric perspectives for clinical scenarios of epileptology

○岩佐 博人<sup>1,2,3)</sup>

1) 千葉県循環器病センター・てんかんセンター 2) 医療法人静和会浅井病院精神科

3) 木下記念学園クリニックてんかんと精神医学研究部

---

**教育講演 13 第 5 会場（福岡国際会議場 4 階 413+414） 第 2 日/9 月 13 日（金） 10：00～10：30**


---

座長：岩崎 俊之（川崎市立多摩病院小児科）

**EL13 小児の脳波**

Electroencephalogram of childhood

○里 龍晴

長崎大学病院小児科

---

**教育講演 14 第 5 会場（福岡国際会議場 4 階 413+414） 第 2 日/9 月 13 日（金） 10：30～11：00**


---

座長：高橋 孝雄（新百合ヶ丘総合病院発達神経学センター）

**EL14 自閉スペクトラム症とてんかんのトランスレーショナル研究**

Translational medicine in autism and epilepsy research

○酒井 康成

九州大学大学院成長発達医学分野（小児科学）

---

**教育講演 15 第 5 会場（福岡国際会議場 4 階 413+414） 第 2 日/9 月 13 日（金） 11：00～11：30**


---

座長：正崎 泰作（平尾ごう脳神経外科クリニック）

**EL15 てんかん診療に必要な書類の書き方**

How to fill out the necessary paperwork for epilepsy treatment

○岡崎 光俊

市立青梅総合医療センター精神科

---

**教育講演 16 第 5 会場（福岡国際会議場 4 階 413+414） 第 2 日/9 月 13 日（金） 11：30～12：00**


---

座長：高橋 章夫（国立病院機構渋川医療センター脳神経外科）

**EL16 島葉てんかん**

Insular lobe epilepsy

○萩原 綱一

福岡山王病院てんかん・すいみんセンター

---

**教育講演 17** 第 2 会場 (福岡国際会議場 5 階 501) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 13:40~14:40

---

座長: 原 広一郎 (浅井病院精神科)

**EL17** てんかんと文学

Epilepsy and literature

○松浦 雅人

サマリヤ人病院

---

**教育講演 18** 第 1 会場 (福岡国際会議場 3 階 メインホール) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 16:00~16:30

---

座長: 寺田 清人 (てんかんと発達の横浜みのる神経クリニック)

**EL18** てんかん外来診療の心得

Rules of outpatient treatment in adults with epilepsy

○川崎 淳

川崎医院

---

**教育講演 19** 第 5 会場 (福岡国際会議場 4 階 413+414) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 16:00~16:30

---

座長: 夏目 淳 (名古屋大学障害児 (者) 医療学寄附講座)

**EL19** Cannabidiol Clinical Development and Real-world Data Update○Farhad Sahebkar<sup>1)</sup>、Charlotte Nortvedt<sup>2)</sup>

1) Jazz Pharmaceuticals, Inc., Carlsbad, CA, USA 2) Jazz Pharmaceuticals Switzerland GmbH

共催: GW ファーマ株式会社

---

**教育講演 20** 第 5 会場 (福岡国際会議場 4 階 413+414) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 16:30~17:00

---

座長: 小林 勝弘 (旭川荘療育・医療センター)

**EL20** West 症候群・IESS の診断と治療

Diagnosis and treatment of West syndrome and IESS

○浜野 晋一郎

埼玉県立小児医療センター小児てんかんセンター・神経科



---

**教育講演 21 第 5 会場（福岡国際会議場 4 階 413+414） 第 2 日/9 月 13 日（金） 17：00～17：30**

---

座長：松尾 宗明（佐賀大学小児科）

**EL21 Lennox-Gastaut 症候群の治療**  
Treatment of Lennox-Gastaut Syndrome

- 吉良 龍太郎
- 
- 福岡市立こども病院小児神経科

---

**教育講演 22 第 5 会場（福岡国際会議場 4 階 413+414） 第 2 日/9 月 13 日（金） 17：30～18：00**

---

座長：安元 佐和（福岡大学医学部総合医学研究センター）

**EL22 自然終息性てんかんの臨床**  
Clinical points of self-limited epilepsies

- 藤田 貴子
- 
- 福岡大学病院小児科

---

**教育講演 23 第 2 会場（福岡国際会議場 5 階 501） 第 3 日/9 月 14 日（土） 10：00～10：30**

---

座長：山中 岳（東京医科大学小児科・思春期科学分野）

**EL23 急性脳炎とてんかん**  
Acute encephalitis and epilepsy

- 鳥巢 浩幸
- 
- 福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野

---

**教育講演 24 第 2 会場（福岡国際会議場 5 階 501） 第 3 日/9 月 14 日（土） 10：30～11：00**

---

座長：伊藤 進（東京女子医科大学小児科）

**EL24 ケトン食療法の原理と実際**  
Principle and practice of ketogenic diet

- 青天目 信
- <sup>1,2)</sup>
- 
- 1)大阪大学大学院医学系研究科小児科学 2)大阪大学医学部附属病院てんかんセンター

---

**教育講演 25** 第 2 会場（福岡国際会議場 5 階 501） 第 3 日/9 月 14 日（土） 11：00～11：30

---

座長：林 雅晴（淑徳大学看護栄養学部）

- EL25** 前頭葉てんかんの発作症候～紛らわしい症候を呈する症例から学ぶ～  
Seizure semiology of frontal lobe epilepsy—Learning from patients with confusing symptoms—  
○福田 光成  
東京都立神経病院神経小児科

---

**教育講演 26** 第 2 会場（福岡国際会議場 5 階 501） 第 3 日/9 月 14 日（土） 14：30～15：00

---

座長：杉浦 嘉泰（国立病院機構福島病院脳神経内科）

- EL26** 若年ミオクローニーてんかん：診断のピットフォール  
Juvenile myoclonic epilepsy：pitfall of the diagnosis  
○寺田 清人  
てんかんと発達の横浜みのる神経クリニック

---

**教育講演 27** 第 2 会場（福岡国際会議場 5 階 501） 第 3 日/9 月 14 日（土） 15：00～15：30

---

座長：田所 ゆかり（愛知医科大学病院精神神経科）

- EL27** PNES（心因性非てんかん発作）診療の基本：診断～病状説明まで  
Basics of PNES（psychogenic non-epileptic seizures）treatment：from diagnosis to explanation of the condition  
○谷口 豪  
国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

---

**教育講演 28** 第 2 会場（福岡国際会議場 5 階 501） 第 3 日/9 月 14 日（土） 15：30～16：00

---

座長：中野 美佐（市立吹田市民病院脳神経内科）

- EL28** 側頭葉てんかん  
Temporal lobe epilepsy  
○重藤 寛史<sup>1,2)</sup>  
1)九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野 2)九州大学病院脳神経内科

## 委員会企画 1 第 6 会場（福岡国際会議場 4 階 401-403） 第 1 日/9 月 12 日（木） 9：00～10：30

## 英文ジャーナル委員会

## Epilepsy &amp; Seizure 誌が今後目指すべき目標とその実現に向けて

座長：岡西 徹（鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科）

久保田 隆文（東北大学病院てんかん科）

## 【趣旨・狙い】

Epilepsy & Seizure 誌(ES 誌)は日本てんかん学会の英文誌で J-Stage に掲載されるオープンアクセスの医学雑誌である。発刊の 2008 年から 2023 年までに 111 編の論文が掲載されているが、残念ながら現時点では PubMed には収録されておらず、収録されることは当面の一番の目標と考えられる。今回お招きした各演者の先生方からは、①Epilepsy & Seizure 誌のこれまで（夏目淳先生）、②学会英文誌の創刊から PubMed 収録、そして IF 獲得に向けて（小山哲男先生：日本リハビリテーション医学会英文機関誌 Progress in Rehabilitation Medicine について）、③日本脳神経外科学会機関誌編集委員長の経験（三國信啓先生：日本脳神経外科学会英文機関誌 Neurologia medico-chirurgica (NMC) 誌と NMC Case Report Journal(NMC CRJ) 誌）、④Epilepsy & Seizure 誌が今後目指すべき目標とその実現に向けて（岡西徹）、⑤Epilepsy & Seizure の PubMed 収録のために、若手の医療者・研究者ができること（曾根大地先生）、というタイトルでそれぞれにお話しいただく。今回の会を通じ、ES 誌の PubMed 収録の実現に向けての道筋を模索したい。

## CP1-1 Epilepsy &amp; Seizure 誌のこれまで

Epilepsy & Seizure : past, present and future

○夏目 淳

名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座

## CP1-2 学会英文誌の創刊から PubMed 収録、そして IF 獲得に向けて

The Launch of the Society's English Journal, Indexing in PubMed, and Acquiring an Impact Factor

○小山 哲男<sup>1,2)</sup>

1) 西宮協立脳神経外科病院 2) 兵庫医科大学医学部リハビリテーション医学講座

## CP1-3 日本脳神経外科学会機関誌編集委員長の経験

Experience as editor-in-chief of the journal of the JAPAN Neurosurgical Society

○三國 信啓

札幌医科大学医学部脳神経外科

## CP1-4 Epilepsy &amp; Seizure 誌が今後目指すべき目標とその実現に向けて

Goals for the Future and Pathways to Achievement for Journal of "Epilepsy & Seizure"

○岡西 徹

鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学分野

**CP1-5 Epilepsy & Seizure の PubMed 収載のために、若手の医療者・研究者ができること**

What young epileptologists can do to get Epilepsy &amp; Seizure indexed in PubMed

○曾根 大地

東京慈恵会医科大学精神医学講座

---

**委員会企画 2 第 6 会場（福岡国際会議場 4 階 401-403） 第 1 日/9 月 12 日（木） 14：00～15：30**

---

**移行期医療検討委員会**

座長：本田 涼子（NHO 長崎医療センター小児科）

宮本 雄策（聖マリアンナ医科大学小児科学）

**【趣旨・狙い】**

小児期発症のてんかん患者さんが「移行期」と呼ばれる思春期、青年期を迎えたとき、年齢に見合った適切な医療を受けるためには、小児医療機関と成人医療機関の連携、行政による支援体制、医療福祉制度の充実などの様々な課題を克服していく必要がある。今回移行期医療検討委員会では、てんかん学会員を対象とした移行期医療に関するアンケート調査を行った。本シンポジウムではアンケート結果について報告するとともに、実際に移行期医療に関わっている医療機関の取り組みについて提示していただき、てんかん診療における移行期医療の実情を知り、学会として取り組むべき課題などについて考察したいと思う。

**CP2-1 移行期医療に関するアンケート集計結果**

Survey results for transitional care

○油川 陽子

中村記念病院脳神経内科てんかんセンター

**CP2-2 大阪母子医療センターにおけるてんかん移行期医療**

Epilepsy Transitional Care at Osaka Women's and Children's Hospital

○最上 友紀子

大阪母子医療センター

**CP2-3 てんかんクリニックにおける移行期医療**

Transitional Care in Epilepsy Clinics

○小出 泰道

小出内科神経科

**CP2-4 移行期医療の現状と今後**

Current Status and Future of Transitional Care

○本田 涼子

NHO 長崎医療センター小児科

---

**委員会企画3 第6会場（福岡国際会議場 4階 401-403） 第2日/9月13日（金） 17：00～18：30**

---

**Yes-Japan English Oral Presentation Session**

座長：堀之内 徹（北海道大学病院精神科神経科）

中神 由香子（京都大学学生総合支援機構）

コメンテーター：白石 秀明（獨協医科大学小児科学）

藤本 礼尚（聖隷浜松病院てんかん・機能神経センター）

Hui Ming Khoo（大阪大学医学部脳神経外科）

曽根 大地（東京慈恵会医科大学精神医学講座）

藤川 真由（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野）

**【趣旨・狙い】**

国際学会での発表は、研究者・臨床家が自分の研究や経験を世界に向けて発信できる重要な機会です。国際学会で各国の専門家と議論することを通して、研究を国際的な視野のもと発展させたり、新たな研究グループへ参加するチャンスを得たり、新しい臨床実践法を学んだりすることも可能になります。国際学会での発表は研究・臨床を飛躍的に進展させるために必要不可欠な要素といっても過言ではありません。しかし一方で、英語で口頭発表することは、多くの日本人研究者・臨床家にとって容易ではありません。日本ではプレゼンテーションやディスカッションを体系的に学ぶ機会は限られ、言語の壁を越えて研究・経験を伝える困難さがあり、そして英語を学ぶモチベーションを維持し続けることも容易ではありません。こうした問題を背景に、国際学会での発表に興味がありながらも、躊躇してしまう若手が多い現状があります。

そこで本セッションでは、若手が国際的に活躍できるようになるための第一歩として、英語での発表スキルを実践的に向上できる機会を提供します。発表者は英語でスライドを作成し、英語で発表を行い、さらに英語での質疑応答にも挑戦します。発表者はそれぞれ、経験豊富なコメンテーターの先生からのフィードバックを受けることで、発表技術をさらに磨くことができます。聴衆の方も、若手の発表を通じて、新たな視点やアイデアを得ることができますし、英語でのプレゼンテーションや質疑応答の方法を学ぶことができます。さらに、コメンテーターの先生からのフィードバックを通じて、発表技術を改善するための具体的なヒントを学ぶことができます。

「YES-Japan English Oral Presentation Session」は、てんかんに関わる研究者や臨床家が英語での発表技術を向上させ、国際的な舞台で活躍するための貴重な機会です。このセッションを通じて、参加者同士が刺激し合い、ともに学び成長し、てんかん学を国際的に発展させることを期待しています。

なお、本セッションの口演内容は本大会のポスター発表の内容との重複を許容しております。また、特に優れた発表を行ったプレゼンターには、「YES-Japan English Oral Presentation Award」が授与される予定です。

---

日本てんかん学会・日本臨床カンナビノイド学会 合同企画 第2会場（福岡国際会議場 5階 501） 第3日/9月14日（土） 9:00~10:00

---

### 大麻取締法の改正とてんかん患者の医療および生活の質の向上について

座長：飯田 幸治（広島大学病院てんかんセンター）

太組 一朗（聖マリアンナ医科大学脳神経外科）

### CCL 大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部改正について

Act Partially Amending the Cannabis Control Act and the Narcotics and Psychotropics Control Act

○秋野 公造

参議院議員（福岡県選出）

---

ディベート1 第6会場（福岡国際会議場 4階 401-403） 第1日/9月12日（木） 16:30~17:15

---

### Ictal asystole にペースメーカーは装着すべきである

座長：山野 光彦（東海大学医学部付属病院脳神経内科）

【趣旨・狙い】

「Ictal asystole：てんかん性発作時心停止（てんかん性心拍停止）」は、てんかんだけではなく、循環器疾患の側面からも非常に重要な課題である。本病態の適切なマネジメントについて、てんかん学領域、循環器学領域の専門家の先生方に、異なる立場から議論して頂く。

### DB1-1 Pros Ictal asystole とペースメーカー留置の適応

Ictal asystole and pacemaker implantation

○萩原 綱一

福岡山王病院てんかん・すいみんセンター

### DB1-2 Cons Ictal asystole にペースメーカー治療は有効なのだろうか？

Is pacemaker implantation effective for Ictal asystole?

○河野 律子

産業医科大学医学部不整脈先端治療学

---

**ディベート 2 第 6 会場 (福岡国際会議場 4 階 401-403) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 9:00~9:45**


---

**SUDEP リスクはすべての患者に説明すべきである**

座長：溝渕 雅広 (南一条脳内科)

**【趣旨・狙い】**

SUDEP (Sudden Unexpected Death in Epilepsy) はてんかんの合併症として良く知られているが、患者の認知度はあまり高くはないと思われる。

一方、主治医として遭遇する機会は決して稀ではなく、その場合は、患者家族だけでなく、治療者として無念であり無力感に苛まれる。

リスクファクターについての知見が集積されつつあるが、現状では予測可能とは言えない。このセッションでは、てんかん診療に熟練した演者により、患者や家族への情報共有の可否について討論いただき、どのように対処するかの道標となることを目的としたい。

**DB2-1 Pros SUDEP リスクはすべての患者に説明すべきである**

SUDEP risks should be explained to all patients : pros

○高木 俊輔

東京医科歯科大学精神行動医学分野

**DB2-2 Cons SUDEP リスクはすべての患者に説明すべきである**

Should all patients be told about sudden unexpected death in epilepsy (SUDEP) ?

○三枝 隆博

大阪市立総合医療センター脳神経内科

---

**ディベート 3 第 6 会場 (福岡国際会議場 4 階 401-403) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 9:45~10:30**


---

**精神科はてんかん診療から離れる時期にきている**

座長：伊藤 ますみ (上善神経医院)

**【趣旨・狙い】**

本邦では、長らく精神科がてんかん診療を担ってきた歴史的経緯がある。時代とともにてんかんを診る診療科が広がり、現在では個々の患者に応じた診療科ならびに多職種と連携して診療を行っている。その一方で、精神科でてんかんを診る機会が減るにつれ、精神科に占めるてんかんの存在が小さくなっている現状がある。精神科専門医の研修項目からはずれたことにより、てんかんを学ばない精神科医が増え、また精神科関連学会においてもてんかんセッションが消えつつあり、てんかんが精神科で診る疾患ではなくなった感さえある。他方、てんかん患者の全人的視点に立った包括的診療が進められている今日、併存頻度の高い精神症状のみならず心理社会的側面への対応は避けられない課題である。多方面からのサポートを求められる現在、精神科との連携はより重要となっているといえる。本ディベートでは今後のてんかん診療における精神科のありかたを考えてみたい。

**DB3-1 Pros 精神科はてんかん診療から離れる時期にきている**

It's Time for Psychiatry to Move Away from Epilepsy Treatment.

○曾根 大地

東京慈恵会医科大学精神医学講座

- DB3-2 Cons 精神科はてんかん診療から離れる時期にきている**  
 The Time Has Come for Psychiatry to Distance Itself from Epilepsy Treatment  
 ○岩城 弘隆  
 医療法人社団玄洋会道央佐藤病院

ディベート 4 第 6 会場 (福岡国際会議場 4 階 401-403) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 10:30~11:15

**良性成人家族性ミオクローヌステんかんは良性である**

座長：木下 真幸子 (国立病院機構宇多野病院脳神経内科)

**【趣旨・狙い】**

かつて、発作抑制が得られやすい症候群には「良性」の冠がつけられた。しかし、生涯のライフイベントを通じて良好なコントロールを保ち続けるため、様々な配慮がなされている。さらに全人的医療・患者中心医療を達成するためには、病因や併存症に関する多科での包括的診療のみならず、心理的・社会的側面にも十分配慮した多職種連携が求められる。良性成人型家族性ミオクローヌステんかんは、稀発性の全般性強直間代発作・ミオクローニー発作および振戦様ミオクローヌス(皮質振戦)を特徴とし、近年原因遺伝子が特定された常染色体顕性遺伝疾患である。遺伝素因を持つ症候群の診療について最新の知見を得て最良の支援体制を構築するとともに、診断情報を治療に活かすための方策を議論する場としたい。

**DB4-1 Pros 良性成人家族性ミオクローヌステんかんは良性である**

Benign adult familial myoclonus epilepsy can still be benign.

○池田 仁

てんかん・神経大阪南森町いけだクリニック

**DB4-2 Cons 良性成人型家族性ミオクローヌステんかんは加齢・老年期においては良性とはいえない**

Benign adult familial myoclonus epilepsy is not benign in elderly patients

○小林 勝哉<sup>1)</sup>、戸島 麻耶<sup>2)</sup>、池田 昭夫<sup>2)</sup>

1) 京都大学医学部附属病院脳神経内科 2) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学



---

**ディベート 5 第 6 会場 (福岡国際会議場 4 階 401-403) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 14:00~14:45**


---

**てんかん緩和治療 脳梁離断がデバイス治療より先である**

座長：國枝 武治 (愛媛大学脳神経外科)

**【趣旨・狙い】**

難治てんかんに対する緩和治療は、根治治療である切除・離断術の選択が困難な場合に、適応判断が行われます。この時、脳梁離断術と迷走神経刺激療法(VNS)のいずれを優先するかについては過去にも取り上げられ、ある程度のコンセンサスが得られています。しかし、施設・術者に判断を任されている点も大きく、症例毎の医学的・社会的諸条件から適応判断されている実状があると思われまます。特に、視床前核に対する脳深部刺激療法(DBS)という新たなデバイス治療が保険適用となった、現状に即した考え方を探ることを、本セッションの主な目的とします。

**DB5-1 Pros 脳梁離断はデバイス治療よりも先に検討すべき**

Corpus callosotomy should be considered before device therapy

○本田 涼子<sup>1,4)</sup>、池田 憲呼<sup>1)</sup>、西口 奈菜子<sup>1)</sup>、佐藤 和明<sup>2,4)</sup>、小野 智憲<sup>3,4)</sup>

1)NHO 長崎医療センター小児科 2)NHO 長崎医療センター脳神経内科

3)NHO 長崎医療センター脳神経外科 4)NHO 長崎医療センターてんかんセンター

**DB5-2 Cons デバイス治療が脳梁離断より先である**

Cons VNS should be earlier than callosotomy

○山本 貴道

聖隷三方原病院てんかん・機能神経外科

---

**ディベート 6 第 6 会場 (福岡国際会議場 4 階 401-403) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 16:00~16:45**


---

**頭蓋内脳波検査；SEEG と硬膜下電極のどちらを選ぶべきか**

座長：岩崎 真樹 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科)

**【趣旨・狙い】**

硬膜下電極は比較的大きな開頭を必要とするが、脳表を連続的に覆うことで、てんかん性放電の空間的な分布を把握しやすい。SEEG は開頭を必要としないが、挿入できる電極の本数に限界があり、関心のある領域から選択的に脳波を記録する。定位手術ロボット装置の導入、高い手技料、国際的な潮流などから、SEEG を実施する施設が増えている。しかし、てんかんの術前精査として SEEG が本当に低侵襲なのか、診断能力や治療成績が優れるのか、十分に明らかとは言えない。また、両者の使い分けについても、議論の多いところである。

本セッションでは、2名のエキスパートの先生から、それぞれ SEEG および硬膜下電極を推奨する立場として議論していただく。

**DB6-1 Pros 頭蓋内脳波検査は SEEG を選ぶべき**

SEEG is the better choice for intracerebral EEG study

○HUI MING KHOO<sup>1,2)</sup>、谷 直樹<sup>1,2)</sup>、押野 悟<sup>1,2)</sup>、貴島 晴彦<sup>1,2)</sup>

1)大阪大学医学系研究科脳神経外科 2)大阪大学医学部附属病院てんかんセンター

**DB6-2 Cons てんかん外科における硬膜下電極記録：ポリシーとプライド**

Cons Subdural EEG recordings in epilepsy surgery : policy and pride

○小野 智憲<sup>1,2,3)</sup>、本田 涼子<sup>1,4)</sup>、佐藤 和明<sup>1,5)</sup>

- 1) 国立病院機構長崎医療センターてんかんセンター
- 2) 国立病院機構長崎医療センター脳神経外科
- 3) 国立病院機構長崎医療センター臨床研究センターてんかん研究室
- 4) 国立病院機構長崎医療センター小児科 5) 国立病院機構長崎医療センター脳神経内科

ワークショップ 1 第 4 会場 (福岡国際会議場 4 階 411+412) 第 2 日/9 月 13 日(金) 10:40~12:10

**限局性皮質異形成の最新知見**

座長：今井 克美 (NHO 静岡てんかん・神経医療センター)

**【趣旨・狙い】**

限局性皮質異形成 (FCD) は神経画像および神経生理学的診断とてんかん外科の進歩とともに外科治療例が増えているが、診断に苦慮したり、手術への決断が遅れる症例もあり、病態に関しても十分に解明されているとは言えない。本ワークショップでは、限局性皮質異形成における発作時脳波の特徴、切除例の切除部位と術前術後の認知機能との関連、Rasmussen 症候群や自己免疫性脳炎などの免疫病態の関与、限局性脳病変内の体細胞変異が病因と予後に及ぼす影響などについて理解を深め、限局性皮質異形成の診断と治療の改善につなげることを期待する。

**WS1-1 Focal Cortical Dysplasia : Ictal surface EEG and Histopathology**

○Thamcharoenvipa Titaporn

Neurology Unit, Department of Pediatrics, Faculty of medicine, Prince of Songkla University, Songkhla, Thailand

**WS1-2 前頭葉切除例から見た高次機能評価**

Evaluation of higher brain functions after frontal lobectomy

○木村 暢佑<sup>1,2)</sup>、高橋 幸利<sup>1)</sup>、今井 克美<sup>1)</sup>、大谷 英之<sup>1)</sup>、白井 直敬<sup>1)</sup>

- 1) 静岡てんかん・神経医療センター 2) なにわ生野病院小児科

**WS1-3 FCD の免疫学的病態生理**

FCD : immunological pathophysiology

○福岡 正隆<sup>1,2)</sup>、高橋 幸利<sup>2)</sup>

- 1) 大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科
- 2) 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

**WS1-4 限局性皮質異形成；切除標本体細胞変異の解析**

Focal cortical dysplasia : analyses of somatic mutation with resected tissues

○高橋 幸利<sup>1)</sup>、松田 一己<sup>1)</sup>、Changuk Chung<sup>2)</sup>、Joseph G Gleeson<sup>2)</sup>

- 1) 静岡てんかん・神経医療センター 2) University of California San Diego

---

ワークショップ2 第1会場（福岡国際会議場 3階 メインホール） 第2日/9月13日（金） 13:40~15:00

---

### YES—Japan 企画；抗てんかん発作薬の使い方

座長：小林 揚子（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科）

宮内 正晴（和泉市立総合医療センター）

#### 【趣旨・狙い】

本ワークショップではリアルタイムアンケートを用いて、会場にいる先生がたにも参加していただき、日常の抗てんかん発作薬の使い方に関する疑問や悩み、経験などをエキスパートの先生がたに気軽に聞けて、明日からの診療に役立つ場になりたいと思っています。若手医師からの症例をもとに、臨床に即した実践的な抗てんかん発作薬(ASM)の使い方について、経験年数や診療科の垣根を越えてともに考えましょう。ぜひスマートフォンをご持参のうえ、積極的なご参加をお待ちしています。

#### WS2-1 ○田中 章浩

京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経内科学

#### WS2-2 ○下竹 昭寛

国立病院機構宇多野病院

#### WS2-3 ○中川 栄二

国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

#### WS2-4 ○岡西 徹

鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科

#### WS2-5 ○下野 九理子

大阪大学大学院連合小児発達学研究所

## ワークショップ 3 第 4 会場 (福岡国際会議場 4 階 411+412) 第 2 日/9 月 13 日(金) 16:00~17:30

**Critical Care EEG の実際；多様な視点からの考察**

座長：音成 秀一郎 (広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学)

山野 光彦 (東海大学医学部付属病院脳神経内科)

**【趣旨・狙い】**

Standardized Critical Care EEG Terminology 2021 (ACNS 2021) の発表から数年がたち、Critical Care EEG (CCEEG) は顕著に普及してきている。すなわち rhythmic and periodic patterns (RPPs) の評価を通して発作活動性を探索し、あるいは現在進行形の発作を捉えることで治療設計は可能となった。しかし急性期の脳を保護するという目的において、脳波所見だけに依存した治療設計には不確実性がある。すなわち RPPs の所見をより深く多角的に解釈せねばならない。そのためには『病因』に応じた脳波所見の解釈が必要であり、さらには『臨床症状-画像所見-脳波所見の相関性』を検証することが不可欠である。これらの検証を通して各パラメーター間の互換性が確立され、さらには予後予測も可能となり、立体的な CCEEG として急性期診療に実装されることが期待される。今後、intracranial multimodal monitoring が CCEEG の領域で求められてくる中で、まずは非侵襲性に収集可能な臨床情報の解釈を深める必要があり、本セッションでは CCEEG を多様な視点から考察したい。

**WS3-1 病因に基づいて解釈する Critical Care EEG**

Critical Care EEG interpreted based on etiology

○吉村 元

神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科

**WS3-2 臨床症状と Critical Care EEG の相関**

Correlation between clinical neurological signs and critical care EEG findings

○音成 秀一郎<sup>1,2)</sup>

1) 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 2) 広島大学病院てんかんセンター

**WS3-3 Critical Care EEG と脳画像**

Critical Care EEG and Neuroimaging

○田中 智貴

国立循環器病研究センター脳神経内科

**WS3-4 Critical Care EEG に基づいた治療と予後**

Treatment and prognosis based on Critical Care EEG

○大友 智<sup>1)</sup>、加藤 量広<sup>2)</sup>

1) みやぎ県南中核病院脳神経外科 2) みやぎ県南中核病院脳神経内科

## ワークショップ 4 第 3 会場 (福岡国際会議場 5 階 502+503) 第 3 日/9 月 14 日(土) 9:00~10:30

## Wide-band EEG ; 新しいてんかんバイオマーカーの実装化のために

座長：貴島 晴彦 (大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学)

國井 尚人 (自治医科大学)

## 【趣旨・狙い】

20 世紀初頭に Hans Berger が脳波を見いだして以降、臨床的指標としては  $\delta$  波から  $\gamma$  波までの目に見える周波数帯域の活動について主に議論されてきました。デジタル脳波の時代に入り、Wide-band EEG が活用できるようになりました。これはこれらのこれまでの周波数帯域を超えて、より低周波及び高周波の電気活動を評価するもので、てんかん原性の評価の精度や信頼性を高める可能性があり、近年注目され多くの報告がなされています。てんかんバイオマーカーとして普及するためには、より間便で信頼性・再現性の高い解析方法や、評価する側のスキルアップ、そしててんかん原性評価以外への活用など、さらなる検討が必要と考えられています。このワークショップでは、Wide-band EEG 解析について精力的に取り組んでおられる 3 名の演者に、wide-band EEG 解析の現状について概説いただき、さらなる活用のために必要と思われる事項について議論します。

## WS4-1 てんかん外科術前検査としての wide-band EEG の有用性—硬膜下電極および SEEG の解析—

Usefulness of wide-band EEG as a preoperative examination of epilepsy surgery—analysis of subdural electrode and SEEG—

- 前原 健寿、稲次 基希、折原 あすみ、清水 一秀、橋本 聡華  
東京医科歯科大学脳神経外科

## WS4-2 小児てんかんと wide-band EEG

Pediatric epilepsy and wide-band EEG

- 小林 勝弘  
旭川荘療育・医療センター

## WS4-3 Wide-band EEG による小児てんかんネットワーク評価の試み

Evaluation of pediatric epilepsy network using wide-band EEG

- 井上 岳司  
大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター、小児脳神経・言語療法内科

## WS4-4 HFO と DC シフトの生理学的探究 (仮題)

- 松橋 眞生  
京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

---

**ワークショップ5 第3会場（福岡国際会議場 5階 502+503） 第3日/9月14日（土） 10:30~12:00**

---

**あなたの診療科に物申す**

座長：中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野）

田所 ゆかり（愛知医科大学病院精神神経科）

**【趣旨・狙い】**

本テーマは2022年仙台大会でワークショップとして実施され、きわめて大きな反響があった。セッション終了直後に、トロント小児病院の大坪宏先生からは「てんかん診療はあらゆる診療科や職種が協力して行うのが理想である」とのコメントが寄せられている。今回も脳神経外科、脳神経内科、小児科、精神科の4診療科から、百戦錬磨のベテラン専門医が2名ずつ登壇し、さまざまな「あなたの診療科に物申す」のコメントに対応する予定である。コメントは事前に集められたものだけでなく、なるべ当日の参加者から多くの発言を期待している。

**WS5-1** ○稲次 基希

東京医科歯科大学脳神経外科

**WS5-2** ○小野 智憲

国立病院機構長崎医療センターてんかんセンター

**WS5-3** ○木下 真幸子

国立病院機構宇多野病院脳神経内科

**WS5-4** ○寺田 清人

てんかんと発達の横浜みのる神経クリニック

**WS5-5** ○奥村 彰久

愛知医科大学医学部小児科

**WS5-6** ○下野 九理子

大阪大学大学院連合小児発達学研究所

**WS5-7** ○原 恵子

原クリニック/東京医科歯科大学

**WS5-8** ○本岡 大道

久留米大学精神科

---

**ワークショップ 6 第 4 会場（福岡国際会議場 4 階 411+412） 第 3 日/9 月 14 日（土） 14：30～16：00**


---

**YES-Japan 企画 多職種エキスパートとともに学ぶ：明日から役立つ実践てんかん診療**

座長：白井 直敬（静岡てんかん・神経医療センター）

田中 美帆（東京都墨東病院脳神経内科）

**【趣旨・狙い】**

てんかんを診療する医療者は学ぶべきことが多岐にわたる一方で、その専門性の高さから、個別の教育を受け、学習する機会が得難いことがある。そのため、てんかん診療に特有の個別的な事柄を、経験者から実践形式で学べる機会が必要である。本プログラムでは、てんかん診療のコツを知りたい人同士で小グループを組み、ロールプレイや座談会で診療の現場を体験・共有することができる。加えて、直接エキスパートからフィードバックをもらえる機会を作り、一人一人のてんかん診療の技術を高めることで、参加者の明日からの診療の質を向上させることを目的とする。

本セッションは学会開催前に、専用フォームで希望するグループへの事前登録をすることが推奨される。登録なしの参加も可能であるが、その場合は見学形式での参加になることがある。

**WS6-1** ○小出 泰道

小出内科神経科

**WS6-2** ○丸山 慎介

鹿児島大学病院小児科

**WS6-3** ○藤本 礼尚

聖隷浜松病院てんかん・機能神経センター

**WS6-4** ○渡邊 さつき

埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

**WS6-5** ○原 稔枝

国立精神・神経医療研究センター

**WS6-6** ○藤川 真由

東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

**WS6-7** ○渡邊 宏美

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター臨床検査科



---

**てんかん学研修セミナー 第 1 会場 (福岡国際会議場 3 階 メインホール) 第 3 日/9 月 14 日(土) 9:00~11:45**

---

座長：金村 英秋 (東邦大学医療センター佐倉病院小児科)

**ETS-1 てんかんと遺伝・遺伝子**

Epilepsy and gene, genetics

○山川 和弘

名古屋市立大学大学院医学研究科脳神経科学研究所神経発達症遺伝学分野

**ETS-2 急性症候性発作とてんかん発作**

Acute symptomatic seizures and epileptic seizures

○中野 美佐

市立吹田市民病院脳神経内科

**ETS-3 てんかんの脳波検査**

Electroencephalography (EEG) in epilepsy

○下竹 昭寛

国立病院機構宇多野病院

**ETS-4 発達性てんかん性脳症**

Developmental and Epileptic Encephalopathy

○山本 啓之

名古屋大学医学部附属病院小児科

**ETS-5 遮断術 (脳梁離断、半球離断、軟膜下皮質多切)**

Disconnective surgery

○香川 幸太<sup>1,2)</sup>、飯田 幸治<sup>2)</sup>、橋詰 顕<sup>1,2)</sup>、瀬山 剛<sup>1,2)</sup>、岡村 朗健<sup>1,2)</sup>、Askoro Rofat<sup>2,3)</sup>、堀江 信貴<sup>3)</sup>

1) 広島大学病院脳神経外科 2) 広島大学病院てんかんセンター

3) 広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学

**ETS-6 てんかんに関連する医療福祉サービス等の法制度**

Legal system for medical and welfare services related to epilepsy

○川合 謙介

自治医科大学

---

指導医講習会(てんかん専門医委員会) 第 1 会場 (福岡国際会議場 3 階 メインホール) 第 1 日/9 月 12 日(木) 8:00~8:50

---

座長: 夏目 淳 (名古屋大学障害児 (者) 医療学寄附講座)

**TS てんかん性失神の診断と治療**

○安部 治彦

地方独立行政法人くらて病院病院長 (循環器内科)

---

SEEG 技術講習会 第 8 会場 (福岡国際会議場 4 階 410) 第 3 日/9 月 14 日(土) 15:30~17:30

---

座長: 飯田 幸治 (広島大学病院てんかんセンター)

**第 1 部 SEEG 内科系 (15:35~16:25)**

**SEEG 理論・仮説設定・プランニング**

**SEEG-1-1 SEEG 基礎: SEEG の理論と仮説について**

○小林 勝哉

京都大学医学部附属病院脳神経内科

**SEEG-1-2 SEEG の実際—症例提示による解説—**

A practical approach to SEEG—case presentation—

○HUI MING KHOO<sup>1,2)</sup>、谷 直樹<sup>1,2)</sup>、押野 悟<sup>1,2)</sup>、貴島 晴彦<sup>1,2)</sup>

1) 大阪大学医学系研究科脳神経外科 2) 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター

**第 2 部 SEEG 外科系 (16:30~17:30)**

**SEEG-2-1 SEEG 実際の手技—安全なボルトレステクニクの検討—**

○石崎 友崇

名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科

**SEEG-2-2 SEEG を安全に行うために—合併症からみる安全性の担保—**

○國井 尚人

自治医科大学脳神経外科

---

VNS 認定講習会 第 8 会場 (福岡国際会議場 4 階 410) 第 3 日/9 月 14 日(土) 13:30~15:20

---

座長: 飯田 幸治 (広島大学病院てんかんセンター)

**第 1 部 内科系 (13:30~14:20)**

**VNS-1 VNS 療法の基礎知識**

○重藤 寛史<sup>1,2)</sup>

1) 九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野 2) 九州大学病院脳神経内科

**第 2 部 外科系 (14 : 25~15 : 05)**

**VNS-2 VNS 植込み術のポイントと合併症**

○迎 伸孝

飯塚病院脳神経外科

ハンズオン (任意参加) (15 : 05~15 : 20)

---

DBS 指定講習会 第 8 会場 (福岡国際会議場 4 階 410) 第 3 日/9 月 14 日 (土) 9 : 00~11 : 15

---

**第 1 部 (9 : 00~9 : 10)**

**総論**

**DBS-1** ○貴島 晴彦

大阪大学

**第 2 部 (9 : 10~10 : 10)**

**DBS 外科系・症例提示**

**DBS-2-1** ○宇田 武弘

大阪公立大学

**DBS-2-2** ○岡原 陽二

千葉県循環器病センター

**第 3 部 (10 : 20~11 : 00)**

**DBS 内科系・DBS 刺激調整の基礎**

**DBS-3** ○熊田 聡子

東京都立神経病院

ハンズオン (11 : 00~11 : 15)

《共催プログラム》  
スポンサードセミナー  
ランチョンセミナー

---

**スポンサーセミナー 1 第 4 会場 (福岡国際会議場 4 階 411+412) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 9:00~10:30**


---

**The Latest Evidence for New ASM—Brivaracetam as a novel treatment option for focal epilepsy—**

座長：飯田 幸治 (広島大学病院てんかんセンター)

藤本 礼尚 (聖隷浜松病院てんかん・機能神経センター)

**SS1-1 New antiseizure medications in the world. “Why new ASM is needed? What to expect from new ASM?”**

○Patrick Kwan

Department of Neuroscience, School of Translational Medicine, Monash University

**SS1-2 Real world evidence of brivaracetam. “What are the benefits in the clinical setting?”**

○Bernhard J. Steinhoff

Kork Epilepsy Center, Kehl-Kork, Germany and Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Medical Faculty, University of Freiburg, Freiburg, Germany

**SS1-3 総合討論**

○Patrick Kwan, Bernhard J. Steinhoff

共催：ユーシービージャパン株式会社

---

**スポンサーセミナー 2 第 3 会場 (福岡国際会議場 5 階 502+503) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 10:40~12:10**


---

**小児期発症難治てんかん患者の長期的包括ケア～各診療科の立場から～**

座長：浜野 晋一郎 (埼玉県立小児医療センター小児てんかんセンター)

**SS2-1 併存症を考慮した難治てんかん治療と成人期を見据えた対応**

Treatment of intractable epilepsy considering comorbidities and tailored management for adulthood

○本田 涼子

国立病院機構長崎医療センター小児科

**SS2-2 成人期のリハビリを考えた対応**

Care for patients with intractable epilepsy with consideration of recovery in adulthood

○福智 寿彦

すずかけクリニック

**SS2-3 小児期発症難治てんかん患者の成人期の長期的ケア**

Long-term care of patients with childhood-onset intractable epilepsy in adult

○神 一敬

東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

共催：武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス

---

 ランチョンセミナー 1 第 2 会場 (福岡国際会議場 5 階 501) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 11:45~12:45
 

---

## 難治性てんかんに対する戦略～最適な治療の選択を目指して～

座長：川合 謙介 (自治医科大学)

**LS1-1** ロボットガイド定位的頭蓋内脳波留置術の役割と課題

Epilepsy surgery with robot-guided stereotactic electroencephalography

- 宇田 武弘、川嶋 俊幸、田上 雄大、首藤 太志、濱口 英嗣、平元 路生、内山 義崇、  
後藤 剛夫  
大阪公立大学大学院医学研究科脳神経外科

**LS1-2** てんかんへの DBS のことはじめ 手術の計画と治療の実際

Introduction to DBS for epilepsy, Surgical planning and treatment practice

- 増田 洋亮  
筑波大学医学医療系脳神経外科

共催：日本メドトロニック株式会社

---

 ランチョンセミナー 2 第 3 会場 (福岡国際会議場 5 階 502+503) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 11:45~12:45
 

---

## てんかんと精神・認知機能のピットフォール

座長：原 恵子 (原クリニック/東京医科歯科大学)

**LS2-1** 見逃していませんか？てんかんの認知機能障害～高齢発症てんかんの診断と治療～

Understanding cognitive impairments in the late-onset epilepsy

- 川口 典彦  
NHO 静岡てんかん・神経医療センター脳神経内科

**LS2-2** ASM の胎内曝露による精神・認知機能への影響：何がどこまでわかっていて、何を注意すべきか

The impact of intrauterine exposure to ASM on psychiatric and cognitive functions: What is known, what needs attention

- 加藤 昌明  
むさしの国分寺クリニック

共催：ユーシービージャパン株式会社/第一三共株式会社

---

**ランチョンセミナー3 第4会場（福岡国際会議場 4階 411+412） 第1日/9月12日（木） 11：45～12：45**


---

座長：久保田 有一（東京女子医科大学附属足立医療センター脳神経外科）

**LS3 AMPA 受容体から見る脳機能の変遷～高齢者の脳機能はどう破綻するか～**

○高橋 琢哉

横浜市立大学大学院医学研究科生理学

共催：エーザイ株式会社 メディカル本部

---

**ランチョンセミナー4 第6会場（福岡国際会議場 4階 401-403） 第1日/9月12日（木） 11：45～12：45**


---

**てんかん診療で遭遇する知っておきたい関連疾患！Up to date**

座長：加賀 佳美（山梨大学医学部小児科学講座）

**LS4-1 皮疹からみる結節性硬化症へのアプローチ**

Clinical approach to Tuberous Sclerosis from the skin rash

○外川 八英

千葉大学医学部附属病院皮膚科

**LS4-2 神経発達症の最近の話題～遺伝的リスクスコア解析とビデオゲームを用いた取り組み～**

Recent topics in neurodevelopmental disorders.—Findings from genetic risk score analysis and Approaches to cognitive dysfunction Using Video Games—

○高橋 長秀

名古屋大学医学部附属病院精神科・親と子どもの心療科

共催：ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディパルホールディングス

---

**ランチョンセミナー5 第2会場（福岡国際会議場 5階 501） 第2日/9月13日（金） 12：30～13：30**


---

**焦点起始発作治療薬の新たな夜明け**

座長：神 一敬（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野）

ファシリテーター：神 一敬（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野）

**LS5-1 新規ラセタム系抗てんかん発作薬を紐解く～薬理学的特性から臨床まで～薬理学特性を中心に**

○花谷 亮典

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学

**LS5-2 新規ラセタム系抗てんかん発作薬を紐解く～薬理学的特性から臨床まで～臨床成績を中心に**

○久保田 有一

東京女子医科大学附属足立医療センター脳神経外科

共催：ユーシービージャパン株式会社



---

**ランチョンセミナー 6 第 3 会場 (福岡国際会議場 5 階 502+503) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 12:30~13:30**


---

座長：中川 栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部)

**LS6 神経セロイドリポフスチン症の疾患概要・診断・治療について：2 型 (CLN2) を中心に**  
 Overview, diagnosis, and treatment of neuronal ceroid lipofuscinosis : Focusing on type 2 (CLN2)

○衛藤 薫

東京女子医科大学附属足立医療センター

共催：バイオマリンファーマシューティカルジャパン株式会社

---

**ランチョンセミナー 7 第 4 会場 (福岡国際会議場 4 階 411+412) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 12:30~13:30**


---

座長：赤松 直樹 (国際医療福祉大学医学部医学科脳神経内科学)

**LS7 てんかん性放電の見分け方**  
 How to Identify Epileptiform Discharges

○上原 平<sup>1,2)</sup>

1) 福岡山王病院てんかん・すいみんセンター 2) 国際医療福祉大学医学部脳神経内科学

共催：フクダ電子株式会社

---

**ランチョンセミナー 8 第 6 会場 (福岡国際会議場 4 階 401-403) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 12:30~13:30**


---

座長：下野 九理子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所)

**LS8 小児薬剤抵抗性てんかんの診断と治療—フェンフルラミンへの期待—**  
 Diagnosis and treatment for drug-resistant epilepsy in children—Expectations for fenfluramine—

○菊池 健二郎

埼玉県立小児医療センター神経科/小児てんかんセンター

共催：日本新薬株式会社

---

**ランチョンセミナー 9 第 7 会場 (福岡国際会議場 4 階 409) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 12:30~13:30**


---

**ニューロメートで挑む難治てんかんの外科治療 日本、英国の臨床の立場から**

座長：前澤 聡 (国立病院機構名古屋医療センター脳神経外科)

**LS9-1 ニューロメートで切り拓く定型的てんかん外科手術の未来**  
 The Future of Stereotactic Epilepsy Surgery Pioneered with Neuromate

○石崎 友崇<sup>1,2,3)</sup>、前澤 聡<sup>1)</sup>、齋藤 竜太<sup>1,2,3)</sup>

1) 名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科 2) 名古屋大学脳とこころの研究センター

3) 名古屋大学医学部附属病院てんかんセンター 4) 名古屋医療センター脳神経外科

**LS9-2** ニューロメートで繰り広げるてんかん外科の現状：イギリスの視点から

The present state of epilepsy surgery with Neuromate : A perspective from the UK

○長谷川 治友

キングズカレッジ病院脳神経外科

共催：レニショー株式会社

ランチョンセミナー 10 第 2 会場（福岡国際会議場 5 階 501） 第 3 日/9 月 14 日（土） 12：20～13：20

座長：松本 理器（神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学分野）

**LS10** てんかんの集学的治療—広がる外科治療の選択肢—

A multimodality approach for epilepsy : more choices in the surgical strategy

○浜崎 禎

琉球大学大学院医学研究科脳神経外科学講座

共催：エーザイ株式会社

ランチョンセミナー 11 第 3 会場（福岡国際会議場 5 階 502+503） 第 3 日/9 月 14 日（土） 12：20～13：20

この 5 年で薬剤抵抗性てんかんの治療はどう進化したのか？—知っておきたい薬剤抵抗性てんかんの診療 A to Z—

座長：久保田 有一（東京女子医科大学附属足立医療センター脳神経外科）

**LS11-1** てんかん治療の未来を切り開く新技術の導入—てんかん診療連携体制構築の再評価—

Contribution of new technologies to the epilepsy care in Japan—For Patients, Epileptologists and Hospital networks—

○飯田 幸治

広島大学病院てんかんセンター

**LS11-2** ロボット支援下定位機能脳神経外科手術—低侵襲てんかん治療時代の幕開け—

Robot-assisted stereotactic functional neurosurgery—The beginning of a new era of less-invasive epilepsy surgery—

○福多 真史

国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科

共催：ジンマー・バイオメット合同会社

---

ランチョンセミナー 12 第 4 会場 (福岡国際会議場 4 階 411+412) 第 3 日/9 月 14 日(土) 12:20~13:20

---

DRE 患者に VNS 治療がもたらす目的を考える—それぞれの治療フローにおける VNS の位置づけ—  
 座長：山本 貴道 (聖隷三方原病院てんかん・機能神経外科)

**LS12-1 Patient Journey and Goal of VNS Therapy at Ghent University**

○Paul Boon  
 Ghent University Hospital

**LS12-2 難治てんかんに対するニューロモデュレーションの現在 (名古屋大学の治療戦略)**

Current Neuromodulation for DRE (Treatment Strategy at Nagoya University Hospital)

○石崎 友崇<sup>1,2,3)</sup>、前澤 聡<sup>1)</sup>、齋藤 竜太<sup>1,2,3)</sup>

1)名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科 2)名古屋大学脳とこころの研究センター  
 3)名古屋大学医学部附属病院てんかんセンター 4)名古屋医療センター脳神経外科

**LS12-3 YCU てんかんセンターの診療ロジックツリー—ニューロモデュレーションの立ち位置—  
 The Logic Tree of DRE treatment in Epilepsy Center of YCU—Current Positioning of  
 Neuromodulation—**

○園田 真樹  
 横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科学教室

共催：リヴァノヴァ株式会社

---

ランチョンセミナー 13 第 5 会場 (福岡国際会議場 4 階 413+414) 第 3 日/9 月 14 日(土) 12:20~13:20

---

「てんかん治療」 課題克服に向けた新規治療薬への渴望

座長：今井 克美 (NHO 静岡てんかん・神経医療センター)

**LS13-1 「てんかん病態・治療」と「認知・精神」への影響**

○谷口 豪  
 国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

**LS13-2 理想的な抗てんかん剤治療と今後への期待**

○白石 秀明  
 獨協医科大学医学部小児科学

共催：ユーシーピージャパン株式会社

---

**ランチョンセミナー 14 第 6 会場 (福岡国際会議場 4 階 401-403) 第 3 日/9 月 14 日 (土) 12:20~13:20**

---

座長：森下 登史 (福岡大学病院脳神経外科)

**LS14 成人のてんかん重積状態に対する薬物治療—静脈麻酔薬の使用を含めて**  
Pharmacotherapy for status epilepticus in adults—including the use of intravenous anesthetics

○吉村 元

神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科

共催：アルフレッサファーマ株式会社

---

**ランチョンセミナー 15 第 7 会場 (福岡国際会議場 4 階 409) 第 3 日/9 月 14 日 (土) 12:20~13:20**

---

座長：重藤 寛史 (九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野・九州大学病院脳神経内科)

**LS15 脳卒中関連てんかんの診断と治療**  
Diagnosis and Treatment of Stroke-Related Epilepsy

○上原 平<sup>1,2)</sup>

1) 国際医療福祉大学医学部脳神経内科 2) 福岡山王病院てんかん・すいみんセンター

共催：第一三共株式会社

# 《プログラム》

一般演題口演（英語）

一般演題口演

第1日目

## 一般口演(英語)1 第 8 会場 (福岡国際会議場 4 階 410) 第 1 日/9 月 12 日(木) 9:00~9:50

## English Session 1

座長：渡邊 さつき (埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科)

重藤 寛史 (九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野/九州大学病院脳神経内科)

## ES1-1 脳卒中関連てんかん (SAE) の病因と病型に基づく解析

Analysis of stroke-associated epilepsy (SAE) based on etiology and stroke type

○遠藤 乙音、藤井 健太郎、和田 健太郎、岡田 健

愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院脳神経外科

## ES1-2 Dravet 症候群における SCN1A 遺伝子変異機能予測と臨床症状の関連

SCN1A functional significance in Dravet syndrome

○小林 揚子<sup>1)</sup>、馬場 信平<sup>1)</sup>、竹下 絵里<sup>1)</sup>、山本 薫<sup>1)</sup>、山本 寿子<sup>1)</sup>、住友 典子<sup>1)</sup>、  
本橋 裕子<sup>1)</sup>、齋藤 貴志<sup>1)</sup>、松本 直通<sup>5)</sup>、加藤 光広<sup>4)</sup>、石井 敦士<sup>6)</sup>、中川 栄二<sup>1,2)</sup>、  
小牧 宏文<sup>1,3)</sup>

1) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科

2) 国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

3) 国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナルメディカルセンター

4) 昭和大学医学部小児科 5) 横浜市立大学医学研究科遺伝学 6) 福岡国際医療福祉大学医療学部

## ES1-3 “Face-saving” in patients with idiopathic generalized epilepsy: a matched multicenter study

○音成 秀一郎<sup>1)</sup>、青木 志郎<sup>1)</sup>、大野 成美<sup>1,2)</sup>、野中 恵<sup>1)</sup>、山田 英忠<sup>1)</sup>、竹林 佳子<sup>1)</sup>、  
石橋 はるか<sup>1)</sup>、宍戸 丈郎<sup>3)</sup>、上利 大<sup>4)</sup>、山崎 雄<sup>1)</sup>、飯田 幸治<sup>2)</sup>、丸山 博文<sup>1,2)</sup>

1) 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 2) 広島大学病院てんかんセンター

3) 広島市立北部医療センター安佐市民病院脳神経内科 4) 広島市立広島市民病院脳神経内科

## ES1-4 Role of mitochondrial complex I gene in epilepsy with autism

○Mahalaxmi Iyer<sup>1)</sup>、Neetu Raj<sup>2)</sup>、Ajay Elangovan<sup>3)</sup>、Harysh Winstler Suresh Babu<sup>3)</sup>、  
Sindduja Muthukumar<sup>3)</sup>、Senthil Kumar Nachimuthu<sup>4)</sup>、Mukesh Kumar Yadav<sup>1)</sup>、  
Balachandar Vellingiri<sup>3)</sup>、Masako Kinoshita<sup>5)</sup>

1) Department of Microbiology, Central University of Punjab

2) Department of Human Genetics and Molecular Biology, Bharathiar University

3) Human Cytogenetics and Stem Cell Laboratory, Department of Zoology, Central University of Punjab 4) Department of Biotechnology, Mizoram University

5) Department of Neurology, National Hospital Organization Utano National Hospital

### ES1-5 Significant association of nervous system diseases with psychiatry and circulatory diseases in Japan

○Masako Kinoshita<sup>1)</sup>、Hiroya Ohara<sup>2)</sup>、Ajay Elangovan<sup>3)</sup>、Harysh Winster Suresh Babu<sup>3)</sup>、Mahalaxmi Iyer<sup>4)</sup>、John Zothanzama<sup>5)</sup>、Senthil Kumar Nachimuthu<sup>5)</sup>、Balachandar Vellingiri<sup>3)</sup>

1) Department of Neurology, National Hospital Organization Utano National Hospital

2) Department of Neurology, Minaminara General Medical Center

3) Human Cytogenetics and Stem Cell Laboratory, Department of Zoology, Central University of Punjab 4) Department of Microbiology, Central University of Punjab

5) Department of Biotechnology, Mizoram University

一般口演(英語)2 第8会場(福岡国際会議場 4階 410) 第1日/9月12日(木) 9:50~10:40

### English Session 2

座長：萩原 綱一(福岡山王病院てんかん・すいみんセンター)

小林 勝哉(京都大学大学院医学研究科臨床神経学)

### ES2-1 Gene Therapy Development for Glucose Transporter 1 (GLUT1) Deficiency

○Hitoshi Osaka<sup>1)</sup>、Sachie Nakamura<sup>1)</sup>、Takanori Yamagata<sup>1)</sup>、Karin Kojima<sup>1)</sup>、Kazuhiro Muramatsu<sup>1)</sup>、Eriko Jimbo<sup>1)</sup>、Yoshiyuki Onuki<sup>2)</sup>、Takeshi Nakajima<sup>2)</sup>、Kensuke Kawai<sup>2)</sup>、Shin-ichi Muramatsu<sup>3)</sup>

1) Dept. of Pediatrics, Jichi Medical School 2) Dept. of Neurosurgery, Jichi Medical School

3) Division of Neurological Gene Therapy, Jichi Medical University

### ES2-2 Four Cases of Convulsive Syncope imitating Epileptic Seizure

○廣瀬 源二郎、中川 裕康、大西 寛明、三秋 弥穂

浅ノ川総合病院てんかんセンター

### ES2-3 ラコサミドは症例によっては中心側頭部棘波を伴う自然終息性てんかんの病態を悪化させる可能性がある

Lacosamide may, in some cases, exacerbate the pathophysiology of self-limited epilepsy with centrotemporal spikes : A case report

○Nobuaki Tsuiki, Itaru Hayakawa, Yuichi Abe

Division of Neurology, Department of Medical Subspecialties, National Center for Child Health and Development

### ES2-4 重症心身障害児・者患者における睡眠時呼吸障害の検討

Sleep-related breathing disturbances in severely handicapped patients

○泉 達郎

国立病院機構七尾病院小児科、小児神経科



**ES2-5 Alpha-band activity with density spectrum array predictive for outcome in patients with hypoxic-ischemic encephalopathy**

○大野 成美<sup>1)</sup>、音成 秀一郎<sup>1,2)</sup>、野中 恵<sup>1)</sup>、石橋 はるか<sup>1)</sup>、青木 志郎<sup>1)</sup>、山崎 雄<sup>1)</sup>、  
飯田 幸治<sup>2)</sup>、丸山 博文<sup>1,2)</sup>

1) Department of Clinical Neuroscience and Therapeutics, Hiroshima University, Graduate School of Biomedical and Health Sciences 2) Epilepsy Center, Hiroshima University Hospital

一般口演(英語)3 第8会場(福岡国際会議場 4階 410) 第1日/9月12日(木) 14:00~14:40

**English Session 3**

座長：藤本 礼尚(聖隷浜松病院てんかん・機能神経センター)  
神 一敬(東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

**ES3-1 Interictal epileptiform discharge-related BOLD responses in the default mode network and subcortical regions**

○池本 智<sup>1,2)</sup>、日暮 憲道<sup>1)</sup>、伊藤 研<sup>1)</sup>、高見 遥<sup>1)</sup>、Nicolas von Ellenrieder<sup>2)</sup>、  
Jean Gotman<sup>2)</sup>

1) 東京慈恵会医科大学小児科学講座 2) Montreal Neurological Institute and Hospital

**ES3-2 Development of the Japanese version of the Public Attitudes Toward Epilepsy Scale (PATE scale)**

○畠田 順一<sup>1,2)</sup>、倉持 泉<sup>1)</sup>、小林 清香<sup>1)</sup>、岩山 孝幸<sup>1,3)</sup>、嶋崎 広海<sup>1,4)</sup>、吉益 晴夫<sup>1)</sup>、  
Lim Kheng Seang<sup>5)</sup>

1) 埼玉医科大学総合医療センター神経精神科 2) 東松山病院

3) 昭和女子大学人間社会学部心理学科 4) 西熊谷病院

5) Division of Neurology, Department of Medicine, Faculty of Medicine, University of Malaya

**ES3-3 The Impact of Problem Based Learning on Stigma towards Epilepsy among Medical Students**

○Yuto Arai, Tohru Okanishi, Yuko Nakamura, Kento Ohta, Yoshihiro Maegaki

Division of Child Neurology, Department of Brain and Neurosciences, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago, Japan

### ES3-4 Fostering Educational Engagement in Epilepsy Care among Psychiatrists : A Japanese Society of General Hospital Psychiatry Survey

○Hiroataka Iwaki<sup>1)</sup>、Go Taniguchi<sup>2)</sup>、Izumi Kuramochi<sup>3)</sup>、Kentaro Asayama<sup>4)</sup>、Shunsuke Takagi<sup>5)</sup>、Toru Horinouchi<sup>6)</sup>、Hiromichi Motooka<sup>7)</sup>、Tomikimi Tsuji<sup>8)</sup>、Hideki Azuma<sup>9)</sup>、Tetsufumi Suda<sup>10)</sup>、Ken Wada<sup>11)</sup>、Yasuhiro Kishi<sup>12)</sup>、Masako Watanabe<sup>13)</sup>

1) Department of Psychiatry, Douousato hospital

2) Department of Epileptology, National Center Hospital, National Center of Neurology and

Psychiatry 3) Department of Psychiatry, Saitama Medical Center, Saitama Medical University

4) Asayama Hospital

5) Department of Psychiatry and Behavioral Sciences, Tokyo Medical and Dental University Graduate School

6) Department of Psychiatry and Neurology, Hokkaido University Graduate School of Medicine

7) Department of Neuropsychiatry, Kurume University 8) Wakayama Tomodacho Clinic

9) Department of Psychiatry and Cognitive-Behavioral Medicine, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences 10) Department of Neuropsychiatry, KKR Tachikawa Hospital

11) Department of Psychiatry, Hiroshima Citizens Hospital, Hiroshima City Hospital Organization

12) Department of Psychiatry, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital

13) Shinjuku Shinkei Clinic

---

一般口演 1 第 7 会場 (福岡国際会議場 4 階 409) 第 1 日/9 月 12 日(木) 9 : 00~10 : 00

---

#### 遺伝

座長 : 大守 伊織 (岡山大学学術研究院教育学域)

青天目 信 (大阪大学大学院医学系研究科小児科)

#### 01-1 *PNKP* 遺伝子異常による MCSZ (Microcephaly, seizure, and developmental delay) の 1 例

A case of MCSZ (Microcephaly, seizure, and developmental delay) caused by mutations in *PNKP*

○諸戸 雅治<sup>1)</sup>、淀井 智也<sup>1)</sup>、宇田 大祐<sup>1)</sup>、新田 義宏<sup>1)</sup>、千代延 友裕<sup>2)</sup>、山田 博之<sup>3)</sup>、岡本 伸彦<sup>4)</sup>、水口 剛<sup>5)</sup>、松本 直通<sup>5)</sup>、加藤 光広<sup>6)</sup>

1) 市立福知山市民病院小児科 2) 京都府立医科大学分子診断・治療医学 3) 公立豊岡病院小児科

4) 大阪母子医療センター遺伝診療科 5) 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学

6) 昭和大学小児科

**01-2 薬剤抵抗性で重篤な経過をたどった GNAO1 遺伝子の新規突然変異による発達性てんかん性脳症の女兒例**

Developmental and Epileptic Encephalopathy caused by a novel mutation in the GNAO1 gene with a severe drug-resistant course

- 小林 良行<sup>1,2)</sup>、立石 裕一<sup>1,2)</sup>、出雲 大幹<sup>1,2)</sup>、江口 勇太<sup>1,2)</sup>、宮 冬樹<sup>3)</sup>、加藤 光広<sup>4,5)</sup>、岡田 賢<sup>1)</sup>

1) 広島大学病院小児科 2) 広島大学病院てんかんセンター

3) 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター 4) 昭和大学医学部小児科学講座

5) 昭和大学病院てんかん診療センター

**01-3 SZT2 遺伝子に病的バリエントを有する発達性てんかん性脳症の 1 例**

A case report : developmental epileptic encephalopathy with pathological variants in the SZT2 gene

- 山川 康平<sup>1)</sup>、九鬼 一郎<sup>1)</sup>、山田 直紀<sup>1)</sup>、松原 康平<sup>1)</sup>、石岡 梨紗子<sup>1)</sup>、福岡 正隆<sup>1)</sup>、温井 めぐみ<sup>1)</sup>、井上 岳司<sup>1)</sup>、長谷川 結子<sup>2)</sup>、岡本 伸彦<sup>2)</sup>、岡崎 伸<sup>1)</sup>

1) 大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科 2) 大阪母子医療センター遺伝診療科

**01-4 ATP1A3 遺伝子の病的バリエントによる発達性てんかん性脳症の 1 例**

A case of developmental epileptic encephalopathy caused by ATP1A3 gene pathogenic variant

- 大滝 里美<sup>1)</sup>、寺西 宏美<sup>2)</sup>、颯佐 かおり<sup>1,2)</sup>、田中 萌子<sup>1,3)</sup>、堀田 奈緒美<sup>3)</sup>、櫻井 隼人<sup>3)</sup>、笥 紘子<sup>3)</sup>、本多 正和<sup>3)</sup>、國方 徹也<sup>3)</sup>、加藤 光広<sup>4,5)</sup>、宮 冬樹<sup>6)</sup>、松本 浩<sup>1,2)</sup>、山内 秀雄<sup>1,2)</sup>

1) 埼玉医科大学病院小児科 2) 埼玉医科大学病院てんかんセンター

3) 埼玉医科大学病院新生児科 4) 昭和大学医学部小児科学講座

5) 昭和大学病院てんかん診療センター 6) 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター

**01-5 新規ヘテロ接合性ミスセンスバリエントを有する小児交互性片麻痺の 1 例**

A case of alternating hemiplegia of childhood with a novel heterozygous missense mutation

- 石嶺 里枝、石田 悠、奥野 博庸、田仲 樹、亀井 優、中澤 はる香、渡邊 由祐、林 佳奈子、春日 晃子、高松 朋子、高橋 英城、森地 振一郎、呉 宗憲、小穴 信吾、山中 岳

東京医科大学病院小児科・思春期科

### 01-6 NGLY1 関連先天性脱グリコシル化障害の診断に至った進行性ミオクローヌステんかんの男児

A boy with progressive myoclonus epilepsy leading to a diagnosis of NGLY1-associated congenital disorder of deglycosylation showing progressive myoclonus epilepsy

- 園田 有里<sup>1,2)</sup>、藤田 京志<sup>3)</sup>、鳥尾 倫子<sup>4)</sup>、向野 隆彦<sup>5)</sup>、波多江 健<sup>1)</sup>、和田 芳直<sup>6)</sup>、角谷 真知子<sup>6)</sup>、岡本 伸彦<sup>7)</sup>、村上 良子<sup>8)</sup>、鈴木 匡<sup>9)</sup>、磯部 紀子<sup>10)</sup>、重藤 寛史<sup>10)</sup>、松本 直通<sup>3)</sup>、酒井 康成<sup>2)</sup>、大賀 正一<sup>2)</sup>

- 1)福岡赤十字病院小児科 2)九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野  
3)横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学 4)福岡市立こども病院総合診療科  
5)九州大学病院神経内科 6)大阪母子医療センター分子遺伝病研究部門  
7)大阪母子医療センター遺伝診療科  
8)大阪大学微生物病研究所大阪大学免疫学フロンティアセンター  
9)理化学研究所開拓研究本部鈴木糖鎖代謝生化学研究室  
10)九州大学大学院医学研究院神経内科学

一般口演 2 第7会場 (福岡国際会議場 4階 409) 第1日/9月12日(木) 10:00~10:50

#### 病因・疫学

- 座長：田中 章浩 (京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経内科学)  
杉浦 嘉泰 (国立病院機構福島病院脳神経内科)

### 02-1 てんかんがあり突然死した症例の検討

Sudden death of patients with epilepsy

- 田中 正樹<sup>1)</sup>、大松 泰生<sup>1,2)</sup>  
1)田中神経クリニック 2)横浜医療福祉センター港南

### 02-2 小児細菌性髄膜炎における急性及び遠隔性症候性発作の検討

Analysis of acute and Remote Symptomatic Seizures in Pediatric Bacterial Meningitis

- 福岡 正隆<sup>1)</sup>、天羽 清子<sup>2)</sup>、九鬼 一郎<sup>1)</sup>、山川 康平<sup>1)</sup>、石岡 梨紗子<sup>1)</sup>、松原 康平<sup>1)</sup>、井上 岳司<sup>1)</sup>、温井 めぐみ<sup>1)</sup>、奥野 英雄<sup>2)</sup>、石川 順一<sup>2)</sup>、大塚 康義<sup>3)</sup>、岡崎 伸<sup>1)</sup>  
1)大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科  
2)大阪市立総合医療センター小児救急・感染症内科 3)大阪市立総合医療センター集中治療部

### 02-3 当院における超高齢者てんかんの特徴と予後

The Characteristics and prognosis of super elderly epilepsy patients in our hospital

- 油川 陽子<sup>1,5)</sup>、溝渕 雅広<sup>1,2,5)</sup>、中原 岩平<sup>1,5)</sup>、阿部 剛典<sup>1)</sup>、仁平 敦子<sup>1)</sup>、五嶋 大悟<sup>3)</sup>、石田 裕樹<sup>4,5)</sup>、原 敬二<sup>4,5)</sup>、鷺見 佳泰<sup>3)</sup>、佐光 一也<sup>1)</sup>、中村 博彦<sup>4)</sup>  
1)中村記念病院脳神経内科 2)南一条脳内科 3)中村記念南病院脳神経外科  
4)中村記念病院脳神経外科 5)中村記念病院てんかんセンター

- 02-4 医療ビッグデータを用いた千葉県におけるてんかん治療動向に関する疫学研究**  
An epidemiological study of current trends and treatment for epilepsy in Chiba based on big data analyses of the Japanese National Health Care Database  
○岡原 陽二<sup>1)</sup>、青柳 京子<sup>1)</sup>、吉村 健佑<sup>2)</sup>、前田 紘一郎<sup>1)</sup>、樋口 佳則<sup>1,3)</sup>  
1) 千葉県循環器病センター脳神経外科 2) 千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター  
3) 千葉大学大学院医学研究院脳神経外科学
- 02-5 COVID-19 はけいれんのリスクとなる？**  
Is COVID-19 a risk for potentiation of epileptic seizures in a epileptics after long seizure-free period  
○岸 高正  
荒木脳神経外科病院小児科

一般口演 3 第 7 会場 (福岡国際会議場 4 階 409) 第 1 日/9 月 12 日(木) 10:50~11:40

脳波・脳磁図・生理検査 1

座長：西村 光代 (筑波大学附属病院検査部/てんかんセンター)  
加藤 量広 (みやぎ県南中核病院)

- 03-1 深部電極モニタリング中の電気生理学的検査について**  
Electrophysiological Testing During Deep Electrode Monitoring  
○露口 尚弘<sup>1,2)</sup>、宇田 武弘<sup>2)</sup>  
1) なにわ生野病院 2) 大阪公立大学病院
- 03-2 血管内脳波は硬膜下電極と同程度で正確にてんかん原性焦点の側方性を検出できる**  
Endovascular electroencephalography (eEEG) can detect the laterality of epileptogenic foci as accurately as subdural electrodes  
○Ayataka Fujimoto<sup>1)</sup>、松丸 祐司<sup>2)</sup>、増田 洋亮<sup>2)</sup>、佐藤 慶史郎<sup>1)</sup>、沼本 真吾<sup>1)</sup>、丸島 愛樹<sup>1)</sup>、細尾 久幸<sup>2)</sup>、荒木 孝太<sup>2)</sup>、岡西 徹<sup>3)</sup>、石川 栄一<sup>2)</sup>  
1) 聖隷浜松病院てんかん・機能神経センター 2) 筑波大学附属病院脳神経外科  
3) 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科
- 03-3 側頭葉てんかんにおける発作時脳波の phase-amplitude coupling の持続的変化**  
Chronological changes in phase-amplitude coupling during epileptic seizures in temporal lobe epilepsy  
○上田 哲也<sup>1,3)</sup>、飯村 康司<sup>1)</sup>、三橋 匠<sup>1)</sup>、鈴木 皓晴<sup>1)</sup>、西岡 和輝<sup>1)</sup>、菅野 秀宣<sup>1)</sup>、大坪 宏<sup>1,2)</sup>  
1) 順天堂大学脳神経外科てんかんセンター 2) The Hospital for Sick Children  
3) 順天堂大学医学部付属練馬病院

**03-4 皮質高周波振動の 0.5-1200 Hz 信号特徴とてんかん原性の関係の多変量解析による究明**

Investigation of the relationship between 0.5 - 1200 Hz signal characteristics of cortical high-frequency oscillations and epileptogenicity using multivariate analysis

○柴田 敬<sup>1)</sup>、土屋 弘樹<sup>1)</sup>、佐々木 達也<sup>2)</sup>、秋山 麻里<sup>1)</sup>、秋山 倫之<sup>1)</sup>、小林 勝弘<sup>1)</sup>

1) 岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学分野発達神経病態学領域 (岡山大学病院小児神経科)

2) 岡山大学病院脳神経外科

**03-5 海馬・海馬傍回の睡眠時皮質脳波の左右差**

Laterality of cortical EEG in hippocampus and parahippocampal gyrus during sleep

○青野 峻也<sup>1)</sup>、嶋田 勢二郎<sup>1)</sup>、松橋 阿子<sup>1)</sup>、藤谷 茂太<sup>1)</sup>、永田 圭亮<sup>1)</sup>、國井 尚人<sup>2)</sup>、

齊藤 延人<sup>1)</sup>

1) 東京大学医学部附属病院脳神経外科 2) 自治医科大学附属病院脳神経外科

---

一般口演 4 第 8 会場 (福岡国際会議場 4 階 410) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 10:50~11:40

---

**画像 1**

座長: 鈴木 皓晴 (順天堂大学脳神経外科)

阿部 裕一 (国立成育医療研究センター神経内科、同小児てんかんセンター)

**04-1 18F-FDG PET と 11C-FMZ PET の SPM 解析による内側側頭葉てんかんの焦点側診断困難例**

Difficulties in Focal Diagnosis of Mesial Temporal Lobe Epilepsy with 18F-FDG PET and 11C-FMZ PET SPM Analysis

○林 志保里<sup>1,2)</sup>、稲次 基希<sup>1,2)</sup>、折原 あすみ<sup>1,2)</sup>、成相 直<sup>1)</sup>、坂田 宗之<sup>2)</sup>、石井 賢二<sup>2)</sup>、前原 健寿<sup>1)</sup>

1) 東京医科歯科大学脳神経外科 2) 東京都健康長寿医療センター研究所神経画像チーム

**04-2 MRI の機種や撮像条件による視床内部構造描出の違い~ANT-DBS 施行に備えて~**

Differences in visualization of internal structure of thalamus depending on MRI device and sequence

○井本 浩哉、野村 貞宏、藤井 奈津美、藤附 駿輔、森山 博史、石原 秀行

山口大学脳神経外科

**04-3 海馬体積測定は非内側側頭葉てんかんにおいても切除側診断に有用か**

Is hippocampal volumetry useful for diagnosis of resection side in non-medial temporal lobe epilepsy?

○瀬山 剛<sup>1,2)</sup>、飯田 幸治<sup>2)</sup>、香川 幸太<sup>1,2)</sup>、橋詰 顕<sup>1,2,3)</sup>、岡村 朗健<sup>1,2,4)</sup>、堀江 信貴<sup>1)</sup>

1) 広島大学脳神経外科 2) 広島大学病院てんかんセンター 3) 太田川病院脳神経外科

4) たかの橋中央病院脳神経外科

**04-4 脳出血に伴う急性症候性発作における arterial spin labeling 評価**

Arterial spin labeling MRI in patients with acute symptomatic seizures after intracerebral hemorrhage

○大友 智<sup>1)</sup>、加藤 量広<sup>2)</sup>、井上 敬<sup>1)</sup>、庄司 薫<sup>1)</sup>

1)みやぎ県南中核病院脳神経外科 2)みやぎ県南中核病院脳神経内科

**04-5 小児てんかん外科術前検査における発作時 ECD-SPECT の有用性の検討**

Usefulness of ictal ECD-SPECT in presurgical evaluation in pediatric epilepsy

○土屋 弘樹<sup>1)</sup>、永田 徹<sup>1)</sup>、川合 裕規<sup>1)</sup>、住友 裕美<sup>1)</sup>、榎本 早也香<sup>1)</sup>、塚原 理恵<sup>1)</sup>、  
時岡 礼恵<sup>1)</sup>、道上 理絵<sup>1)</sup>、佐々木 達也<sup>2)</sup>、柴田 敬<sup>1)</sup>、秋山 麻里<sup>1)</sup>、秋山 倫之<sup>1)</sup>、  
小林 勝弘<sup>3)</sup>

1)岡山大学病院小児神経科 2)岡山大学病院脳神経外科 3)旭川荘療育・医療センター

---

**一般口演 5 第7会場（福岡国際会議場 4階 409） 第1日/9月12日（木） 14：00～14：50**

---

**基礎疾患/分類・症候群**

座長：加賀 佳美（山梨大学医学部小児科学教室/山梨大病院てんかんセンター）

戸田 啓介（国立病院機構長崎川棚医療センター）

**05-1 機能的磁気共鳴画像法を用いた *Scn1a* ノックアウトラットの脳ネットワーク解析**Brain network analysis of *Scn1a* knockout rats using functional magnetic resonance imagin○伊藤 研<sup>1)</sup>、日暮 憲道<sup>1)</sup>、畑 純一<sup>2,3)</sup>、吉丸 大輔<sup>2)</sup>、大石 公彦<sup>1)</sup>、岡野 洋尚<sup>2)</sup>

1)東京慈恵会医科大学小児科 2)東京慈恵会医科大学再生医学研究部

3)東京都立大学健康福祉学部放射線学科

**05-2 Perioral Myoclonia with Absences (POMA) の6症例と文献的考察**

Six case studies and literature review of Perioral Myoclonia with Absences (POMA)

○澤木 悠人、川口 典彦、西田 拓司、芳村 勝城、矢部 友奈、白井 直敬、今井 克美  
NHO 静岡てんかん・神経医療センター**05-3 もの忘れ外来でのてんかん診断の検討**

Epilepsy in Outpatient Memory Disorders

○横井 克典<sup>1,2)</sup>、辻本 昌史<sup>1)</sup>、今井 絵里子<sup>1)</sup>、鈴木 啓介<sup>1)</sup>、山岡 朗子<sup>1)</sup>、堀部 賢太郎<sup>1)</sup>、  
武田 章敬<sup>1)</sup>、勝野 雅央<sup>2,3)</sup>、新畑 豊<sup>1)</sup>

1)国立長寿医療研究センター

2)名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻脳神経病態学神経内科学

3)名古屋大学大学院医学系研究科総合管理医学臨床研究教育学



**05-4 視床の陳旧性出血に起因すると考えられた DEE/EE-SWAS4 例の臨床像**

Clinical features of DEE/EE-SWAS with restricted lesion caused by thalamic hemorrhage

- 宮下 光洋、井口 晃宏、矢部 友奈、水谷 聡志、山口 解冬、大谷 英之、今井 克美  
NHO 静岡てんかん・神経医療センター

**05-5 神経膠腫関連てんかんの病理像と治療戦略**

Pathological findings and therapeutic strategies of glioma-associated epilepsy

- 中江 俊介<sup>1)</sup>、公文 将備<sup>1)</sup>、小嶋 大二郎<sup>1)</sup>、大場 茂生<sup>1)</sup>、山田 勢至<sup>2)</sup>、廣瀬 雄一<sup>1)</sup>  
1) 藤田医科大学医学部脳神経外科 2) 藤田医科大学医学部病理学

---

一般口演 6 第 7 会場 (福岡国際会議場 4 階 409) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 14:50~15:30

---

**画像 2**

座長：重藤 寛史 (九州大学大学院医学系研究院保健学部門検査技術科学分野/九州大学病院脳神経内科)  
須永 茂樹 (東京医科大学八王子医療センター脳神経外科)

**06-1 側頭葉てんかんにおける、ミトコンドリア機能障害：[18 F] BCPP-EF PET 研究**

In vivo mitochondrial dysfunction beyond the epileptogenic zone in temporal lobe epilepsy

- 松平 敬史<sup>1,2)</sup>、寺田 達弘<sup>1,2)</sup>、徳本 健太郎<sup>1)</sup>、川口 典彦<sup>1)</sup>、萩原 真斗<sup>1)</sup>、武内 智康<sup>2)</sup>、  
横倉 正倫<sup>3)</sup>、小川 博司<sup>1)</sup>、近藤 聡彦<sup>1,4)</sup>、西田 拓司<sup>1)</sup>、白井 直敬<sup>1)</sup>、小尾 智一<sup>1)</sup>、  
高橋 幸利<sup>1)</sup>、尾内 康臣<sup>2)</sup>  
1) NHO 静岡てんかん・神経医療センター 2) 浜松医科大学学生体機能イメージング研究室  
3) 浜松医科大学精神科 4) 岡山医療センター

**06-2 非痙攣性てんかん重積状態における脳血流評価と予後との関連について**

The evaluation of cerebral blood flow and clinical course in the patients of nonconvulsive status epilepticus

- 三輪 和弘、吉村 和也、武井 啓晃、澤田 重信、横山 和俊  
中部国際医療センター脳神経外科

**06-3 てんかん性放電に伴うてんかん原性ネットワークと認知機能障害**

Spike-related epileptic network and cognitive impairment in epilepsy

- HUI MING KHOO<sup>1,2)</sup>、藤田 祐也<sup>1,2)</sup>、木本 優希<sup>1,2)</sup>、藤永 貴大<sup>1,2)</sup>、下川 哲也<sup>3)</sup>、  
柳澤 琢史<sup>1,2)</sup>、谷 直樹<sup>1,2)</sup>、押野 悟<sup>1,2)</sup>、貴島 晴彦<sup>1,2)</sup>  
1) 大阪大学医学系研究科脳神経外科 2) 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター  
3) 大阪大学大学院情報科学研究科

**06-4 非けいれん性てんかん重積における ASL での陰性所見に関与する因子に関する検討**

Findings of negative arterial spin labeling in patient with nonconvulsive status epilepticus

- 多田 恵曜<sup>1,2)</sup>、藤原 敏孝<sup>1,2)</sup>、高木 康志<sup>1)</sup>  
1) 徳島大学脳神経外科 2) 徳島大学病院てんかんセンター



---

 一般口演 7 第 8 会場 (福岡国際会議場 4 階 410) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 14:40~15:30
 

---

## 併存症/発達・神経心理

座長：池田 浩子 (てんかん・神経大阪南森町いけだクリニック脳神経内科/小児科)  
 小坂 仁 (自治医科大学小児科学)

**07-1 乳児てんかん性スパズム症候群学童期 50 例の自閉症スペクトラム：治療とリハの影響- PARS 解析**

Autistic spectrum disorder in 50 elementary school patients with infantile epileptic spasm syndrome : evaluation with PARS about effect of treatment

- 高橋 幸利<sup>2)</sup>、太田 晶子<sup>1)</sup>、遠山 潤<sup>3)</sup>、池田 ちづる<sup>4)</sup>、本田 涼子<sup>5)</sup>、小川 昌宏<sup>6)</sup>、岩崎 康<sup>7)</sup>、西村 貴文<sup>7)</sup>、金子 英雄<sup>8)</sup>、船戸 道徳<sup>8)</sup>、世羅 康彦<sup>9)</sup>、高橋 純哉<sup>10)</sup>、澤井 康子<sup>11)</sup>、植月 元一<sup>12)</sup>

- 1) 静岡てんかん・神経医療センター 2) 岐阜市民病院 3) 西新潟中央病院  
 4) 熊本再春医療センター 5) 長崎医療センター 6) 三重中央医療センター  
 7) まつもと医療センター 8) 長良医療センター 9) 呉医療センター 10) 三重病院  
 11) 奈良医療センター 12) 四国こどもとおとなの医療センター

**07-2 乳児てんかん性スパズム症候群学童期 50 例の自閉症スペクトラム：生活学習の影響- PARS 解析**

Autistic spectrum disorder in 50 elementary school patients with infantile epileptic spasm syndrome : evaluation with PARS about effect of life & learning

- 高橋 幸利<sup>2)</sup>、太田 晶子<sup>1)</sup>、遠山 潤<sup>3)</sup>、池田 ちづる<sup>4)</sup>、本田 涼子<sup>5)</sup>、小川 昌宏<sup>6)</sup>、岩崎 康<sup>7)</sup>、西村 貴文<sup>7)</sup>、金子 英雄<sup>8)</sup>、船戸 道徳<sup>8)</sup>、世羅 康彦<sup>9)</sup>、高橋 純哉<sup>10)</sup>、澤井 康子<sup>11)</sup>、植月 元一<sup>12)</sup>

- 1) 静岡てんかん・神経医療センター 2) 岐阜市民病院 3) 西新潟中央病院  
 4) 熊本再春医療センター 5) 長崎医療センター 6) 三重中央医療センター  
 7) まつもと医療センター 8) 長良医療センター 9) 呉医療センター 10) 三重病院  
 11) 奈良医療センター 12) 四国こどもとおとなの医療センター

**07-3 前頭葉てんかんの認知機能とてんかん発作との関係**

The correlation of cognitive function and epileptic seizures in the frontal lobe epilepsy

- 芳村 勝城、今井 克美  
 静岡てんかん・神経医療センター

**07-4 Early Hemispherectomy contributes to neural development**

- 飯村 康司<sup>1,2,3)</sup>、鈴木 皓晴<sup>1,2)</sup>、三橋 匠<sup>1,2)</sup>、上田 哲也<sup>1,2)</sup>、西岡 和輝<sup>1,2)</sup>、野村 和希<sup>1,2)</sup>、菅野 秀宣<sup>1,2,3)</sup>、近藤 聡英<sup>1,2)</sup>

- 1) 順天堂大学医学部脳神経外科 2) 順天堂医院てんかんセンター  
 3) スガノ脳神経外科クリニック

**07-5** 新しい神経心理バッテリーにより長期忘却促進の改善を評価した高齢発症てんかんの一例

A case of late-onset epilepsy with an improvement of accelerated long-term forgetting evaluated with a novel neuropsychological battery

○萩原 真斗<sup>1,2)</sup>、川口 典彦<sup>1)</sup>、西田 拓司<sup>1)</sup>、白井 直敬<sup>1)</sup>、松井 三枝<sup>3)</sup>、田中 章景<sup>2)</sup>、今井 克美<sup>1)</sup>

1) NHO 静岡てんかん・神経医療センターてんかん科

2) 横浜市立大学大学院医学研究科神経内科学・脳卒中医学

3) 金沢大学国際基幹教育院臨床認知科学研究室

一般口演 8 第7会場 (福岡国際会議場 4階 409) 第1日/9月12日(木) 16:30~17:30

経過・予後

座長：中野 直樹 (近畿大学医学部脳神経外科)

押野 悟 (大阪大学医学部脳神経外科)

**08-1** 脳卒中後てんかん発作コントロールに与える脳表シデロシスの影響

Clinical Impact of Cortical Superficial Siderosis on Seizure Control in Post-Stroke Epilepsy

○田中 智貴<sup>1)</sup>、阿部 宗一郎<sup>1)</sup>、福岡 一樹<sup>1)</sup>、石山 浩之<sup>1)</sup>、鴨川 徳彦<sup>2)</sup>、本山 りえ<sup>1)</sup>、黒田 健仁<sup>1)</sup>、古賀 政利<sup>2)</sup>、豊田 一則<sup>2)</sup>、猪原 匡史<sup>1)</sup>

1) 国立循環器病研究センター脳神経内科 2) 国立循環器病研究センター脳血管内科

**08-2** てんかん発作を合併した Glioblastoma の臨床像および腫瘍関連遺伝子解析

Tumor-associated seizures in glioblastomas: clinical characteristics and genetic features

○泊 祐美、比嘉 那優大、牧野 隆太郎、東 拓一郎、花谷 亮典

鹿児島大学病院脳神経外科

**08-3** 周産期脳卒中 (perinatal stroke) によるてんかん～発作予後、発達予後の検討～

Epilepsy due to perinatal stroke: a study of seizure prognosis and developmental outcome

○水谷 聡志<sup>1)</sup>、山口 解冬<sup>1)</sup>、大谷 英之<sup>1)</sup>、白井 直敬<sup>2)</sup>、今井 克美<sup>1)</sup>、高橋 幸利<sup>1)</sup>

1) NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科

2) NHO 静岡てんかん・神経医療センター脳神経外科

**08-4** 有熱性けいれん小児患者に対する救急外来での脳波モニタリング開始時期と神経学的転帰との関連

Association between the timing of EEG monitoring in the emergency department and neurological outcome for children with febrile convulsive seizure

○丸山 あずさ<sup>1)</sup>、相馬 健人<sup>1,2)</sup>、上田 拓耶<sup>1,2)</sup>、石田 悠介<sup>1)</sup>、西山 将広<sup>1,2)</sup>、永瀬 裕朗<sup>2)</sup>

1) 兵庫県立こども病院神経内科 2) 神戸大学大学院医学研究科小児科

**08-5** 初発非誘発性発作時に脳波異常を認めなかった小児期発症てんかんの臨床的特徴の検討  
Clinical features of the first unprovoked seizure without epileptiform abnormalities in childhood onset

- 元木 崇裕、矢島 知里、城賀本 敏宏、江口 真理子  
愛媛大学医学部小児科

**08-6** 外来治療における発作コントロールの実態調査  
Survey on seizure control in outpatient treatment

- 落合 卓  
おちあい脳クリニック

---

一般口演 9 第 8 会場 (福岡国際会議場 4 階 410) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 16:30~17:30

---

**精神症状**

座長：岡田 元宏 (三重大学大学院医学系研究科精神神経科学分野)  
前川 敏彦 (天久台病院精神科)

**09-1** てんかん外科手術後の長期精神医学的転帰  
Long-term psychiatric outcome of epilepsy surgery

- 西田 拓司、白井 直敬、今井 克美  
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

**09-2** てんかん患者の主観的記憶評価に影響を与える神経心理学的問題についての検討  
Investigation of neuropsychological issues affecting subjective memory evaluation in patients with epilepsy

- 岡崎 光俊<sup>2)</sup>、須永 敦子<sup>2)</sup>、岩崎 真樹<sup>3)</sup>、渡邊 さつき<sup>4)</sup>、池谷 直樹<sup>5)</sup>  
1) 市立青梅総合医療センター精神科 2) 国立精神・神経医療研究センター病院精神科  
3) 国立精神・神経医療研究センター病院脳外科 4) 埼玉医科大学医学部精神医学  
5) 横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科

**09-3** 強制正常化をきたし治療に難渋した右前頭葉てんかんの 1 例  
A case of medically refractable right frontal lobe epilepsy with forced normalization

- 芦崎 太一朗<sup>1)</sup>、十河 正弥<sup>1)</sup>、的場 健人<sup>1)</sup>、南 霧子<sup>2)</sup>、久後 啓介<sup>1)</sup>、杉澤 良介<sup>1)</sup>、  
城間 京香<sup>1)</sup>、尾谷 真弓<sup>1)</sup>、古東 秀介<sup>1)</sup>、千原 典夫<sup>1)</sup>、関口 兼司<sup>1)</sup>、蓬萊 政<sup>2)</sup>、  
菱本 明豊<sup>2)</sup>、松本 理器<sup>1)</sup>  
1) 神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学 2) 神戸大学医学部附属病院精神科神経科

**09-4** てんかん発作が心因性非てんかん性発作 (PNES) と誤診されていた 4 症例の臨床的特徴  
Clinical features of four cases of epileptic seizures misdiagnosed as psychogenic non-epileptic seizures (PNES)

- 上田 裕一、西田 拓司、澤木 悠人、今井 克美  
静岡てんかん・神経医療センター

**09-5 てんかん外科における術後精神症状**

Postoperative psychiatric symptom in epilepsy surgery

- 高橋 章夫<sup>1)</sup>、間島 竹彦<sup>3)</sup>、岩丸 樹<sup>4)</sup>、狩野 未樹<sup>5)</sup>、山浦 美和子<sup>6)</sup>、井田 久仁子<sup>2)</sup>、  
宮城島 孝昭<sup>7)</sup>、伊部 洋子<sup>8)</sup>

- 1) 国立病院機構渋川医療センター脳神経外科 2) 国立病院機構渋川医療センター小児科  
3) 国立病院機構渋川医療センター精神科 4) 国立病院機構渋川医療センター看護部  
5) 国立病院機構渋川医療センターリハビリテーション部  
6) 国立病院機構渋川医療センター医療福祉相談部 7) 群馬大学医学部脳神経外科  
8) 群馬大学医学部リハビリテーション科

**09-6 心因性非てんかん性発作に対する Brexpiprazole の有効性**

Possible Therapeutic Efficacy of Brexpiprazole in Psychogenic Nonepileptic Seizures

- 三笥 良、平野 昭吾、中尾 智博  
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

---

一般口演 10 第 7 会場 (福岡国際会議場 4 階 409) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 17:30~18:30

---

**社会面・QOL**

- 座長：丸山 あずさ (兵庫県立こども病院神経内科)  
福智 寿彦 (すずかけクリニック)

**010-1 てんかんをもつ労働者の就業上の配慮に関する実態調査—産業医を対象とした質問紙調査**

A Survey on Workplace Accommodations for Employees with Epilepsy : Questionnaire Study of Occupational Physicians

- 喜多村 絃子<sup>1)</sup>、大松 泰生<sup>2,3)</sup>

- 1) 産業医科大学産業医実務研修センター 2) 横浜医療福祉センター港南神経小児科  
3) 田中神経クリニック

**010-2 日本語版てんかんを持つ人々への態度尺度 (Scales of the Attitudes toward People with Epilepsy) の検証**

Validate of the Japanese version of the Scales of the Attitudes toward People with Epilepsy (SAPE-J)

- 倉持 泉<sup>1)</sup>、岩山 孝幸<sup>1,2)</sup>、志賀浪 貴文<sup>1)</sup>、小林 清香<sup>1)</sup>、Margarete Pfafflin<sup>4)</sup>、  
Rupprecht Thorbecke<sup>5)</sup>、吉益 晴夫<sup>1)</sup>、Axel Mayer<sup>3)</sup>、Theodor W. May<sup>4,5)</sup>、Denny Kerkhoff<sup>3)</sup>

- 1) 埼玉医科大学総合医療センター神経精神科 2) 昭和女子大学人間社会学部心理学科  
3) University of Bielefeld, Department of Psychology and Sports Science  
4) Protestant Hospital of Bethel Foundation, University Medical School OWL, Bielefeld University  
5) Society of Epilepsy Research, Epilepsy Center Bethel

**O10-3 広大な医療圏を持つ地域基幹病院における小児てんかん重積に対するミダゾラム口腔用液の使用**

Use of oral midazolam solution for children with status epilepticus in an emergency medical facility having a wide medical area

○山廣 晴菜<sup>1,2)</sup>、加藤 晶<sup>1)</sup>、安藤 明子<sup>1)</sup>、山田 聡<sup>2)</sup>、白石 春生<sup>2)</sup>、後藤 健<sup>2)</sup>、植田 佑樹<sup>2)</sup>、佐藤 智信<sup>1)</sup>

1)北見赤十字病院小児科 2)北海道大学病院小児科

**O10-4 てんかん発作に起因した自動車事故事例刑事処分からの検討**

Analysis of vehicle collision cases in criminal court following drivers' epileptic fit : A comparative study before and after the enforcement of the new law

○馬場 美年子

慶應義塾大学医学部

**O10-5 JRAP 研究に登録した当院の妊娠 13 症例についての検討**

A study of 13 pregnancy cases enrolled in the Japanese registry of antiepileptic drugs and pregnancy (JRAP) study at our hospital

○中野 美佐<sup>1)</sup>、佐木山 裕史<sup>1)</sup>、細川 明子<sup>1)</sup>、大西 洋子<sup>2)</sup>

1)市立吹田市民病院脳神経内科 2)市立吹田市民病院産婦人科

**O10-6 “パープルデー信州” の取り組みとその意義—スティグマは減らせる—**

Activity and significance of “Purple Day Shinshu” —Stigma can be reduced—

○金谷 康平<sup>1,2)</sup>、北原 理恵<sup>2)</sup>、林 里絵<sup>2)</sup>、三水 静江<sup>2)</sup>、福山 哲広<sup>2)</sup>

1)信州大学医学部附属病院脳神経外科 2)信州大学医学部附属病院てんかん診療部門

一般口演 11 第 8 会場 (福岡国際会議場 4 階 410) 第 1 日/9 月 12 日(木) 17:30~18:20

**医療システム 1**

座長: 最上 友紀子 (大阪母子医療センター小児神経科)

森本 昌史 (京都府立医科大学医学部看護学科医学講座小児科学)

**O11-1 小児期発症てんかん患者の成人科への移行体験に対する認識**

Perceptions in the experience of transition from pediatric to adult care of patients with childhood-onset epilepsy in Japan

○佐々木 匠<sup>1)</sup>、入江 亘<sup>1)</sup>、菅原 明子<sup>1)</sup>、神 一敬<sup>2)</sup>、中里 信和<sup>2)</sup>、塩飽 仁<sup>1)</sup>

1)東北大学大学院医学系研究科小児看護学分野 2)東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

**O11-2 小児期発症てんかん患者におけるトランジションの現状調査**

Survey on the current status of transitions in patients with childhood-onset epilepsy

○石原 尚子<sup>1,2)</sup>、重松 秀夫<sup>2)</sup>、日吉 俊雄<sup>3)</sup>、岡田 久<sup>4)</sup>、森川 建基<sup>2)</sup>

1)藤田医科大学医学部小児科学 2)森川クリニック小児科 3)森川クリニック精神科  
4)森川クリニック脳神経内科

**011-3 Epi Passport によるトランジション促進は患者の就業力育成に繋がる**

Facilitating transition through the use of the Epi Passport leads to the development of patients' employability

- 和泉 允基<sup>1)</sup>、萩野 翔太<sup>2)</sup>、沼本 真吾<sup>1)</sup>、大森 義範<sup>1)</sup>、佐藤 慶史郎<sup>1)</sup>、杉江 藍<sup>1)</sup>、  
岡西 徹<sup>3)</sup>、藤本 礼尚<sup>1)</sup>

1) 聖隷浜松病院てんかん・機能神経センター 2) 浜松医科大学医学部医科学科  
3) 鳥取大学脳神経小児科

**011-4 当院におけるてんかん合併妊娠への取り組み**

Collaborative approach to pregnant women with epilepsy

- 藤岡 舞<sup>1)</sup>、稲次 基希<sup>1)</sup>、原 恵子<sup>2)</sup>、遠山 悟史<sup>3)</sup>、羅 ことい<sup>4)</sup>、不殿 絢子<sup>1)</sup>、  
宮坂 尚幸<sup>1)</sup>、前原 健寿<sup>1)</sup>

1) 東京医科歯科大学脳神経外科 2) 原クリニック 3) 東京医科歯科大学麻酔科  
4) 東京医科歯科大学周産女性診療科

**011-5 当院における小児科から成人科へのてんかん患者トランジションの現状調査**

A survey of transition from pediatric to adult care in epilepsy at Yamaguchi University Hospital

- 松重 武志、古澤 陽法、藤原 万裕、向野 文貴、小林 光、井上 裕文、星出 まどか、  
長谷川 俊史

山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座

# 《プログラム》

一般演題口演（英語）

一般演題口演

第2日目

---

**一般口演(英語)4 第 8 会場 (福岡国際会議場 4 階 410) 第 2 日/9 月 13 日(金) 9:30~10:10**

---

**English Session 4**

座長：宮島 美穂（東京医科歯科大学大学院精神行動医学分野）  
 江夏 怜（札幌医科大学脳神経外科）

**ES4-1 Risk of withdrawal seizures following the discontinuation of continuous infusion of midazolam for refractory status epilepticus in children**

○竹内 博一<sup>1)</sup>、菊池 健二郎<sup>1,2)</sup>、竹田 里可子<sup>1)</sup>、平田 佑子<sup>1,2)</sup>、松浦 隆樹<sup>1,2)</sup>、小一原 玲子<sup>3)</sup>、  
 浜野 晋一郎<sup>1)</sup>

1)埼玉県立小児医療センター神経科 2)東京慈恵会医科大学小児科学講座  
 3)埼玉県立小児医療センター保健発達部

**ES4-2 NGLY1 欠損症モデルマウスの痙攣様症状に対するオキシトシンの抑制作用**

Suppression of seizure-like behaviors by intranasal oxytocin in a mouse model of NGLY1 deficiency

○蒔田 幸正<sup>1,2)</sup>、朝比奈 誠<sup>1)</sup>、藤縄 玲子<sup>2)</sup>、行武 洋<sup>1)</sup>、鈴木 匡<sup>2)</sup>

1)武田薬品工業 2)理化学研究所

**ES4-3 Analysis of therapeutic effectiveness of fenfluramine for Dravet syndrome in Children**

○Hiroataka Motoi, Yuki Minamisawa, Yuki Inami, Yoshihiro Watanabe  
 Department of pediatrics, Yokohama City University Medical Center

**ES4-4 Efficacy of perampanel as initial monotherapy in children with focal epilepsy**

○宮里 良大<sup>1)</sup>、富 雄太郎<sup>1)</sup>、星野 廣樹<sup>1)</sup>、佐野 史和<sup>2)</sup>、金村 英秋<sup>1,2)</sup>

1)東邦大学医療センター佐倉病院小児科 2)山梨大学医学部小児科

---

**一般口演(英語)5 第 8 会場 (福岡国際会議場 4 階 410) 第 2 日/9 月 13 日(金) 10:20~11:10**

---

**English Session 5**

座長：宮本 雄策（聖マリアンナ医科大学小児科学）  
 戸島 麻耶（京都大学大学院医学研究科臨床神経学/てんかん・運動異常生理学）

**ES5-1 早期小児期に発症した虚血性梗塞による難治性前頭頭頂葉てんかんに対する離断術の工夫**

A modified superior frontoparietal partial disconnection technique for intractable frontoparietal epilepsy in patients associated with ischemic stroke during early childhood

○田村 剛一郎<sup>1,2)</sup>、Samuel Wiebe<sup>1)</sup>、Colin Josephson<sup>1)</sup>、Paolo Federico<sup>1)</sup>、Andrea Salmon<sup>1)</sup>、  
 Shaily Singh<sup>1)</sup>、Juan Pablo Appendino<sup>1)</sup>、Alice Ho<sup>1)</sup>、Morris Scantlebury<sup>1)</sup>、Julia Jacobs<sup>1)</sup>、  
 Walter Hader<sup>1)</sup>

1)Comprehensive Epilepsy Program, Department of Clinical Neurosciences, University of Calgary  
 Cumming School of Medicine

2)Department of Neurosurgery, University of Tsukuba Hospital, Tsukuba, Ibaraki, Japan



**ES5-2 Preoperative interhemispheric coherence as a potential predictive marker for seizure outcome after total corpus callosotomy in non-lesional, generalized epilepsy : a scalp EEG study**

○Takehiro Uda<sup>1,2)</sup>、Yindeedej Vich<sup>1,2)</sup>、Shugo Nishijima<sup>1)</sup>、Takeshi Inoue<sup>3)</sup>、Ichiro Kuki<sup>3)</sup>、Masataka Fukuoka<sup>3)</sup>、Megumi Nukui<sup>3)</sup>、Shin Okazaki<sup>3)</sup>、Noritsugu Kunihiro<sup>2)</sup>、Ryoko Umaba<sup>2)</sup>、Takeo Goto<sup>1)</sup>

1) Department of Neurosurgery, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine

2) Department of Pediatric Neurosurgery, Osaka City General Hospital

3) Department of Pediatric Neurology, Osaka City General Hospital

**ES5-3 Stereoelectroencephalography (SEEG) in the Rolandic and peri-Rolandic medically refractory epilepsy**

○Naoki Ikegaya<sup>1,2)</sup>、Thandar Aung<sup>3)</sup>、Jasmine Hect<sup>1)</sup>、Arka Mallela<sup>1)</sup>、Jorge Gonzalez-Martinez<sup>1)</sup>

1) University of Pittsburgh, Department of Neurological Surgery

2) Yokohama City University, Department of Neurosurgery

3) University of Pittsburgh, Department of Neurology

**ES5-4 頭頂葉てんかん焦点切除術の神経機能予後 ケースシリーズ**

Neurofunctional prognosis for focal resection of parietal lobe epilepsy, Case series

○増田 洋亮<sup>1,2)</sup>、荒木 孝太<sup>1,3)</sup>、田村 剛一郎<sup>1,3)</sup>、西村 光代<sup>1,4)</sup>、滝澤 静<sup>1,5)</sup>、榎園 崇<sup>1,6)</sup>、石川 栄一<sup>1,2)</sup>

1) 筑波大学附属病院てんかんセンター 2) 筑波大学医学医療系脳神経外科

3) 筑波大学附属病院脳神経外科 4) 筑波大学附属病院検査部

5) 筑波大学附属病院リハビリテーション部 6) 筑波大学医学医療系小児科

**ES5-5 Diagnostic utility of combination of four non-invasive presurgical modalities in cases of focal intractable epilepsy with normal MRI findings**

○Rofat Askoro Bimandoko<sup>1)</sup>、香川 幸太<sup>2,3)</sup>、瀬山 剛<sup>2,3)</sup>、岡村 朗健<sup>2,3)</sup>、橋詰 顕<sup>2,3)</sup>、大成 妙<sup>1)</sup>、廣川 裕<sup>1)</sup>、飯田 幸治<sup>3)</sup>、堀江 信貴<sup>1)</sup>

1) 広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 2) 広島大学病院脳神経外科

3) 広島大学病院てんかんセンター 4) 広島平和クリニック

---

一般口演(英語)6 第 8 会場(福岡国際会議場 4 階 410) 第 2 日/9 月 13 日(金) 11:15~12:15

---

### English Session 6

座長：白石 秀明(獨協医科大学医学部小児科学)

佐久間 悟(大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学)

#### ES6-1 Scalp-recorded high-frequency oscillations with generalized spike and wave complex in generalized epilepsy can be a biomarker of epileptogenicity

○Megumi Nonaka<sup>1,2)</sup>、Masao Matsuhashi<sup>3)</sup>、Kazuki Moriya<sup>4)</sup>、Shuichiro Neshige<sup>2)</sup>、Katsuya Kobayashi<sup>1)</sup>、Akihiro Shimotake<sup>1)</sup>、Kiyohide Usami<sup>5)</sup>、Hirofumi Maruyama<sup>2)</sup>、Akio Ikeda<sup>3)</sup>

1) Department of Neurology, Kyoto University, Graduate School of Medicine

2) Department of Clinical Neuroscience and Therapeutics, Hiroshima University, Graduate School of Biomedical and Health Sciences

3) Department of Epilepsy, Movement Disorders and Physiology, Kyoto University, Graduate School of Medicine

4) Department of Neurology, National Hospital Organization Nara Medical Center

5) Department of Clinical Laboratory, Kyoto University Hospital

#### ES6-2 Development of neuronal conduction velocity of the human corpus callosum and myelination

○Tomonori Ono<sup>1,2)</sup>、Ryoko Honda<sup>1,3)</sup>、Kazuaki Sato<sup>1,4)</sup>、Daiki Uchida<sup>5)</sup>、Shiro Baba<sup>5)</sup>、Keisuke Toda<sup>6)</sup>、Hiroshi Baba<sup>7)</sup>

1) Epilepsy Center, NHO Nagasaki Medical Center

2) Department of Neurosurgery, NHO Nagasaki Medical Center

3) Department of Pediatrics, NHO Nagasaki Medical Center

4) Department of Neurology, NHO Nagasaki Medical Center

5) Department of Neurosurgery, Nagasaki University School of Medicine

6) Department of Neurosurgery, NHO Nagasaki-Kawatana Medical Center

7) Epilepsy Center, Nishi-isahaya Hospital

**ES6-3 Seven-dimensional connectivity atlas of human language**

○Yu Kitazawa<sup>1,3)</sup>、Kazuki Sakakura<sup>3,4)</sup>、Hiroshi Uda<sup>3,5)</sup>、Riyo Ueda<sup>3)</sup>、Ethan Firestone<sup>3)</sup>、Shin-ichiro Osawa<sup>6,7)</sup>、Kazushi Ukishiro<sup>6)</sup>、Yutaro Takayama<sup>2,9)</sup>、Keiya Iijima<sup>9)</sup>、Toshimune Kambara<sup>3,10)</sup>、Kyoko Suzuki<sup>8)</sup>、Nobukazu Nakasato<sup>6)</sup>、Masaki Iwasaki<sup>9)</sup>、Fumiaki Tanaka<sup>1)</sup>、Eishi Asano<sup>3)</sup>

- 1) Department-of-Neurology and Stroke Medicine, Yokohama City University
- 2) Department-of-Neurosurgery, Yokohama City University
- 3) Departments-of-Pediatrics-and-Neurology, Children's Hospital of Michigan
- 4) Department-of-Neurosurgery, Rush University Medical Center
- 5) Department-of-Neurosurgery, Osaka Metropolitan University
- 6) Department-of-Epileptology, Tohoku University
- 7) Department-of-Neurosurgery, Tohoku University
- 8) Department-of-Behavioral-Neurology-and-Cognitive-Neuroscience, Tohoku University
- 9) Department-of-Neurosurgery, National Center of Neurology and Psychiatry
- 10) Department-of-Psychology, Hiroshima University

**ES6-4 SEEG 発作間欠期記録において棘波と高周波振動の所見に乖離を認めた内側側頭葉てんかんの一例**

Predominant HFO with little interictal spike observed by SEEG : a case with mesial temporal lobe epilepsy

○梶本 智史<sup>1)</sup>、吉田 健司<sup>1)</sup>、真田 由希子<sup>7)</sup>、安達 智美<sup>2)</sup>、友田 陽子<sup>2)</sup>、河村 祐貴<sup>8)</sup>、横山 淳史<sup>1)</sup>、澤田 真寛<sup>4)</sup>、十川 純平<sup>5)</sup>、小林 勝哉<sup>2)</sup>、下竹 昭寛<sup>2)</sup>、白石 一浩<sup>6)</sup>、菊池 隆幸<sup>1)</sup>、松橋 眞生<sup>3)</sup>、池田 昭夫<sup>3)</sup>

- 1) 京都大学大学院医学研究科発達小児科学 2) 京都大学大学院医学研究科臨床神経学
- 3) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座
- 4) 京都大学大学院医学研究科脳神経外科学
- 5) 京都大学大学院医学研究科呼吸管理睡眠制御学講座 6) 国立病院機構宇多野病院小児神経科
- 7) 大津赤十字病院小児科 8) 日本赤十字社和歌山医療センター脳神経内科

**ES6-5 Analysis of diagnostic and prognostic value of routine EEG in consciousness disturbance suspected of nonconvulsive status epilepticus**

○Hiroya Ohara<sup>1)</sup>、山中 雅美<sup>2)</sup>、菊辻 直弥<sup>1)</sup>、木下 真幸子<sup>3)</sup>

- 1) Department of Neurology, Minaminara General Medical Center
- 2) Department of Clinical Laboratory, Minaminara General Medical Center
- 3) Department of Neurology, National Hospital Organization Utano National Hospital

**ES6-6 The utility of scalp-recorded ictal direct current (DC) shifts and ictal high frequency oscillations (HFOs) in focal neocortical epilepsy : the differences among the epileptic focus**

○Yoko Tomoda<sup>1)</sup>、Junpei Togawa<sup>1)</sup>、Tomomi Adachi<sup>1)</sup>、Katsuya Kobayashi<sup>1)</sup>、Kiyohide Usami<sup>2)</sup>、Akihiro Shimotake<sup>1)</sup>、Masao Matsuhashi<sup>3)</sup>、Akio Ikeda<sup>3)</sup>

1) Department of Neurology, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan

2) Department of Clinical Laboratory Medicine, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan

3) Department of Epilepsy, Movement Disorders and Physiology, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan

一般口演 12 第 3 会場 (福岡国際会議場 5 階 502+503) 第 2 日/9 月 13 日(金) 13 : 40~15 : 00

**症例報告 1**

座長 : 福田 冬季子 (浜松医科大学浜松成育医療学遺伝子診療部・小児科)

岩崎 俊之 (川崎市立多摩病院小児科)

**O12-1 乳児てんかん性スバズム症候群を呈した MOGHE の 2 例**

Two cases with mild malformation of cortical development with oligodendroglial hyperplasia in epilepsy presenting with infantile epileptic spasms syndrome

○米野 翔太<sup>1)</sup>、馬場 信平<sup>1)</sup>、飯島 圭哉<sup>2)</sup>、中山 雄二<sup>3)</sup>、佐野 輝典<sup>3)</sup>、齋藤 貴志<sup>1)</sup>、佐藤 典子<sup>4)</sup>、高尾 昌樹<sup>3)</sup>、水野 朋子<sup>5)</sup>、中川 栄二<sup>1)</sup>、小牧 宏文<sup>1,6)</sup>、岩崎 真樹<sup>2)</sup>

1) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科

2) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科

3) 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部

4) 国立精神・神経医療研究センター病院放射線診療部 5) 東京医科歯科大学小児科

6) 国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター

**O12-2 14 歳で非けいれん性てんかん重積を呈した PCDH19 関連てんかんの 1 例**

A case of PCDH19-related epilepsy presenting with nonconvulsive status epilepticus at the age of 14 years

○西岡 誠<sup>1)</sup>、矢部 愛美<sup>1)</sup>、那須野 将<sup>1)</sup>、柴 直子<sup>1)</sup>、福山 哲広<sup>2)</sup>

1) 信州大学医学部附属病院小児科 2) 信州大学医学部附属病院てんかん診療部門

**O12-3 FGF12 変異による新生児てんかんの 1 例**

A case of neonatal epilepsy with FGF12 mutation

○松本 浩<sup>1,2)</sup>、浅野 茉莉香<sup>1)</sup>、大滝 里美<sup>1,2)</sup>、寺西 宏美<sup>1,2)</sup>、颯佐 かおり<sup>1,2)</sup>、加藤 光広<sup>3)</sup>、宮 冬樹<sup>4)</sup>、山内 秀雄<sup>1,2)</sup>

1) 埼玉医科大学病院小児科 2) 埼玉医科大学病院てんかんセンター 3) 昭和大学医学部小児科

4) 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター

**012-4** 2 年間毎日 NCSE を繰り返し認知症が疑われた難治性高齢発症てんかんの 80 歳代女性例  
Refractory elderly onset epilepsy case who repeated NCSE every day for two years and suspected of dementia

○溝口 知孝<sup>1,2)</sup>、川口 典彦<sup>1)</sup>、徳本 健太郎<sup>1)</sup>、白井 直敬<sup>1)</sup>

1)NHO 静岡てんかん神経医療センター 2)日本大学医学部内科学系神経内科学分野

**012-5** 2023/24 年シーズンに経験したインフルエンザ脳症

Influenza encephalopathy of the 2023/24 season

○チョン ピンフィー<sup>1)</sup>、梶原 健太<sup>1)</sup>、園田 有里<sup>1)</sup>、賀来 典之<sup>1,2)</sup>、酒井 康成<sup>1)</sup>、大賀 正一<sup>1)</sup>

1)九州大学病院小児科 2)九州大学病院救急救命センター

**012-6** 非てんかん性心因発作と鑑別が困難であった恐怖感情と自動症を伴うてんかん発作を呈した 1 例

A case of epileptic seizure presenting with feelings of fear and automatism, which was difficult to differentiate from psychogenic non-epileptic seizures

○相原 健志、早川 格、阿部 裕一

国立成育医療研究センター小児内科系専門診療部神経内科

**012-7** 早期の適切な治療が奏功している SCN2A 関連新生児てんかん

A case of SCN2A-related epilepsy successfully treated with early appropriate treatment

○樋口 直弥<sup>1)</sup>、中村 拓自<sup>1)</sup>、實藤 雅文<sup>1)</sup>、中藤 大輔<sup>2)</sup>、小崎 健次郎<sup>2)</sup>、武内 俊樹<sup>3)</sup>、松尾 宗明<sup>1)</sup>

1)佐賀大学医学部附属病院小児科 2)慶應義塾大学臨床遺伝学センター

3)慶應義塾大学小児科学教室

**012-8** 歩行障害と両上肢の皮質振戦を呈した超高齢者 BAFME の一例

a very older patient with BAFME presenting gait disturbance and cortical tremor

○太田 真紀子<sup>1)</sup>、山本 兼司<sup>1)</sup>、真田 悠希<sup>2)</sup>、小林 勝哉<sup>2)</sup>、戸島 麻耶<sup>3)</sup>、細川 恭子<sup>1)</sup>、竹内 啓喜<sup>1)</sup>、杉山 博<sup>1)</sup>、松川 美穂<sup>4)</sup>、戸田 達史<sup>5)</sup>、高橋 良輔<sup>6)</sup>、池田 昭夫<sup>3)</sup>

1)NHO 南京都病院脳神経内科 2)京都大学大学院医学研究科臨床神経学

3)京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

4)東京大学医学部附属病院脳神経内科 5)東京大学大学院医学系研究科神経内科学

6)京都大学学術研究展開センター生命・医薬系部

---

一般口演 13 第 4 会場 (福岡国際会議場 4 階 411+412) 第 2 日/9 月 13 日(金) 13:40~15:00

---

発作症状/実験てんかん/生理/生化学

座長：森野 道晴 (森野クリニック)

松尾 健 (東京都立神経病院)

**O13-1 内側視床上電極刺激は限局した帯域の高ガンマ活動を大脳皮質に惹起する**

Single-pulse electrical stimulation of the medial thalamic surface induces narrower high-gamma-band activities

○中村 和<sup>1,2)</sup>、宇佐美 清英<sup>3)</sup>、山田 大輔<sup>4)</sup>、松橋 眞生<sup>5)</sup>、池田 昭夫<sup>5)</sup>、荒川 芳輝<sup>4)</sup>、  
國枝 武治<sup>1)</sup>

1) 愛媛大学大学院医学系研究科脳神経外科学 2) 愛媛大学医学部地域医療再生学講座  
3) 京都大学医学部附属病院検査部 4) 京都大学大学院医学研究科脳神経外科学  
5) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

**O13-2 ミエリンおよびシナプス形成異常によるてんかん発作発生機序の解明**

Mechanism of epileptic seizure due to myelination and synaptic disorder

○杉山 一郎<sup>1,4)</sup>、石原 恵理子<sup>1,4)</sup>、須田 哲史<sup>2)</sup>、服部 英典<sup>3)</sup>、清和 千佳<sup>1)</sup>、阿相 皓晃<sup>4)</sup>

1) 立川病院てんかんニューロモデュレーションセンター・脳神経外科  
2) 立川病院てんかんニューロモデュレーションセンター・精神神経科  
3) 立川病院てんかんニューロモデュレーションセンター・脳神経内科  
4) グロービアミエリン研究所

**O13-3 焦点起始両側強直間代発作時に上肢・下肢が異なる側方性の 4 の字徴候を呈した焦点てんかんの一例**

A case of focal epilepsy presenting with figure-four signs of different lateralization on upper and lower limbs during focal onset bilateral tonic-clonic seizures

○立田 直久<sup>1)</sup>、小林 勝哉<sup>1)</sup>、野中 恵<sup>1)</sup>、高橋 良輔<sup>1,3)</sup>、池田 昭夫<sup>2)</sup>

1) 京都大学大学院医学研究科臨床神経学  
2) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学  
3) 京都大学学術研究展開センター生命・医薬系部

**O13-4 立位・歩行によって発作が誘発される補足運動野を焦点とした反射てんかんの一例**

A case of reflex epilepsy focused on supplementary motor area induced by upright posture and walking

○永田 圭亮<sup>1)</sup>、國井 尚人<sup>2)</sup>、松橋 阿子<sup>1)</sup>、青野 峻也<sup>1)</sup>、藤谷 茂太<sup>1)</sup>、嶋田 勢二郎<sup>1)</sup>、  
齊藤 延人<sup>1)</sup>

1) 東京大学医学部附属病院脳神経外科 2) 自治医科大学附属病院脳神経外科

**013-5 GABA 神経系が関与している脳腫瘍関連発作に対するモデルマウスを用いたレベチラセタムの有効性の検証**

Verification of the Efficacy of Long-Term Levetiracetam Administration Using a Mouse Model for Seizures Associated with Brain Tumors Involving the GABAergic System

○中居 永一<sup>1)</sup>、富好 真沙也<sup>2)</sup>、竹村 光広<sup>1)</sup>、上羽 哲也<sup>1)</sup>、伊藤 康一<sup>2)</sup>

1) 高知大学医学部脳神経外科 2) 徳島文理大学香川薬学部薬学科薬物治療学講座

**013-6 BRAF V600E 遺伝子変異を有するてんかん原性腫瘍のトランスクリプトーム解析**

Transcriptome analysis of epilepsy-associated tumors with the BRAF V600E mutation

○飯島 圭哉<sup>1)</sup>、小松 奏子<sup>2)</sup>、宮下 聡<sup>2)</sup>、村山 久美子<sup>3)</sup>、宮田 元<sup>4)</sup>、星野 幹雄<sup>2)</sup>、佐野 輝典<sup>5)</sup>、高尾 昌樹<sup>5)</sup>、林 貴啓<sup>1)</sup>、木村 唯子<sup>1)</sup>、金子 裕<sup>1)</sup>、岩崎 真樹<sup>1)</sup>

1) 国立精神・神経医療研究センター病院

2) 国立精神・神経医療研究センター神経研究所病態生化学研究部

3) 国立精神・神経医療研究センターメディカルゲノムセンター

4) 秋田県立循環器・脳脊髄センター脳神経病理学研究室

5) 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部

**013-7 焦点起始発作マウスを用いた TRPV1 拮抗薬による細胞外グルタミン酸濃度調節を介した抗てんかん様作用**

Anti-epileptic like effects of TRPV1 antagonist on focal epileptic seizure model mice by regulating the extracellular glutamate concentration

○森山 博史<sup>1)</sup>、井本 浩哉<sup>1,2)</sup>、野村 貞宏<sup>1,2)</sup>、藤井 奈津子<sup>1)</sup>、丸田 雄一<sup>1)</sup>、石原 秀行<sup>1)</sup>

1) 山口大学・大学院医学系研究科・脳神経外科学講座

2) 山口大学医学部附属病院・てんかんセンター

**013-8 Paroxysmal nocturnal dystonia との鑑別を要した焦点運動起始発作の 1 例**

A case of focal motor onset seizure requiring differentiation from paroxysmal nocturnal dystonia

○颯佐 かおり<sup>1,2)</sup>、大滝 里美<sup>1,2)</sup>、寺西 宏美<sup>1,2)</sup>、松本 浩<sup>1,2)</sup>、山内 秀雄<sup>1,2)</sup>

1) 埼玉医科大学病院小児科 2) 埼玉医科大学病院てんかんセンター

## 一般口演 14 第5会場（福岡国際会議場 4階 413+414） 第2日/9月13日（金） 13:40~15:00

## 外科治療 1

座長：落合 卓（おちあい脳クリニック）  
飯村 康司（順天堂大学医学部脳神経外科）

## O14-1 前頭葉離断術後に島回起始の焦点発作が顕在化した2例

Two cases of recurrent focal seizures of insular onset after anterior quadrant disconnection

- 松原 康平<sup>1)</sup>、九鬼 一郎<sup>1)</sup>、井上 岳司<sup>1)</sup>、山川 康平<sup>1)</sup>、石岡 梨紗子<sup>1)</sup>、福岡 正隆<sup>1)</sup>、  
温井 めぐみ<sup>1)</sup>、馬場 良子<sup>2)</sup>、國廣 誉世<sup>2)</sup>、宇田 武弘<sup>2,3)</sup>、藤田 京志<sup>4)</sup>、松本 直通<sup>4)</sup>、  
大坪 宏<sup>5)</sup>、岡崎 伸<sup>1)</sup>

- 1) 大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科  
2) 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科 3) 大阪公立大学大学院医学研究科脳神経外科  
4) 横浜市立大学医学研究科遺伝学 5) トロント大学小児科

## O14-2 驚愕発作に対し外科治療が奏功した2症例

Two cases of successful epilepsy surgery in startle seizures

- 矢部 友奈<sup>1)</sup>、宮下 光洋<sup>1)</sup>、山口 解冬<sup>1)</sup>、臼井 直敬<sup>1)</sup>、今井 克美<sup>1)</sup>、近藤 聡彦<sup>2)</sup>、  
大谷 英之<sup>1)</sup>、水谷 聡志<sup>1)</sup>、井口 晃宏<sup>1)</sup>

- 1) NHO 静岡てんかん・神経医療センター 2) NHO 岡山医療センター

## O14-3 高齢者のてんかん外科手術の経験と注意点について

Experience and Precautions in Epilepsy Surgery for the Elderly

- 大谷 啓介、井林 賢志、石下 洋平、中嶋 剛、國井 尚人、川合 謙介  
自治医科大学脳神経外科

## O14-4 薬剤抵抗性焦点てんかんに対する脳深部刺激療法一本邦第一症例に関する報告—

Our first case of deep brain stimulation for drug-resistant focal epilepsy in Japan: A case report

- 前田 紘一郎<sup>1)</sup>、岡原 陽二<sup>1)</sup>、岩佐 博人<sup>2,4)</sup>、青柳 京子<sup>1)</sup>、樋口 佳則<sup>1,3)</sup>

- 1) 千葉県循環器病センター脳神経外科 2) 千葉県循環器病センター精神科  
3) 千葉大学大学院医学研究院脳神経外科学 4) 浅井病院精神科

## O14-5 定位的頭蓋内電極留置術における電極固定法の工夫

Our ingenuity in fixing depth electrodes for stereoelectroencephalography

- 岳田 安奈、藤本 蒼、松尾 健

東京都立神経病院脳神経外科



**014-6 硬膜下電極留置後に補足運動野を含む評価、切除を要した小児期発症難治てんかんの検討**  
 Childhood-onset refractory epilepsy requiring evaluation and resection, including the supplementary motor area, after subdural electrode implantation

- 井上 岳司<sup>1)</sup>、山本 直寛<sup>1)</sup>、山川 康平<sup>1)</sup>、松原 康平<sup>1)</sup>、石岡 梨紗子<sup>1)</sup>、温井 めぐみ<sup>1)</sup>、九鬼 一郎<sup>1)</sup>、森本 笑子<sup>2)</sup>、石本 幸太郎<sup>3)</sup>、馬場 良子<sup>3)</sup>、國廣 誉世<sup>3)</sup>、大坪 宏<sup>4)</sup>、宇田 武弘<sup>3,5)</sup>、岡崎 伸<sup>1)</sup>

- 1) 大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター小児脳神経・言語療法内科  
 2) 大阪市立総合医療センター放射線診断科  
 3) 大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター小児脳神経外科  
 4) トロント小児病院小児神経科 5) 大阪公立大学大学院医学研究科脳神経外科

**014-7 両側起始の側頭葉てんかんに対する手術側決定の経験**

Selecting the side of surgery for bilateral temporal lobe epilepsy

- 鈴木 皓晴<sup>1)</sup>、飯村 康司<sup>1)</sup>、三橋 匠<sup>1)</sup>、上田 哲也<sup>1)</sup>、西岡 和輝<sup>1)</sup>、野村 和希<sup>1)</sup>、中島 円<sup>1)</sup>、菅野 秀宣<sup>1,2)</sup>、近藤 聡英<sup>1)</sup>

- 1) 順天堂大学脳神経外科 2) スガノ脳神経外科クリニック

**014-8 脳梁離断術を施行した両側後頭葉てんかんの 3 例**

Effectiveness of corpus callosotomy for bilateral occipital lobe epilepsy

- 山本 直寛<sup>1)</sup>、井上 岳司<sup>1)</sup>、石岡 梨紗子<sup>1)</sup>、山川 康平<sup>1)</sup>、松原 康平<sup>1)</sup>、福岡 正隆<sup>1)</sup>、温井 めぐみ<sup>1)</sup>、九鬼 一郎<sup>1)</sup>、森本 笑子<sup>2)</sup>、石本 幸太郎<sup>3)</sup>、馬場 良子<sup>3)</sup>、國廣 誉世<sup>3)</sup>、宇田 武弘<sup>3,4)</sup>、岡崎 伸<sup>1)</sup>

- 1) 大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター小児脳神経・言語療法内科  
 2) 大阪市立総合医療センター放射線診断科  
 3) 大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター小児脳神経外科  
 4) 大阪公立大学大学院医学研究科脳神経外科

---

一般口演 15 第 7 会場 (福岡国際会議場 4 階 409) 第 2 日/9 月 13 日(金) 13:40~15:00

---

**外科治療 2**

座長：藤井 正美 (山口県立総合医療センター脳神経外科・てんかんセンター)  
 迎 伸孝 (株式会社麻生飯塚病院脳神経外科)

**015-1 深部電極の皮膚固定が正確性に及ぼす影響**

Effect of skin fixation of deep electrodes on the accuracy

- 横佐古 卓、氏家 瞳、町田 実斉、神部 菜由、今里 大介、稲塚 万佑子、菊池 麻美、新井 直幸、大淵 英徳、萩原 信司、久保田 有一  
 東京女子医科大学附属足立医療センター脳神経外科

- 015-2 SEEG 電極の脳軟膜への刺入角度は手術併発症を避けるために重要な要素である**  
The insertion angle of the SEEG electrodes into the pia mater is an important factor to avoid surgical complications
- 木本 優希<sup>1,2)</sup>、HUI MING KHOO<sup>1)</sup>、谷 直樹<sup>1)</sup>、細見 晃一<sup>1)</sup>、押野 悟<sup>1)</sup>、三浦 慎平<sup>1)</sup>、岩田 貴光<sup>1)</sup>、江村 拓人<sup>1)</sup>、松橋 崇寛<sup>1)</sup>、小野田 裕司<sup>1)</sup>、藤永 貴大<sup>1)</sup>、柳澤 琢史<sup>1)</sup>、平田 雅之<sup>1)</sup>、貴島 晴彦<sup>1)</sup>
- 1)大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学 2)河内友誼会河内総合病院脳神経外科
- 015-3 Cirq ロボットアームシステムを用いた定位的頭蓋内電極留置の有用性と課題**  
The utility and challenges of Stereotactic EEG electrode placement using the Cirq robotic system
- 園田 真樹<sup>1)</sup>、高山 裕太郎<sup>1)</sup>、東島 威史<sup>2)</sup>、池谷 直樹<sup>1)</sup>、山田 祐希<sup>3)</sup>、山本 哲哉<sup>1)</sup>
- 1)横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科学 2)横須賀市立うわまち病院脳神経外科 3)横浜市立大学医学部
- 015-4 両側側頭葉てんかんにおける ROSA-SEEG の有用性**  
Utility of ROSA-SEEG in patients with bilateral temporal lobe epilepsy
- 神部 菜由、町田 実斉、西山 佳恵、海老瀬 広規、今里 大介、稲塚 万佑子、菊池 麻美、横佐古 卓、新井 直幸、Mikhail Chernov、大淵 英徳、萩原 信司、久保田 有一
- 東京女子医科大学付属足立医療センター
- 015-5 後大脳動脈で灌流される海馬周囲構造への超選択的麻酔は記憶機能のモダリティ別評価を可能にする**  
Regional anesthesia for the hippocampal formation perfused by posterior cerebral artery enables modality-specific assessment of memory function
- 大沢 伸一郎<sup>1)</sup>、鈴木 匡子<sup>2)</sup>、柿沼 一雄<sup>2)</sup>、勝瀬 一登<sup>2)</sup>、菊地 花<sup>2)</sup>、浮城 一司<sup>3)</sup>、石田 誠<sup>3)</sup>、下田 由輝<sup>1)</sup>、新妻 邦泰<sup>1,4)</sup>、神 一敬<sup>3)</sup>、中里 信和<sup>3)</sup>、遠藤 英徳<sup>1)</sup>
- 1)東北大学医学系研究科神経外科学分野 2)東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学分野 3)東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 4)東北大学大学院医工学研究科神経外科先端治療開発学分野
- 015-6 てんかん外科における覚醒下手術の適応と有用性**  
Efficacy of awake surgery for epilepsy surgery
- 田上 雄大、宇田 武弘、川嶋 俊幸、Yindeedj Vich、後藤 剛夫
- 大阪公立大学脳神経外科

**015-7 定位的頭蓋内電極留置中の電極移動に対する電極固定法の影響**

Impact of fixation in dislocation of stereotactically implanted depth electrodes

- 菊池 隆幸<sup>1)</sup>、澤田 真寛<sup>1)</sup>、山田 大輔<sup>1)</sup>、出村 彩郁<sup>1)</sup>、山尾 幸広<sup>1)</sup>、小林 勝哉<sup>2)</sup>、  
下竹 昭寛<sup>2)</sup>、吉田 健司<sup>3)</sup>、池田 昭夫<sup>4)</sup>、荒川 芳輝<sup>1)</sup>  
1) 京都大学 2) 京都大学大学院医学研究科脳神経内科  
3) 京都大学大学院医学研究科発達小児科学  
4) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

**015-8 片側多小脳回に対して右大脳半球離断術を施行した 1 例**

A case of right hemispherectomy of the unilateral polymicrogyria

- 下村 育史<sup>1,2)</sup>、丸山 慎介<sup>1,2)</sup>、東 拓一郎<sup>2,3)</sup>、泊 祐美<sup>2,3)</sup>、花谷 亮典<sup>2,3)</sup>  
1) 鹿児島大学病院小児科 2) 鹿児島大学病院てんかんセンター 3) 鹿児島大学病院脳神経外科

---

一般口演 16 第 8 会場 (福岡国際会議場 4 階 410) 第 2 日/9 月 13 日(金) 13:40~15:00

---

**薬物治療 1**

座長：遠藤 文香 (国立病院機構南岡山医療センター小児神経科)  
坂内 優子 (坂内小児科医院)

**016-1 小児病院における抗てんかん薬処方の 2016 年から 2023 年までの経年変化**

Annual trends in antiepileptic drug prescriptions in children's hospitals from 2016 to 2023

- 西山 将広<sup>1,2)</sup>、相馬 健人<sup>1,2)</sup>、上田 拓耶<sup>1,2)</sup>、石田 悠介<sup>1)</sup>、丸山 あずさ<sup>1)</sup>  
1) 兵庫県立こども病院神経内科 2) 神戸大学大学院医学研究科小児科

**016-2 カンナビノイドの医療監視**

Regulatory oversight of cannabinoids

- 太組 一朗<sup>1)</sup>、正高 佑志<sup>2)</sup>、岸 泰宏<sup>3)</sup>、松本 俊彦<sup>4)</sup>、山野 嘉久<sup>5)</sup>、山本 仁<sup>6)</sup>、  
平良 万有実<sup>7)</sup>、鰐淵 昌彦<sup>8)</sup>、川上 浩司<sup>9)</sup>、秋田 定伯<sup>10)</sup>、三上 礼子<sup>11)</sup>、長田 優香<sup>12)</sup>、  
饒波 正博<sup>13)</sup>、野崎 千尋<sup>14)</sup>、秋野 公造<sup>15)</sup>  
1) 聖マリアンナ医科大学脳神経外科 2) くまもと成城病院脳神経内科・グリーンゾーンジャパン  
3) 日本医科大学武蔵小杉病院精神科  
4) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部  
5) 聖マリアンナ医科大学脳神経内科 6) 聖マリアンナ医科大学小児科  
7) カンナビノイド医療患者会 8) 大阪医科薬科大学脳神経外科 9) 京都大学薬剤疫学  
10) たまき青空病院 11) 成育医療センター臨床研究センター 12) 長田整形外科  
13) 平安病院精神科 14) 早稲田大学理工学術院 15) 参議院議員 (福岡県選出)

**016-3 レベチラセタム大量服用症例について～血中濃度の推移から学ぶ投与再開のヒント～**

Levetiracetam high-dose case study—tips for resuming dosing learned from levetiracetam concentration trends—

- 増本 政也<sup>1)</sup>、本岡 大道<sup>1)</sup>、安元 眞吾<sup>1)</sup>、緒方 隆光<sup>1,2)</sup>、千葉 比呂美<sup>1)</sup>、小曾根 基裕<sup>1)</sup>  
1) 久留米大学医学部神経精神医学講座 2) 宇和島病院

- O16-4** テント上髄膜腫手術症例におけるてんかん発作および周術期管理についての検討  
Epilepsy and perioperative seizures in surgical cases of supratentorial meningioma  
○藤原 敏孝<sup>1,2)</sup>、多田 恵曜<sup>1,2)</sup>、中島 公平<sup>2)</sup>、原 慶次郎<sup>2)</sup>、安積 麻衣<sup>2)</sup>、高木 康志<sup>2)</sup>  
1) 徳島大学病院てんかんセンター 2) 徳島大学脳神経外科
- O16-5** 重症心身障碍児・者のてんかんに対するラコサミドの効果  
Efficacy and tolerability of lacosamide for epilepsy in patients with severely motor and intellectual disability  
○石川 暢恒、出雲 大幹  
県立広島病院小児科
- O16-6** 低用量のフェンフルラミンで効果が得られた Dravet 症候群の 5 例  
Five cases of Dravet syndrome responding to low-dose fenfluramine  
○上田 拓耶<sup>1,2)</sup>、西山 将広<sup>1,2)</sup>、相馬 健人<sup>1,2)</sup>、石田 悠介<sup>1)</sup>、徳元 翔一<sup>2)</sup>、山口 宏<sup>2)</sup>、野津 寛大<sup>2)</sup>、永瀬 裕朗<sup>2)</sup>、丸山 あずさ<sup>1)</sup>  
1) 兵庫県立こども病院 2) 神戸大学大学院医学研究科小児科
- O16-7** 急性脳症罹患後の SCN1A 欠失型ドラベ症候群患者におけるフェンフルラミンの有効性  
Effectiveness of fenfluramine for SCN1A-deletion Dravet syndrome after acute encephalopathy  
○早川 格、阿部 裕一  
国立成育医療研究センター神経内科
- O16-8** 小児てんかんにおけるペランパネル単剤投与の有効性と忍容性に関する後方視的研究  
A retrospective study of the efficacy and tolerability of peramppanel monotherapy in pediatric epilepsy  
○寺西 宏美<sup>1)</sup>、大滝 里美<sup>1,2)</sup>、颯佐 かおり<sup>1,2)</sup>、松本 浩<sup>1,2)</sup>、山内 秀雄<sup>1,2)</sup>  
1) 埼玉医科大学病院小児科 2) 埼玉医科大学病院てんかんセンター

---

一般口演 17 第 7 会場 (福岡国際会議場 4 階 409) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 16:00~17:10

---

### 外科治療 3

座長：上田 徹 (かみだ脳神経クリニック)  
上利 崇 (国際医療福祉大学成田病院脳神経外科)

- O17-1** てんかん外科手術における創部離開リスク因子の検討  
The risk factor of wound dehiscence in epilepsy surgery  
○香川 幸太<sup>1,2)</sup>、飯田 幸治<sup>2)</sup>、橋詰 顕<sup>2)</sup>、瀬山 剛<sup>1,2)</sup>、岡村 朗健<sup>1,2)</sup>、堀江 信貴<sup>1,3)</sup>  
1) 広島大学病院脳神経外科 2) 広島大学病院てんかんセンター  
3) 広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学

**017-2 超選択的 Wada テストによる脳領域別の言語機能推定**

Estimation of different functional aspects of language for specific brain regions using the super-selective Wada test

- 柿沼 一雄<sup>1)</sup>、大沢 伸一郎<sup>2)</sup>、勝瀬 一登<sup>1,3)</sup>、菊地 花<sup>1)</sup>、太田 祥子<sup>1)</sup>、川村 藍<sup>1)</sup>、  
劉 軍艶<sup>1)</sup>、浮城 一司<sup>4)</sup>、神 一敬<sup>2)</sup>、遠藤 英徳<sup>2)</sup>、中里 信和<sup>4)</sup>、鈴木 匡子<sup>1)</sup>

- 1) 東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学分野  
2) 東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野 3) 東京大学大学院医学系研究科神経内科学分野  
4) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

**017-3 Leksell Frame による SEEG の問題点**

Problems with SEEG using Leksell frame

- 稲次 基希<sup>1)</sup>、小林 一太<sup>2)</sup>、折原 あすみ<sup>1)</sup>、前原 健寿<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学脳神経外科 2) 田中脳神経外科病院脳神経外科

**017-4 Wada テストにおける記憶スコアは言語機能領域への薬剤注入で低下しうる**

Memory scores in the Wada test can be decreased by drug distribution into the language function area

- 菊地 花<sup>1)</sup>、大沢 伸一郎<sup>3)</sup>、柿沼 一雄<sup>1)</sup>、勝瀬 一登<sup>1,2)</sup>、太田 祥子<sup>1)</sup>、川村 藍<sup>1)</sup>、  
劉 軍艶<sup>1)</sup>、浮城 一司<sup>4)</sup>、神 一敬<sup>4)</sup>、遠藤 英徳<sup>3)</sup>、中里 信和<sup>4)</sup>、鈴木 匡子<sup>1)</sup>

- 1) 東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学分野 2) 東京大学大学院医学系研究科神経内科学  
3) 東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野 4) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

**017-5 全脳梁離断術が有効であった脳梁低形成の 2 症例**

Two cases of hypocorpus callosum for which total corpus callosotomy was effective

- 石岡 梨紗子<sup>1)</sup>、井上 岳司<sup>1)</sup>、山川 康平<sup>1)</sup>、松原 康平<sup>1)</sup>、山本 直寛<sup>1)</sup>、福岡 正隆<sup>1)</sup>、  
温井 めぐみ<sup>1)</sup>、九鬼 一郎<sup>1)</sup>、森本 笑子<sup>2)</sup>、石本 幸太郎<sup>3)</sup>、馬場 良子<sup>3)</sup>、國廣 誉世<sup>3)</sup>、  
宇田 武弘<sup>3,4)</sup>、岡崎 伸<sup>1)</sup>

- 1) 大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター小児脳神経・言語療法内科  
2) 大阪市立総合医療センター放射線診断科  
3) 大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター小児脳神経外科  
4) 大阪公立大学大学院医学系研究科脳神経外科

**017-6 プラズマブレードを用いた VNS パルスジェネレータ交換**

Utility of Plasma Blade in the revision of VNS pulse-generator

- 金 峰克、稲次 基希、前原 健寿

- 東京医科歯科大学脳神経外科

**017-7 定位手術用ロボットアーム Neuromate による視床前核脳深部刺激療法 (ANT-DBS) の導入経験**

Introduction of anterior nucleus of thalamus deep brain stimulation therapy (ANT-DBS) with Neuromate stereotactic robotic arm

○石崎 友崇<sup>1)</sup>、前澤 聡<sup>2,3)</sup>、鈴木 崇宏<sup>1)</sup>、橋田 美紀<sup>1)</sup>、伊藤 芳記<sup>1)</sup>、武藤 学<sup>1)</sup>、種井 隆文<sup>1)</sup>、齋藤 竜太<sup>1)</sup>

1)名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科 2)名古屋大学脳とこころの研究センター

3)名古屋医療センター

一般口演 18 第 8 会場 (福岡国際会議場 4 階 410) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 16:00~17:10

**脳波・脳磁図・生理検査 2**

座長：宇佐美 憲一 (埼玉県立小児医療センター脳神経外科)

福多 真史 (国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科)

**018-1 SEEG 後に硬膜下電極を再留置した前頭葉てんかんの 2 例**

Two cases of frontal lobe epilepsy who underwent focal resection required subdural electrodes after stereoelectroencephalography

○金岡 杏純<sup>1,2)</sup>、稲次 基希<sup>1)</sup>、小林 一太<sup>3)</sup>、折原 あすみ<sup>1)</sup>、前原 健寿<sup>1)</sup>

1)東京医科歯科大学脳神経外科 2)塩田記念病院脳神経外科 3)田中脳神経外科病院脳神経外科

**018-2 発作時の 3 段階脳波パターンと眼球偏位の組み合わせによる前頭葉半球間裂焦点の予測精度**

Prediction accuracy of seizure focus in frontal interhemispheric fissure using a combination of three phase-EEG patterns and isolated eye deviation

○西村 光代<sup>1,2,3)</sup>、岡西 徹<sup>3,4)</sup>、増田 洋亮<sup>2,5)</sup>、荒木 孝太<sup>2,6)</sup>、藤本 礼尚<sup>3)</sup>、榎 日出夫<sup>3,7)</sup>、石川 栄一<sup>2,5)</sup>

1)筑波大学附属病院検査部 2)筑波大学附属病院てんかんセンター

3)聖隷浜松病院てんかんセンター 4)鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科

5)筑波大学医学医療系脳神経外科 6)筑波大学附属病院脳神経外科

7)川崎医科大学附属病院小児科

**018-3 演題取り下げ**

**018-4 SEEG を用いた言語機能マッピング**

High-gamma language mapping using SEEG

- 三橋 匠、飯村 康司、鈴木 皓晴、上田 哲也、西岡 和輝、野村 和希、中島 円、菅野 秀宣、近藤 聡英  
順天堂大学医学部脳神経外科/順天堂医院てんかんセンター

**018-5 SEEG/MEG 同時記録による側頭葉てんかんを対象とした MEG の海馬活動検知能の検討**

Examining the ability of MEG to detect hippocampal activity in temporal lobe epilepsy using SEEG/MEG simultaneous recording

- 岡村 朗健<sup>1,2)</sup>、橋詰 顕<sup>1,2)</sup>、香川 幸太<sup>1,2)</sup>、瀬山 剛<sup>1,2)</sup>、吉野 敦雄<sup>3)</sup>、山脇 成人<sup>3)</sup>、堀江 信貴<sup>1)</sup>、飯田 幸治<sup>2)</sup>  
1) 広島大学病院脳神経外科 2) 広島大学病院てんかんセンター  
3) 広島大学脳・こころ・感性科学研究センター

**018-6 血管内脳波電極による新たな焦点診断の手法**

A novel focal diagnosis method using endovascular EEG electrodes

- 荒木 孝太<sup>1)</sup>、増田 洋亮<sup>2,3)</sup>、細尾 久幸<sup>4)</sup>、西村 光代<sup>2,5)</sup>、榎園 崇<sup>2,6)</sup>、藤本 礼尚<sup>7)</sup>、石川 栄一<sup>2,3)</sup>、川合 謙介<sup>8)</sup>、松丸 祐司<sup>3,4)</sup>  
1) 筑波大学附属病院脳神経外科 2) 筑波大学附属病院てんかんセンター  
3) 筑波大学医学医療系脳神経外科 4) 筑波大学附属病院脳卒中科 5) 筑波大学附属病院検査部  
6) 筑波大学医学医療系小児科 7) 聖隷浜松病院てんかん科 8) 自治医科大学脳神経外科

**018-7 ヘッドセット脳波記録による医師・看護師への効果**

Positive effect for doctor or nurse by using electroencephalogram headset

- 森 仁<sup>1,2,3,4)</sup>、山下 美穂<sup>5)</sup>、深井 美佳<sup>5)</sup>、田村 昌代<sup>5)</sup>  
1) 川崎医科大学総合医療センター脳神経内科 2) 川崎医科大学神経内科学  
3) 岡山東部脳神経外科病院 4) 重井医学研究所附属病院  
5) 川崎医科大学総合医療センター中央検査部

---

一般口演 19 第 7 会場 (福岡国際会議場 4 階 409) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 17:10~18:30

---

**外科治療 4**

- 座長：田村 健太郎 (国立病院機構奈良医療センターてんかんセンター)  
白井 直敬 (独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

**019-1 Posterior quadrant disconnection の治療成績と発作残存例に対する追加切除の実施状況**

Outcome of posterior quadrant disconnection and additional resection for residual seizures

- 相原 悠<sup>1)</sup>、馬場 信平<sup>1)</sup>、飯島 圭哉<sup>2)</sup>、木村 唯子<sup>2)</sup>、齋藤 貴志<sup>1)</sup>、中川 栄二<sup>3)</sup>、小牧 宏文<sup>1)</sup>、岩崎 真樹<sup>2)</sup>  
1) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科  
2) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科  
3) 国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部



- 019-2 高齢者に対するてんかん手術についての考察**  
Clinical characteristics and outcomes of epilepsy surgery in elderly  
○橋口 充、小川 博司、奥村 太郎、白井 直敬  
NHO 静岡てんかん・神経医療センター
- 019-3 限局性皮質異形成に対する定位的温熱凝固術：白質梗塞を回避する治療戦略**  
Stereotactic radio-frequency thermocoagulation for focal cortical dysplasia : treatment strategy to avoid white matter infarction  
○林 貴啓、飯島 圭哉、木村 唯子、岩崎 真樹、金子 裕  
国立精神・神経医療研究センター
- 019-4 小児てんかん根治手術の発作転帰・発達転帰**  
The seizure and developmental outcomes of pediatric epilepsy surgery  
○奥村 太郎、白井 直敬、小川 博司、橋口 充、今井 克美  
NHO 静岡てんかん・神経医療センター
- 019-5 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかんにおける選択的扁桃体海馬切除術後の手術成績**  
Postoperative outcome of selective amygdalohippocampectomy for mesial temporal lobe epilepsy with hippocampal sclerosis  
○白井 直敬、小川 博司、奥村 太郎、橋口 充、荒木 保清、松平 敬史、川口 典彦、徳本 健太郎、萩原 真斗、溝口 知孝、西田 拓司、今井 克美  
静岡てんかん・神経医療センター
- 019-6 てんかん外科手術における脳血管外科基本手技習得の重要性について**  
The Importance of Mastering Basic Cerebrovascular Surgical Techniques in Epilepsy Surgery  
○石下 洋平、井林 賢志、大谷 啓介、國井 尚人、川合 謙介  
自治医科大学脳神経外科
- 019-7 海馬多切水平法についての技術的検討**  
A technical note of “horizontal” multiple hippocampal transection  
○井林 賢志、國井 尚人、石下 洋平、大谷 啓介、中嶋 剛、川合 謙介  
自治医科大学脳神経外科
- 019-8 ROSA と Stealth Autoguide 下での定位的頭蓋内電極留置術の当院での経験**  
Our experience with stereotactic electroencephalography using the ROSA and the Stealth Autoguide systems  
○藤谷 茂太<sup>1)</sup>、嶋田 勢二郎<sup>1)</sup>、松橋 阿子<sup>1)</sup>、青野 峻也<sup>1)</sup>、永田 圭亮<sup>1)</sup>、國井 尚人<sup>2)</sup>、齊藤 延人<sup>1)</sup>  
1) 東京大学医学部付属病院脳神経外科 2) 自治医科大学脳神経外科



一般口演 20 第 8 会場（福岡国際会議場 4 階 410） 第 2 日/9 月 13 日（金） 17:10~18:30

## 薬物治療 2

座長：傳 和真（西湘病院脳神経内科）  
正崎 泰作（平尾ごう脳神経外科クリニック）

### O20-1 前方視的多施設症例集積により明らかにする小児有熱性けいれん重積に対する管理の実際 Multicenter prospective registry-based study reveals the management of pediatric febrile convulsive status epilepticus in the real world

○徳元 翔一<sup>1)</sup>、西山 将広<sup>1,8)</sup>、柏木 充<sup>2)</sup>、河野 剛<sup>3)</sup>、高梨 潤一<sup>4)</sup>、中川 卓<sup>5)</sup>、  
豊嶋 大作<sup>6)</sup>、服部 有香<sup>7)</sup>、丸山 あずさ<sup>8)</sup>、本林 光雄<sup>9)</sup>

- 1) 神戸大学大学院医学研究科小児科
- 2) 市立ひらかた病院小児科
- 3) 聖マリア病院小児科
- 4) 東京女子医科大学八千代医療センター小児科
- 5) 姫路赤十字病院小児科
- 6) 加古川中央市民病院小児科
- 7) 高槻病院小児科
- 8) 兵庫県立こども病院神経内科
- 9) 長野県立こども病院神経小児科

### O20-2 小児てんかんの Lacosamide の継続性とその要因

Continuity of Lacosamide and its factors in childhood epilepsy

○平田 佑子<sup>1)</sup>、浜野 晋一郎<sup>1)</sup>、竹内 博一<sup>1)</sup>、堀田 悠人<sup>1)</sup>、松浦 隆樹<sup>1)</sup>、小一原 玲子<sup>2)</sup>、  
菊池 健二郎<sup>1)</sup>

- 1) 埼玉県立小児医療センター神経科
- 2) 埼玉県立小児医療センター保健発達部

### O20-3 承認販売後にフェンフルラミン（FFA）を開始した Dravet 症候群 26 例の有効性と有害事象

The effectiveness and adverse effects of fenfluramine for 26 cases of Dravet syndrome

○井口 晃宏、矢部 愛美、矢部 友奈、宮下 光洋、水谷 聡志、露崎 悠、山口 解冬、  
大谷 英之、今井 克美

静岡てんかん・神経医療センター小児科

### O20-4 頭部外傷による乳児期早期のけいれん群発にナトリウムチャンネル遮断薬が有効だった一例 A case that sodium channel blockers were effective in treating convulsions in early infancy due to head trauma

○高松 紗良、伊藤 研、高見 遥、池本 智、日暮 憲道

東京慈恵会医科大学小児科学講座

### O20-5 新規発症てんかんに対するペランパネル単剤療法の治療成績

Seizure outcome of perampanel monotherapy for newly diagnosed epilepsy

○片桐 匡弥<sup>1)</sup>、佐藤 達哉<sup>2)</sup>、郡 隆輔<sup>1)</sup>、寺澤 由佳<sup>2)</sup>、佐藤 倫由<sup>1)</sup>、下江 豊<sup>3)</sup>、  
宮寄 健史<sup>1)</sup>

- 1) 脳神経センター大田記念病院脳神経外科
- 2) 脳神経センター大田記念病院神経内科
- 3) 沖野上クリニック

**O20-6** ペランパネル併用療法の有効性と安全性

ong-term efficacy and safety of perampanel as an add-on therapy in patients with epilepsy

- 荒井 雪花<sup>1)</sup>、稲次 基希<sup>1)</sup>、清水 一秀<sup>1)</sup>、近藤 静琴<sup>1)</sup>、橋本 聡華<sup>1)</sup>、清川 樹里<sup>2)</sup>、  
河野 能久<sup>1)</sup>、山本 信二<sup>2)</sup>、前原 健寿<sup>1)</sup>

1) 東京医科歯科大学 2) 土浦協同病院

**O20-7** 準てんかんセンターで 1 剤で発作抑制になった時の抗発作薬の奏効率

Effectiveness rate of anti-seizure medicines in case of seizure free with one medication

- 二宮 宏智<sup>1)</sup>、中野 さやか<sup>2)</sup>

1) 市立伊丹病院脳神経外科 2) 市立伊丹病院小児科

**O20-8** 当院におけるピガバトリン投与患者 74 例における網膜電図所見の推移の検討

A study of the trends of electroretinogram findings in 74 patients treated with vigabatrin

- 竹田 里可子<sup>1)</sup>、小一原 玲子<sup>2)</sup>、竹内 博一<sup>1)</sup>、平田 佑子<sup>1)</sup>、松浦 隆樹<sup>1)</sup>、菊池 健二郎<sup>1)</sup>、  
浜野 晋一郎<sup>1)</sup>

1) 埼玉県立小児医療センター神経科 2) 埼玉県立小児医療センター保健発達部

# 《プログラム》

## 一般演題口演

### 第3日目

## 一般口演 21 第 6 会場 (福岡国際会議場 4 階 401-403) 第 3 日/9 月 14 日 (土) 10:30~11:20

## 副作用/薬理

座長：赤座 実穂 (東京医科歯科大学)

柳原 恵子 (大阪母子医療センター小児神経科)

## 021-1 抗発作薬大量投与による可逆性視覚障害の臨床的評価

Clinical evaluation of reversible visual impairment due to high-dose anti-seizure medication

○今村 駿<sup>1)</sup>、古川 源<sup>1)</sup>、吉兼 綾美<sup>1)</sup>、清水 桃<sup>2)</sup>、伊藤 逸毅<sup>2)</sup>、堀口 正之<sup>2)</sup>、  
石原 尚子<sup>1)</sup>

1) 藤田医科大学医学部小児科学 2) 藤田医科大学医学部眼科学

## 021-2 フェンフルラミン塩酸塩を追加投与した Dravet 症候群 2 例に認めた副作用についての検討

Side effects of two cases of Dravet syndrome treated with additional medication of fenfluramine

○柏木 充<sup>1)</sup>、田邊 卓也<sup>2)</sup>、大場 千鶴<sup>1)</sup>、芦田 明<sup>3)</sup>

1) 市立ひらかた病院小児科 2) 田辺こどもクリニック小児神経内科 3) 大阪医科薬科大学小児科

## 021-3 COVID-19 ワクチン接種後発作増悪した Lennox-Gastaut 症候群患者の 1 例

A patient of Lennox Gastaut syndrome diagnosed as status epilepticus post third SARS-CoV2 mRNA vaccination

○村岡 範裕<sup>1)</sup>、川場 知幸<sup>1,2)</sup>、大久保 卓<sup>1,2)</sup>、森岡 基浩<sup>2)</sup>

1) 社会保険田川病院脳神経外科 2) 久留米大学医学部脳神経外科

## 021-4 焦点てんかん患者におけるラコサミド内服量と最高/最低血中濃度との相関

Correlation between the oral dosage of lacosamide and its blood concentrations of peak/trough level in patients with focal epilepsy

○岩崎 俊之<sup>1,2)</sup>、宮本 雄策<sup>2)</sup>、宇田川 紀子<sup>2)</sup>、山本 寿子<sup>2,3)</sup>、橋本 修二<sup>2)</sup>、加久 翔太郎<sup>2)</sup>、  
今泉 太一<sup>1,2)</sup>、中島 眞生子<sup>2)</sup>、新井 奈津子<sup>2,4)</sup>、須貝 研司<sup>2,4)</sup>、山本 仁<sup>2)</sup>、清水 直樹<sup>2)</sup>

1) 川崎市立多摩病院小児科 2) 聖マリアンナ医科大学小児科学

3) 国立精神・神経医療研究センター 4) 重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎

一般口演 22 第 7 会場（福岡国際会議場 4 階 409） 第 3 日/9 月 14 日（土） 10：30～11：30

## 医療システム 2

座長：三山 佐保子（東京都立小児総合医療センター神経内科）  
高木 俊輔（東京医科歯科大学精神行動医学分野）

### 022-1 当院における若年てんかん患者の動向と移行期医療の現状について

Trends in young epilepsy patients and the current status of transitional care at our hospital

- 藤井 大樹、進藤 克郎  
倉敷中央病院脳神経内科

### 022-2 精神科による小児移行期外来の実際

Problems in the transitional care of the psychiatric outpatient department

- 中田 千尋、谷口 豪、大竹 眞央、藤 雄一朗、加藤 英生、中川 栄二  
国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

### 022-3 バルプロ酸の供給不足が薬局業務に与える影響：アンケート調査より

Impacts of valproic acid supply shortage on pharmacy operations in Japan : a questionnaire survey

- 須永 茂樹<sup>1)</sup>、松沼 悟<sup>2)</sup>、廣瀬 果南<sup>2)</sup>、三溝 学<sup>3)</sup>、添石 遼平<sup>3)</sup>、吉元 公一<sup>2)</sup>、  
神保 洋之<sup>1)</sup>  
1) 東京医科大学八王子医療センター脳神経外科 2) 東京医科大学八王子医療センター薬剤部  
3) 八王子薬剤センター

### 022-4 他院で手術を実施した小児てんかん症例のまとめ—当院における包括的てんかん診療の実践を考える—

A summary of pediatric epileptic surgically performed at other hospitals—Consideration of the practice of comprehensive epilepsy care at our hospital—

- 菊池 健二郎、浜野 晋一郎、竹田 里可子、竹内 博一、松浦 隆樹、小一原 玲子  
埼玉県立小児医療センター神経科

### 022-5 無床クリニックでのオンラインてんかん診療の実践と課題

Epilepsy treatment with on-line system in private outpatient clinic in Hokkaido—2 years results and problems to solve—

- 越智 さと子  
マロニエ通クリニック

**022-6 原因不明の病因をもつ乳児てんかん性スパズム症候群の血清 MMP-9 値**

Serum matrix metalloproteinase-9 levels in infantile epileptic spasms syndrome of unknown etiology

- 松浦 隆樹<sup>1,2)</sup>、浜野 晋一郎<sup>1)</sup>、小一原 玲子<sup>3)</sup>、竹田 里可子<sup>1)</sup>、竹内 博一<sup>1,2)</sup>、平田 佑子<sup>1,2)</sup>、  
菊池 健二郎<sup>1,2)</sup>、岡 明<sup>1)</sup>  
1)埼玉県立小児医療センター神経科 2)東京慈恵会医科大学小児科学講座  
3)埼玉県立小児医療センター保健発達部

一般口演 23 第6会場 (福岡国際会議場 4階 401-403) 第3日/9月14日(土) 11:20~12:10

**経過・予後**

座長：宇佐美 清英 (JCHO 大和郡山病院)  
廣中 浩平 (沖縄赤十字病院脳神経外科)

**023-1 山梨県におけるてんかん児の不慮の事故による死亡例の検討**

A study of unexpected accidental deaths in children with epilepsy in Yamanashi

- 若松 宏実<sup>1,2)</sup>、佐野 史和<sup>1)</sup>、大山 哲男<sup>1,3)</sup>、高田 献<sup>1,4)</sup>、深尾 俊宣<sup>1,4)</sup>、犬飼 岳史<sup>1)</sup>、  
加賀 佳美<sup>1)</sup>  
1)山梨大学医学部附属病院小児科 2)甲府共立病院小児科 3)都留市立病院小児科  
4)山梨県立中央病院小児科

**023-2 てんかんの切除術後に生じる精神障害の特徴と因子**

Clinical factor related psychiatric problem after resection surgery for epilepsy

- 押野 悟<sup>1,3)</sup>、谷 直樹<sup>1,3)</sup>、HUI MING KHOO<sup>1,3)</sup>、平田 雅之<sup>1,2)</sup>、柳澤 琢史<sup>1,2)</sup>、  
畑 真弘<sup>1,2)</sup>、貴島 晴彦<sup>1,3)</sup>  
1)大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学 2)大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室  
3)大阪大学医学部附属病院てんかんセンター

**023-3 抗てんかん発作薬 40年以上の長期投与は慢性の副作用を来しうるか？**

Does 40 years or longer administration of antiseizure medications cause chronic adverse events?

- 須貝 研司、新井 奈津子、麻生 雅子、江川 文誠  
重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎小児科

**023-4 小児難治性てんかんに対する脳梁離断術の治療成績**

Clinical outcomes of corpus callosotomy for pediatric intractable epilepsy

- 宇佐美 憲一<sup>1)</sup>、早川 格<sup>2)</sup>、熊谷 信利<sup>1)</sup>、阿部 裕一<sup>2)</sup>、荻原 英樹<sup>1)</sup>  
1)国立成育医療研究センター脳神経外科 2)国立成育医療研究センター神経内科

**023-5 けいれん重積発作症例の超急性期リハビリテーションの有用性**

Usefulness of acute rehabilitation for status epilepsy

- 恩田 秀賢<sup>1)</sup>、富永 直樹<sup>1,2)</sup>、溝渕 大樹<sup>1,2)</sup>、重田 健太<sup>1,2)</sup>、五十嵐 豊<sup>1,2)</sup>、中江 竜太<sup>1,2)</sup>、  
布施 明<sup>1,2)</sup>、横堀 将司<sup>1,2)</sup>

1) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター 2) 日本医科大学救急医学教室

**023-6 迷走神経刺激療法の刺激パラメーター設定による効果**

Evaluation of vagal nerve stimulation using special programming

- 中野 直樹、宮内 正晴、高橋 淳

近畿大学医学部脳神経外科

---

 一般口演 24 第 7 会場 (福岡国際会議場 4 階 409) 第 3 日/9 月 14 日(土) 11:30~12:10
 

---

**社会面・QOL/その他の治療/メディカルスタッフ**

座長：倉持 泉 (埼玉医科大学総合医療センター神経精神科)

佐藤 慶史郎 (聖隷浜松病院脳神経内科/てんかん・機能神経センター)

**024-1 てんかんと痛風への治療介入後に登校を再開することができた不登校の 14 歳男子例**  
A school absenteeism boy case who can go to school again after starting treatment of epilepsy and gout attack

- 大庭 梓、大場 温子

東京慈恵会医科大学小児科学講座

**024-2 てんかんに対する態度に関する日独間の異文化比較研究**

A Cross-Cultural Comparative Study of Japanese and German Attitudes Toward Epilepsy

- Denny Kerkhoff<sup>2)</sup>、岩山 孝幸<sup>1,3)</sup>、志賀浪 貴文<sup>1)</sup>、小林 清香<sup>1)</sup>、Margarete Pfafflin<sup>4)</sup>、  
Rupprecht Thorbecke<sup>5)</sup>、吉益 晴夫<sup>1)</sup>、Axel Mayer<sup>2)</sup>、Theodor W. May<sup>4,5)</sup>、倉持 泉<sup>1)</sup>

1) 埼玉医科大学総合医療センター神経精神科

2) University of Bielefeld, Department of Psychology and Sports Science, Germany

3) 昭和女子大学人間社会学部心理学科

4) Protestant Hospital of Bethel Foundation, University Medical School OWL, Bielefeld University, Campus Bielefeld-Bethel, Germany

5) Society of Epilepsy Research, Epilepsy Center Bethel, Bielefeld, Germany

**024-3 当院における小児薬剤抵抗性てんかん患者に対するケトン食療法の検討**

Ketogenic diet effects on children with drug resistant epilepsy

- 高見 遥<sup>1)</sup>、伊藤 研<sup>1)</sup>、池本 智<sup>1)</sup>、日暮 憲道<sup>1)</sup>、野村 佳子<sup>2)</sup>

1) 東京慈恵会医科大学小児科 2) 東京慈恵会医科大学附属病院栄養部

**024-4 てんかん診療における薬剤師外来の特徴の検討**

Examination of characteristics of pharmacist outpatient clinics in epilepsy treatment

○別府 博仁<sup>1)</sup>、三嶋 美穂<sup>1)</sup>、木下 真幸子<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構奈良医療センター 2) 国立病院機構宇多野病院

一般口演 25 第6会場 (福岡国際会議場 4階 401-403) 第3日/9月14日(土) 14:30~15:50

**外科治療 5**

座長：露口 尚弘 (なにわ生野病院)

杉山 一郎 (国家公務員共済組合連合会立川病院てんかんニューロモデレーションセンター・  
脳神経外科)**025-1 小児薬剤抵抗性てんかんに対する全脳梁離断術～最近5年間での検討～**

Total corpus callosotomy for pediatric drug-resistant epilepsy—achievements in the last 5 years—

○福田 光成<sup>1)</sup>、松尾 健<sup>2)</sup>、柏井 洋文<sup>1)</sup>、平田 航<sup>1)</sup>、山本 櫻子<sup>1)</sup>、野村 隆之介<sup>1)</sup>、  
星野 愛<sup>1)</sup>、石山 昭彦<sup>1)</sup>、熊田 聡子<sup>1)</sup>

1) 東京都立神経病院神経小児科 2) 東京都立神経病院脳神経外科

**025-2 Wada test は外科治療戦略に影響を与えるか？**

Does Wada test affect surgical procedure?

○小川 博司、奥村 太郎、橋口 充、黒見 洋介、白井 直敬  
静岡てんかん・神経医療センター**025-3 迷走神経療法における刺激強度と肉芽形成**

Current Output and Granulation Formation of Vagus Nerve Stimulation

○齊藤 亮平、江夏 怜、鎌田 智絵、三國 信啓

札幌医科大学脳神経外科

**025-4 てんかん DBS の初期経験と刺激に関連した精神症状**

Initial Experience of Epilepsy DBS and Stimulus-Related Psychiatric Symptoms

○松森 隆史<sup>1)</sup>、太組 一郎<sup>1)</sup>、久代 裕一郎<sup>1)</sup>、圓谷 研人<sup>1)</sup>、横峯 祐希<sup>1)</sup>、佐々木 貴夫<sup>1)</sup>、  
村田 秀俊<sup>1)</sup>

1) 聖マリアンナ医科大学脳神経外科 2) 聖マリアンナ医科大学てんかんセンター



**025-5 当院てんかんセンター小児患者に対する外科治療 発作予後と認知予後を中心に**  
Outcome of Surgical Treatment of Pediatric Patients at our Epilepsy Center Focusing on Seizure and Cognitive Prognosis

- 榎園 崇<sup>1)</sup>、増田 洋亮<sup>1,4,5)</sup>、西村 光代<sup>1,6)</sup>、北畠 綾子<sup>1,7)</sup>、竹内 具子<sup>1,7)</sup>、岩崎 友哉<sup>2)</sup>、  
上野 裕一<sup>1,2)</sup>、田中 磨衣<sup>2)</sup>、荒木 孝太<sup>1,4)</sup>、石川 栄一<sup>1,4,5)</sup>、高田 英俊<sup>1,2,3)</sup>  
1) 筑波大学附属病院てんかんセンター 2) 筑波大学附属病院小児科  
3) 筑波大学医学医療系小児科 4) 筑波大学附属病院脳神経外科  
5) 筑波大学医学医療系脳神経外科 6) 筑波大学附属病院検査部 7) 筑波大学附属病院臨床心理部

**025-6 側頭葉てんかんの手術術式と高次脳機能**  
Relationship between surgical procedures for temporal lobe epilepsy and higher brain functions

- 嶋田 勢二郎<sup>1)</sup>、國井 尚人<sup>2)</sup>、永田 圭亮<sup>1)</sup>、藤谷 茂太<sup>1)</sup>、青野 峻也<sup>1)</sup>、松橋 阿子<sup>1)</sup>、  
齊藤 延人<sup>1)</sup>  
1) 東京大学医学部附属病院脳神経外科 2) 自治医科大学附属病院脳神経外科

**025-7 難治性焦点てんかんに対する迷走神経刺激療法の長期的な発作転帰予測因子の検討**  
Long-term seizure outcome predictors of vagus nerve stimulation for refractory focal epilepsy

- 太田 智慶<sup>1,2)</sup>、伊藤 陽祐<sup>1)</sup>、白水 洋史<sup>1)</sup>、増田 浩<sup>1)</sup>、福多 真史<sup>1)</sup>、大石 誠<sup>2)</sup>  
1) 国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科 2) 新潟大学脳研究所脳神経外科学分野

**025-8 脳梁離断術におけるヘラ鑷子の使用経験**  
Experience of callosotomy using spatular forceps

- 國井 尚人、石下 洋平、井林 賢志、大谷 啓介、中嶋 剛、川合 謙介  
自治医科大学

---

一般口演 26 第 7 会場 (福岡国際会議場 4 階 409) 第 3 日/9 月 14 日(土) 14:30~15:50

---

**症例報告 2**

- 座長：鳥巢 浩幸 (福岡歯科大学小児科学分野)  
山野 光彦 (東海大学医学部附属病院脳神経内科)

**026-1 ルフィナミドが有効だった非けいれん性てんかん重積状態の症例**  
Cases of nonconvulsive status epilepticus effectively treated with Rufinamide

- 山崎 悦子、西田 拓司、大谷 英之、日吉 俊雄、井上 有史  
NHO 静岡てんかん・神経医療センター

**026-2 非言語半球難治てんかんに対するリアルタイム HGA マッピング陽性領域切除により記憶障害を呈した一例**

A case of memory impairment after resection of real-time HGA mapping positive region for nondominant hemisphere intractable epilepsy

○宮内 正晴<sup>1)</sup>、中野 直樹<sup>2)</sup>、高橋 淳<sup>2)</sup>、露口 尚弘<sup>3)</sup>

1)和泉市立総合医療センター 2)近畿大学病院 3)なにわ生野病院

**026-3 言語自動症で気づかれた小児欠神てんかんの 1 例**

A case of childhood absence epilepsy with speech automatism

○久保田 哲夫、竹尾 俊希、深沢 達也、根来 民子

安城更生病院小児科

**026-4 側脳室三角部の glioneuronal tumor をてんかん原性と考え外科治療を施行した 1 例**

A case of glioneuronal tumor in the trigone of the lateral ventricle that was considered epileptogenic and underwent surgical treatment

○黒見 洋介<sup>1)</sup>、井口 晃宏<sup>1)</sup>、白井 直敬<sup>1)</sup>、小川 博司<sup>1)</sup>、奥村 太郎<sup>1)</sup>、橋口 充<sup>1)</sup>、  
他田 真理<sup>2)</sup>、小澤 美里<sup>2)</sup>、柿田 明美<sup>2)</sup>、山口 解冬<sup>1)</sup>、今井 克美<sup>1)</sup>

1)NHO 静岡てんかん・神経医療センター 2)新潟大学脳研究所病理学分野

**026-5 慢性透析患者の外傷性硬膜下血腫術後にてんかん重積状態へ移行した一例**

A case of status epilepticus after surgery for traumatic subdural hematoma in a chronic hemodialysis

○中村 悠大、須永 茂樹、中谷 昂平、須長 正貴、奥村 栄太郎、大塚 邦紀、神保 洋之  
東京医科大学八王子医療センター脳神経外科

**026-6 側頭葉てんかんの原因となった限局性皮質異形成を伴う側頭葉髄内デルモイドシストの一例**

Intramedullary Dermoid Cyst Of The Temporal Lobe With Focal Cortical Dysplasia  
Causing Temporal Lobe Epilepsy-A Case Report

○大森 義範、波多野 敬介、和泉 允基、沼本 真吾、佐藤 慶史郎、杉江 藍、藤本 礼尚  
聖隷浜松病院てんかん・機能神経センター

**026-7 両側半球病変の焦点起始発作に対する迷走神経刺激療法 (VNS) の効果の検討**

The Effects of Vagus Nerve Stimulation (VNS) Therapy on Focal Onset Seizures with  
Bilateral Hemispheric Lesions

○公文 将備、中江 俊介、小嶋 大二郎、廣瀬 雄一

藤田医科大学医学部脳神経外科

**026-8** CBD サプリメントが著効した STXBP1 遺伝子変異を伴う乳児てんかん性スパズム症候群の双胎例

Twin Cases of Infantile Epileptic Spasm Syndrome with STXBP1 Gene Mutations in which CBD Supplementation was Markedly Effective

○正高 佑志<sup>1)</sup>、太組 一郎<sup>2)</sup>、山本 仁<sup>3)</sup>、秋野 公造<sup>4)</sup>

1) Green Zone Japan 2) 聖マリアンナ医科大学脳神経外科 3) 聖マリアンナ医科大学小児科

4) 参議院

《プログラム》  
一般演題ポスター  
第1日目

一般ポスター(英語)1 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 1 日/9 月 12 日(木) 15:30~16:30

### English session1

座長：小野 智恵 (国立病院機構長崎医療センターてんかんセンター)

#### PE1-1 Clinically meaningful reduction in drop seizures in patients with Lennox-Gastaut syndrome (LGS) treated with cannabidiol (CBD)

○Charlotte Nortvedt<sup>1)</sup>、Nicola Specchio<sup>2)</sup>、Stephane Auvin<sup>3)</sup>、Teresa Greco<sup>4)</sup>、Lieven Lagae<sup>5)</sup>、Sameer Zuberi<sup>6)</sup>

- 1) Jazz Pharmaceuticals Switzerland GmbH, Zug, Switzerland
- 2) Bambino Gesù Children's Hospital, Rome, Italy
- 3) Robert Debre University Hospital and Universite, Paris, France
- 4) Jazz Pharmaceuticals, Inc., Gentium Srl, Villa Guardia, Italy
- 5) University Hospitals of Leuven, Belgium
- 6) Royal Hospital for Children and University of Glasgow, UK

#### PE1-2 Possible relationship between early-stage Lewy pathology and late-onset epilepsy of unknown cause, particularly transient epileptic amnesia (TEA) and TEA complex syndrome (TEACS)

○Katsuyuki UKAI<sup>1)</sup>、Masumi ITO<sup>2)</sup>、Masako WATANABE<sup>3)</sup>

- 1) Department of Psychogeriatrics, Kami-iida Daiichi General Hospital
- 2) Jozen Neuro Clinic
- 3) Shinjuku Neuro Clinic

#### PE1-3 Prescribing trends of anti-seizure medication in Japan between 2018 and 2021 : A retrospective study using NDB open data Japan

○浦 裕之<sup>1,2)</sup>、松岡 順子<sup>3)</sup>、久保田 清<sup>1)</sup>、定本 清美<sup>1)</sup>

- 1) 湘南医療大学薬学部医療薬学科
- 2) 康心会汐見台病院薬剤科
- 3) 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部

#### PE1-4 Efficacy and tolerability of adjunctive brivaracetam in Japanese patients with focal-onset seizures : Subgroup analysis of a phase 3 randomized, double-blind, placebo-controlled, multicenter trial

○Naotaka Usui<sup>1)</sup>、Weiwei Sun<sup>2)</sup>、Dimitrios Bourikas<sup>2)</sup>、Brian Moseley<sup>2)</sup>

- 1) Shizuoka Institute of Epilepsy and Neurological Disorders
- 2) UCB Pharma

#### PE1-5 Tolerability/efficacy of adjunctive brivaracetam in Japanese and Chinese patients with focal-onset seizures : Second interim and Japanese subgroup analysis of a Phase 3, open-label extension trial

○Ayataka Fujimoto<sup>1)</sup>、Weiwei Sun<sup>2)</sup>、Dimitrios Bourikas<sup>2)</sup>、Brian Moseley<sup>2)</sup>

- 1) Seirei Hamamatsu General Hospital
- 2) UCB Pharma

一般ポスター 1 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 15:30~16:30

病因・疫学・基礎疾患・実験てんかん

座長: 高橋 琢哉 (横浜市立大学大学院医学研究科生理学)

**P1-1** 多施設共同観察研究から得られた本邦での自己免疫性てんかんの臨床的特徴

Clinical Features of Autoimmune Epilepsy from a Multicenter Observational Study in Japan

○戸島 麻耶<sup>1)</sup>、下竹 昭寛<sup>1)</sup>、坂本 光弘<sup>1)</sup>、千原 典夫<sup>2)</sup>、金澤 恭子<sup>3)</sup>、荒木 保清<sup>4)</sup>、郷治 洋子<sup>5)</sup>、三枝 隆博<sup>6)</sup>、井内 盛遠<sup>7)</sup>、吉村 元<sup>8)</sup>、重藤 寛史<sup>9)</sup>、小林 勝哉<sup>1)</sup>、松本 理器<sup>2)</sup>、近藤 誉之<sup>10)</sup>、池田 昭夫<sup>1)</sup>

1) 京都大学大学院医学研究科臨床神経学/てんかん・運動異常生理学

2) 神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学 3) 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科

4) 静岡てんかん・神経医療センターてんかん科 5) 愛知医科大学病院精神神経科

6) 大阪市立総合医療センター脳神経内科 7) 京都医療センター脳神経内科

8) 神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科 9) 九州大学病院脳神経内科

10) 関西医科大学総合医療センター脳神経内科

**P1-2** てんかん患者の当院への救急搬送と天候との関係

The relationship between weather and emergency transport of patients with epilepsy to our hospital

○進村 光規、寺師 綾子、吉村 基、篠田 紘司、園田 啓太、高瀬 敬一郎  
飯塚病院脳神経内科

**P1-3** 小児悪性脳腫瘍患者におけるてんかん発症例の検討

Characteristics of pediatric malignant brain tumor-associated epilepsy

○山田 直紀<sup>1)</sup>、九鬼 一郎<sup>1)</sup>、松原 康平<sup>1)</sup>、石岡 梨紗子<sup>2)</sup>、福岡 正隆<sup>1)</sup>、井上 岳司<sup>1)</sup>、温井 めぐみ<sup>1,2)</sup>、馬場 良子<sup>3)</sup>、國廣 誉世<sup>3)</sup>、山崎 夏維<sup>4)</sup>、宇田 武弘<sup>3,5)</sup>、藤崎 弘之<sup>4)</sup>、岡崎 伸<sup>1,2)</sup>

1) 大阪市立総合医療センター小児脳神経内科 2) 大阪市立総合医療センター小児言語科

3) 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科 4) 大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍内科

5) 大阪公立大学脳神経外科

**P1-4** 急性壊死性脳症罹患後に発症した頻回な強直発作に対して ACTH 療法が奏功した 3 歳男児例

A 3-year-old boy successfully treated with adrenocorticotrophic hormone treatment for repetitive tonic seizures after onset of the acute necrotizing encephalopathy

○赤峰 哲、上野 雄司、平良 遼志、鳥尾 倫子、吉良 龍太郎  
福岡市立こども病院小児神経科

**P1-5** ドラベ症候群モデルマウスを用いた新規抗てんかん薬シード化合物の *in vivo* 薬理評価  
*In vivo* pharmacological evaluation of seed compounds for a novel antiepileptic drug using a Dravet syndrome mouse model

- 田中 泰圭<sup>1)</sup>、安永 美保<sup>1)</sup>、高田 美友子<sup>1)</sup>、道具 伸也<sup>1)</sup>、廣瀬 伸一<sup>2)</sup>  
 1) 福岡大学薬学部応用薬剤学 2) 福岡大学医学部総合医学研究センター

**P1-6** 不眠ストレスがラット電氣的キンドリングモデルの成立に与える影響  
 Sleep deprivation exacerbates seizuregenesis in kindling model rat

- 北浦 弘樹<sup>1)</sup>、岡田 正康<sup>2)</sup>、田井中 一貴<sup>3)</sup>、柿田 明美<sup>4)</sup>  
 1) 公立小松大学保健医療学部臨床工学科 2) 新潟大学脳研究所脳腫瘍病態学分野  
 3) 新潟大学脳研究所システム脳病態学分野 4) 新潟大学脳研究所病理学分野

---

一般ポスター 2 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 15 : 30~16 : 30

---

### 発作症状

座長 : 尾谷 真弓 (神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学分野)

**P2-1** 経過中にシリーズ形成性 Epileptic spasms を呈した Dravet syndrome の一例  
 A case of Dravet syndrome with Epileptic spasms

- 山口 解冬<sup>1)</sup>、井口 晃宏<sup>1)</sup>、矢部 友奈<sup>1)</sup>、宮下 光洋<sup>1)</sup>、水谷 聡志<sup>1)</sup>、島田 姿野<sup>1,3)</sup>、  
 大谷 英之<sup>1)</sup>、塩浜 直<sup>2)</sup>、今井 克美<sup>1)</sup>  
 1) NHO 静岡てんかん・神経医療センター 2) 千葉大学大学院医学研究院小児病態学  
 3) 順天堂大学臨床遺伝学講座、小児科

**P2-2** 青年期以降に Drop attack を呈するようになった焦点てんかん患者についての後方視的考察

Late-onset epileptic drop attacks in focal epilepsy : retrospective evaluation

- 大竹 眞央、谷口 豪、加藤 英生、藤 雄一朗、中田 千尋、中川 栄二  
 国立精神・神経医療研究センター病院

**P2-3** 当院で診断した sleep-related hypermotor epilepsy の 3 例に関する臨床的検討  
 A clinical study on three cases of sleep-related hypermotor epilepsy diagnosed in our hospital

- 立石 裕一、江口 勇太、出雲 大幹、小林 良行、岡田 賢  
 広島大学病院小児科

**P2-4** ocular myoclonus に類似した閉眼誘発性の眼球回転発作の男児例  
 A case of eye rotation seizure resembling ocular myoclonus induced by eye close

- 舞鶴 賀奈子  
 天理よろづ相談所病院小児科

**P2-5 健忘症状のみを主訴とした側頭葉てんかん 3 症例の検討**

Examination of three cases of temporal lobe epilepsy with only amnesic symptoms as chief complaint

○中原 岩平<sup>1)</sup>、油川 陽子<sup>1)</sup>、阿部 剛典<sup>1)</sup>、仁平 敦子<sup>1)</sup>、溝渕 雅広<sup>12)</sup>、佐光 一也<sup>1)</sup>

1) 中村記念病院脳神経内科てんかんセンター 2) 南一条脳内科

---

一般ポスター 3 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 15:30~16:30

---

**薬物治療 1**

座長：馬場 史郎 (長崎大学病院脳神経外科)

**P3-1 妊娠と抗てんかん薬に関する多施設共同前向き観察研究 (JRAP) 経過集計 2024**

Interim Report of the Japanese Registry of Antiepileptic Drugs and Pregnancy (JRAP) 2024

○大谷 英之<sup>1)</sup>、加藤 昌明<sup>2)</sup>、溝渕 雅広<sup>3,4)</sup>、下野 九理子<sup>5)</sup>、田中 正樹<sup>6)</sup>、原 恵子<sup>7)</sup>、

松本 理器<sup>8)</sup>、吉永 治美<sup>9)</sup>、池田 昭夫<sup>10)</sup>、井上 有史<sup>1)</sup>

1) 静岡てんかん・神経医療センター 2) むさしの国分寺クリニック 3) 中村記念病院

4) 南一条脳内科 5) 大阪大学大学院医学系研究科小児科 6) 田中神経クリニック

7) 原クリニック 8) 神戸大学大学院医学研究科内科学講座神経内科学分野

9) 南岡山医療センター 10) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

**P3-2 phenytoin の長期服用における血中濃度変化について**

Changes of serum concentration of phenytoin in Long-Term Use

○岡田 梨沙<sup>1,2)</sup>、赤座 実穂<sup>1)</sup>、角 勇樹<sup>1)</sup>、原 恵子<sup>1,2)</sup>

1) 東京医科歯科大学生命情報応用学分野 2) 原クリニック

**P3-3 小児焦点てんかん患者に対する lacosamide の有効性と安全性**

Safety and efficacy of lacosamide in childhood focal epilepsy

○橋本 和彦<sup>1)</sup>、宮崎 あかね<sup>1)</sup>、大坪 善数<sup>1)</sup>、原口 康平<sup>1,2)</sup>、里 龍晴<sup>1,2)</sup>、角 至一郎<sup>1)</sup>

1) 佐世保市総合医療センター小児科 2) 長崎大学病院小児科

**P3-4 頻回の全般発作を示す薬剤抵抗性てんかんに対して高用量クロバザム短期治療が奏効した幼児例**

An infant with drug-resistant epilepsy with frequent generalized seizures responds to short-term high-dose clobazam treatment

○上野 雄司<sup>1)</sup>、平良 遼志<sup>1)</sup>、赤峰 哲<sup>2)</sup>、鳥尾 倫子<sup>1)</sup>、吉良 龍太郎<sup>1)</sup>

1) 福岡市立こども病院 2) 九州大学病院小児科

**P3-5 小児における第一選択薬としてのラコサミドの検討**

Lacosamide as a first-line anti-seizure medicine in children

○古川 源、吉兼 綾美、三宅 未紗、石原 尚子

藤田医科大学医学部小児科学



**P3-6 てんかん患者におけるペランパネル一次単剤療法に関する観察研究の 12 ヶ月時中間報告および用量別解析結果**

PORTABLE Study : Efficacy and Safety of Peramppanel as Monotherapy in Subjects with Focal Onset Seizures at 12 Months and Analysis by Dose

- 中本 英俊<sup>1)</sup>、西本 昇平<sup>2)</sup>、鶴田 大生<sup>2)</sup>、五島 碧<sup>2)</sup>、赤松 直樹<sup>3)</sup>  
 1) TMG あさか医療センター脳神経外科 2) エーザイ株式会社メディカル本部  
 3) 国際医療福祉大学脳神経内科学

一般ポスター 4 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 1 日/9 月 12 日 (木) 15 : 30 ~ 16 : 30

**外科治療**

座長 : 稲次 基希 (東京医科歯科大学脳神経外科)

**P4-1 側頭葉外術中皮質脳波が示唆する temporal plus epilepsy についての検討**

Identification of temporal plus epilepsy using intraoperative electrocorticography of the extra-temporal lobe

- 橋田 美紀<sup>1)</sup>、石崎 友崇<sup>1,2)</sup>、鈴木 崇宏<sup>1)</sup>、伊藤 芳記<sup>1)</sup>、武藤 学<sup>1)</sup>、種井 隆文<sup>1)</sup>、  
 前澤 聡<sup>2,3)</sup>、齋藤 竜太<sup>1,2)</sup>  
 1) 名古屋大学脳神経外科 2) 名古屋大学脳とこころのセンター  
 3) 名古屋医療センター脳神経外科

**P4-2 15 年前に CSWS を示すてんかん性脳症に対し全脳梁離断術を施行した術後効果について**  
 Effectiveness of callosotomy underwent for epileptic encephalopathy with CSWS 15 years ago

- 大貫 浩幸<sup>1)</sup>、須永 茂樹<sup>2)</sup>、神保 洋之<sup>2)</sup>、清水 弘之<sup>3)</sup>  
 1) 東京医科大学茨城医療センター 2) 東京医科大学八王子医療センター 3) 清水クリニック

**P4-3 迷走神経刺激療法後に発作が著減するも、興奮症状が出現した精神発達遅滞を伴う難治性てんかんの小児の一例**

A Case of a child with refractory epilepsy and severe intellectual disability exhibiting excitation symptoms following vagus nerve stimulation with a significant reduction in seizures

- 小杉 健三<sup>1)</sup>、武内 俊樹<sup>2)</sup>、小川 恵梨<sup>2)</sup>、戸田 正博<sup>1)</sup>  
 1) 慶應義塾大学病院脳神経外科 2) 慶應義塾大学病院小児科

**P4-4 SEEG 合併症対策—出血症例から学ぶ安全なプランニングルールの検討—**

SEEG Complication Prevention—Safe planning rules learned from a bleeding case—

- 鈴木 崇宏<sup>1)</sup>、石崎 友崇<sup>1,2)</sup>、前澤 聡<sup>3)</sup>、種井 隆文<sup>1)</sup>、武藤 学<sup>1)</sup>、伊藤 芳記<sup>1)</sup>、  
 橋田 美紀<sup>1)</sup>、齋藤 竜太<sup>1,2)</sup>  
 1) 名古屋大学医学系研究科脳神経外科 2) 名古屋大学脳とこころの研究センター  
 3) 名古屋医療センター脳神経外科

**P4-5 迷走神経刺激装置埋込術中の試験刺激で心停止を来した一例**

Cardiac arrest due to intraoperative vagus nerve stimulation : a case report

○石原 恵理子<sup>1)</sup>、杉山 一郎<sup>1)</sup>、須田 哲史<sup>2)</sup>、服部 英典<sup>3)</sup>

1) 立川病院脳神経外科・てんかんニューロモデュレーションセンター

2) 立川病院精神神経科・てんかんニューロモデュレーションセンター

3) 立川病院脳神経内科・てんかんニューロモデュレーションセンター

**P4-6 側頭葉てんかんに対し焦点切除術よりも迷走神経刺激療法が優先された二症例**

Two cases of temporal epilepsy where vagus nerve stimulation not temporal lobectomy was performed

○森下 登史、田中 秀明、廣田 篤、小林 広昌、竹本 光一郎、安部 洋

福岡大学脳神経外科

**P4-7 てんかん外科における Forel H 野凝固術の位置付けの再考**

Reconsideration of the Position of Forel H-tomy in Epilepsy Surgery

○宮尾 暁<sup>1)</sup>、堀澤 士郎<sup>2)</sup>、久保田 有一<sup>3)</sup>、平 孝臣<sup>2)</sup>

1) TMG あさか医療センター 2) 東京女子医科大学脳神経外科

3) 東京女子医科大学附属足立医療センター脳神経外科

一般ポスター 5 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 1 日/9 月 12 日(木) 15 : 30~16 : 30

**症例報告 1**

座長 : 吉良 龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)

**P5-1 HHV-6 関連移植後急性辺縁系脳炎後に難治てんかんを発症した小児例**

A case of a child with intractable epilepsy following HHV-6 associated post-transplant acute limbic encephalitis

○後藤 悠輔、竹澤 祐介、片山 紗乙莉、宇根岡 紗希、植松 有里佳、植松 貢

東北大学病院小児科

**P5-2 驚愕、摂食、排泄により誘発される反射てんかんの Angelman 症候群の 1 例**

A case of Angelman's syndrome of reflex epilepsy induced by startle, feeding, and defecation

○渡邊 綱之輔<sup>1)</sup>、藤田 貴子<sup>1)</sup>、山口 拓洋<sup>1)</sup>、林 仁美<sup>1)</sup>、井原 由紀子<sup>2)</sup>、井上 貴仁<sup>1)</sup>、永光 信一郎<sup>1)</sup>、安元 佐和<sup>3)</sup>

1) 福岡大学医学部小児科 2) 医療法人長晴会木下医院 3) 福岡大学医学部総合医学研究センター

**P5-3 生後 1 か月でけいれん群発・重積で発症した XXX 症候群の一例**

A case of XXX syndrome developed with status epilepticus at one month of age

○中村 拓自<sup>1)</sup>、樋口 直弥<sup>1)</sup>、實藤 雅文<sup>1)</sup>、鈴木 寿人<sup>2)</sup>、武内 俊樹<sup>3)</sup>、松尾 宗明<sup>1)</sup>

1) 佐賀大学医学部附属病院小児科 2) 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター

3) 慶應義塾大学医学部小児科

**P5-4** 早期発症欠神発作を示しアンジェルマン症候群様の臨床像を呈した *KCNC2* 関連てんかんの 1 例

A case of *KCNC2*-related epilepsy presenting early-onset absence seizure and Angelman syndrome-like phenotype

- 柏井 洋文<sup>1)</sup>、福田 光成<sup>1)</sup>、野村 隆之介<sup>1)</sup>、山本 櫻子<sup>1)</sup>、平田 航<sup>1)</sup>、星野 愛<sup>1)</sup>、石山 昭彦<sup>1)</sup>、加藤 光広<sup>2)</sup>、熊田 聡子<sup>1)</sup>

1) 東京都立神経病院神経小児科 2) 昭和大学医学部小児科学講座

**P5-5** *NUS1* 遺伝子異常の兄妹例

*NUS1* mutation in siblings with tremor followed by epilepsy and mental retardation

- 最上 友紀子<sup>1)</sup>、山崎 苗穂子<sup>1)</sup>、沖 啓祐<sup>1)</sup>、中島 健<sup>1)</sup>、木水 友一<sup>1)</sup>、富永 康仁<sup>1)</sup>、柳原 恵子<sup>1)</sup>、岡本 伸彦<sup>2)</sup>、水口 剛<sup>3)</sup>、松本 直通<sup>3)</sup>

1) 大阪母子医療センター 2) 大阪母子医療センター遺伝診療科

3) 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学

《プログラム》  
一般演題ポスター  
第2日目

一般ポスター(英語)2 ポスター会場(福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 2 日/9 月 13 日(金) 15:00~16:00

## English session2

座長: 柿田 明美 (新潟大学脳研究所)

### PE2-1 Patient Characteristics and Treatment Patterns in Lennox-Gastaut Syndrome and Dravet Syndrome : Real-world Evidence from Physician-Reported Data in Japan

- 山内 秀雄<sup>1)</sup>、白石 秀明<sup>2)</sup>、Hannah Connolly<sup>3)</sup>、Gregor Gibson<sup>3)</sup>、Charlotte Nortvedt<sup>4)</sup>、Jamshaed Siddiqui<sup>4)</sup>、Hema N. Viswanathan<sup>5)</sup>、Kishan Vyas<sup>4)</sup>、Junji Lin<sup>5)</sup>  
 1) 埼玉医科大学医学部小児科学 2) 北海道大学病院 3) Adelphi Real World, Bollington, UK  
 4) Jazz Pharmaceuticals UK Ltd., London, UK 5) Jazz Pharmaceuticals, Inc., Palo Alto, CA, USA

### PE2-2 死亡後画像診断センターに搬送されたてんかん関連異状死の特徴

Characteristics of deceased subjects transported to a postmortem imaging center due to unusual death related to epilepsy

- 伊藤 芳記<sup>1)2)</sup>、秦 誠宏<sup>2)</sup>、前澤 聡<sup>3)</sup>、種井 隆文<sup>1)</sup>、石崎 友崇<sup>1)</sup>、武藤 学<sup>1)</sup>、橋田 美紀<sup>1)</sup>、鈴木 崇宏<sup>1)</sup>、小林 豊<sup>4)</sup>、齋藤 竜太<sup>1)</sup>  
 1) 名古屋大学脳神経外科 2) さくら総合病院脳神経外科 3) 名古屋医療センター脳神経外科  
 4) さくら総合病院外科

### PE2-3 Improving Therapists' Approach to Epilepsy and Transitional Care : Insights from a JSJHP Survey

- Hirota Iwaki<sup>1)</sup>、Go Taniguchi<sup>2)</sup>、Izumi Kuramochi<sup>3)</sup>、Kentaro Asayama<sup>4)</sup>、Shunsuke Takagi<sup>5)</sup>、Toru Horinouchi<sup>6)</sup>、Hiromichi Hotooka<sup>7)</sup>、Tomikimi Tsuji<sup>8)</sup>、Hideki Azuma<sup>9)</sup>、Tetsufumi Suda<sup>10)</sup>、Ken Wada<sup>11)</sup>、Yasuhiro Kishi<sup>12)</sup>、Masako Watanabe<sup>13)</sup>  
 1) Department of Psychiatry, Douousato hospital  
 2) Department of Epileptology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry 3) Department of Psychiatry, Saitama Medical Center, Saitama Medical University  
 4) Asayama Hospital  
 5) Department of Psychiatry and Behavioral Sciences, Tokyo Medical and Dental University Graduate School  
 6) Department of Psychiatry and Neurology, Hokkaido University Graduate School of Medicine  
 7) Department of Neuropsychiatry, Kurume University  
 8) Wakayama Tomodacho Clinic, Wakayama  
 9) Department of Psychiatry and Cognitive-Behavioral Medicine, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences 10) Department of Neuropsychiatry, KKR Tachikawa Hospital  
 11) Department of Psychiatry, Hiroshima Citizens Hospital, Hiroshima City Hospital Organization  
 12) Department of Psychiatry, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital  
 13) Shinjuku Shinkei Clinic

**PE2-4 ATP release via microglial VNUT triggers astrogliosis after status epilepticus**○佐野 史和<sup>1,2,3)</sup>、繁富 英治<sup>1,2)</sup>、小泉 修一<sup>1,2)</sup>、犬飼 岳史<sup>3)</sup>、加賀 佳美<sup>3)</sup>

1) Department of Neuropharmacology, Interdisciplinary Graduate School of Medicine, University of Yamanashi 2) Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, University of Yamanashi  
 3) Yamanashi GLIA center, Interdisciplinary Graduate School of Medicine, University of Yamanashi

**PE2-5 Critical role of persistent activation of microglial connexins in the development of epileptogenesis**○星野 廣樹<sup>1,2,3)</sup>、佐野 史和<sup>1,2,4)</sup>、繁富 英治<sup>1,2)</sup>、竹内 英之<sup>5,6)</sup>、金村 英秋<sup>3)</sup>、小泉 修一<sup>1,2)</sup>

1) 山梨大学大学院総合研究部医学域薬理学講座 2) 山梨 GLIA センター  
 3) 東邦大学医学部小児科 4) 山梨大学医学部小児科  
 5) 横浜市立大学医学部神経内科学・脳卒中医学 6) 国際医療福祉大学医学部脳神経内科

---

 一般ポスター 6 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 15:00~16:00
 

---

**遺伝 1**

座長：北浦 弘樹 (公立小松大学保健医療学部臨床工学科)

**P6-1 難治性てんかん性無呼吸発作を呈した 1q43q44 微細欠失症候群の 1 例**

A case of 1q43q44 microdeletion syndrome with refractory epileptic apnea

○平良 遼志、丸谷 健太郎、上野 雄司、川上 沙織、米元 耕輔、鳥尾 倫子、吉良 龍太郎  
福岡市立こども病院小児神経科**P6-2 乳児てんかん性スパズム症候群を発症した 16p13.11 反復性微細欠失症候群の女児例**

16p13.11 recurrent microdeletion in a child with Infantile epileptic spasms syndrome

○安倍 啓介、小林 悟、加藤 早苗  
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター**P6-3 FCD を疑って切除した脳病変の遺伝学的検索で TSC1 遺伝子の体細胞変異を認めた 1 例**

A case of somatic mutation of the TSC1 gene in a genetic search for a grain lesion resected with suspected FCD

○下田 木の実<sup>1,2)</sup>、國井 尚人<sup>3)</sup>、寺嶋 宙<sup>1)</sup>、内野 俊平<sup>1)</sup>、柿本 優<sup>1)</sup>、池村 雅子<sup>4)</sup>、  
藤田 京志<sup>5)</sup>、加藤 光広<sup>6,7)</sup>、水口 雅<sup>1,2)</sup>  
 1) 東京大学医学部附属病院小児科 2) 心身障害児総合医療療育センター小児科  
 3) 自治医科大学脳神経外科 4) 東京大学医学部附属病院病理部  
 5) 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学 6) 昭和大学医学部小児科  
 7) 昭和大学病院てんかん診療センター

**P6-4 難治てんかん性脳症をきたした CASK 異常症の男女 2 例**

Two cases of CASK abnormality resulting in intractable epileptic encephalopathy

○山田 慧<sup>1)</sup>、藤井 仁美<sup>1)</sup>、関 衛順<sup>1)</sup>、放上 萌美<sup>1)</sup>、三浦 雅樹<sup>1)</sup>、小林 悠<sup>1)</sup>、  
加藤 光広<sup>2)</sup>、才津 浩智<sup>3)</sup>、松本 直通<sup>4)</sup>、遠山 潤<sup>1)</sup>1) 西新潟中央病院 2) 昭和大学医学部小児科 3) 浜松医科大学医学部医化学  
4) 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学

一般ポスター 7 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 2 日/9 月 13 日(金) 15:00~16:00

**脳波・脳磁図・生理検査 1**

座長: 萩原 綱一 (福岡山王病院てんかん・すいみんセンター)

**P7-1 頭皮脳波での超低域徐波の有用性の社会実装へ: データ集積と脳波レポートの新規導入**

Towards the Accumulation of Data on Infralow Activity Recorded via Scalp

Electroencephalography: An EEG Report

○山本 寛<sup>1,2)</sup>、山田 大輔<sup>5,7)</sup>、宇佐美 清英<sup>4)</sup>、十川 純平<sup>1,3)</sup>、戸島 麻耶<sup>3)</sup>、小林 勝哉<sup>1,3)</sup>、  
下竹 昭寛<sup>1,3)</sup>、松橋 眞生<sup>3)</sup>、山尾 幸広<sup>5,6)</sup>、菊池 隆幸<sup>5)</sup>、漆谷 真<sup>2)</sup>、池田 昭夫<sup>3)</sup>、  
TFNEs脳波他施設共同研究グループ<sup>1,3,5,6,8,9,10,11)</sup>1) 京都大学大学院医学研究科臨床神経学 2) 滋賀医科大学大学院医学系研究科  
3) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座 4) 京都大学医学部附属病院検査部  
5) 京都大学附属病院脳神経外科 6) 国立病院機構京都医療センター脳神経外科  
7) 康生会武田病院脳神経外科 8) 医仁会武田総合病院 9) 国立循環器病研究センター  
10) TMG あさか医療センター 11) 神戸中央市民病院**P7-2 深層学習を用いた単チャンネル脳波の density spectral array によるてんかん発作と心因性非てんかん発作の鑑別**

Density spectral array of single-channel EEG can differentiate between epileptic and psychogenic nonepileptic seizures with deep learning techniques

○此松 和俊<sup>1,2)</sup>、柏田 祐樹<sup>3)</sup>、久保田 隆文<sup>1,2)</sup>、神 一敬<sup>1)</sup>、高橋 健人<sup>1)</sup>、黒田 直生人<sup>1)</sup>、  
浮城 一司<sup>1)</sup>、柿坂 庸介<sup>1)</sup>、青木 正志<sup>2)</sup>、中里 信和<sup>1)</sup>1) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 2) 東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野  
3) 東北大学大学院医学系研究科画像診断学分野**P7-3 発作時 Modulation index 解析は発作起始領域の推定に有用である**

Analysis of ictal modulation index is useful for estimating seizure onset zone

○西岡 和輝<sup>1,2)</sup>、三橋 匠<sup>1,3)</sup>、上田 哲也<sup>1,4)</sup>、鈴木 皓晴<sup>1,3)</sup>、飯村 康司<sup>1,3)</sup>、中島 円<sup>1,3)</sup>、  
菅野 秀宣<sup>1,5)</sup>、近藤 聡英<sup>1,3)</sup>1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター脳神経外科  
2) 順天堂大学医学部附属静岡病院脳神経外科 3) 順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経外科  
4) 順天堂大学医学部附属練馬病院 5) スガノ脳神経外科クリニック

**P7-4** 発作性脳波異常をもつ幼児自閉スペクトラム症の臨床特徴と薬物治療の検討  
Study of clinical features and drug therapy for autism spectrum disorder in preschool children with paroxysmal EEG abnormalities

○伊予田 邦昭<sup>1)</sup>、三谷 納<sup>2)</sup>、萩野 竜也<sup>1)</sup>、徳田 桐子<sup>1)</sup>、三宅 進<sup>3)</sup>

1) 福山市こども発達支援センター 2) 福山市民病院小児科 3) 三光病院小児科

**P7-5** 抗発作薬で加療された譫妄における通常短時間脳波所見と治療転帰の検討  
Evaluation of conventional short-term EEG findings and treatment outcome in delirium treated with anti-epileptic drugs

○大川 聡<sup>1,4)</sup>、猪股 拓海<sup>1,4)</sup>、市川 大<sup>1,2,4)</sup>、深谷 浩史<sup>1,3,4)</sup>

1) 市立秋田総合病院脳神経内科 2) 大曲厚生医療センター脳神経内科 3) 広南病院脳血管内科  
4) 秋田県認知症疾患医療センター

**P7-6** 低強度の皮質電気刺激での呼称課題による言語機能マッピングの有用性  
Language mapping by electrical cortical stimulation with lower stimulus intensity of naming task

○下竹 昭寛<sup>1)</sup>、尾谷 真弓<sup>1,5)</sup>、十川 純平<sup>1)</sup>、小林 勝哉<sup>1)</sup>、宇佐美 清英<sup>2)</sup>、菊池 隆幸<sup>3)</sup>、  
松橋 眞生<sup>4)</sup>、國枝 武治<sup>6)</sup>、荒川 芳輝<sup>3)</sup>、高橋 良輔<sup>1)</sup>、松本 理器<sup>5)</sup>、池田 昭夫<sup>4)</sup>

1) 京都大学臨床神経学 2) 京都大学臨床病態検査学 3) 京都大学脳神経外科学  
4) 京都大学てんかん・運動異常生理学講座 5) 神戸大学脳神経内科学分野  
6) 愛媛大学脳神経外科学

---

一般ポスター 8 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 2 日/9 月 13 日(金) 15:00~16:00

---

**薬物治療 2**

座長：千代延 友裕 (京都府立医科大学附属病院遺伝子診療部)

**P8-1** 非けいれん性てんかん重積状態にジアゼパム内服が著効した Angelman 症候群の 1 例  
Diazepam treatment of nonconvulsive status epilepticus in a child with Angelman syndrome

○小林 悟、安倍 啓介

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

**P8-2** ビガバトリン関連脳画像異常 (VABAM) は高頻度だが可逆的なものもある  
Vigabatrin-associated brain abnormalities on magnetic resonance imaging (VABAM) are frequently, but some of them may be reversible

○竹田 洋子<sup>1)</sup>、榊原 崇文<sup>1)</sup>、越智 朋子<sup>2)</sup>、宮坂 俊輝<sup>3)</sup>、野上 恵嗣<sup>1)</sup>

1) 奈良県立医科大学小児科 2) 奈良県立医科大学核医学放射線科  
3) 奈良県立医科大学中央放射線科



**P8-3 難治性てんかんに対する多剤併用療法の見直しにより体調が安定した重症心身障害者の 2 例**

Two cases of severe motor and intellectual disabilities with stable health condition following reevaluation of multidrug combination therapy for refractory epilepsy

○山田 桂太郎、吉村 通、細川 洋輔、大萱 俊介、倉橋 直子、丸山 幸一、三浦 清邦  
愛知県医療療育総合センター中央病院

**P8-4 フェンフルラミンを用いた Dravet 症候群 3 例の検討**

Three Cases of Dravet Syndrome Patients treated with Fenfluramine

○鳥尾 倫子<sup>1,2)</sup>、赤峰 哲<sup>1)</sup>、米元 耕輔<sup>1)</sup>、丸谷 健太郎<sup>1)</sup>、上野 雄司<sup>1)</sup>、川上 沙織<sup>1)</sup>、平良 遼志<sup>1)</sup>、吉良 龍太郎<sup>1)</sup>

1)福岡市立こども病院小児神経科 2)福岡市立こども病院総合診療科

**P8-5 当院でペランパネル投与を中止した患者背景の検討**

Patient profile of perampanel discontinuation in our hospital

○四俣 一幸、馬場 悠生、米衛 ちひろ  
南九州病院小児科

---

一般ポスター 9 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 2 日/9 月 13 日 (金) 15 : 00 ~ 16 : 00

---

**経過・予後**

座長 : 柿坂 庸介 (東北大学医学部医学教育推進センター)

**P9-1 通院患者データから読み解く脳炎後てんかんの特徴と課題**

Characteristics and challenges of post-encephalitic epilepsy from analysis of outpatient data

○小阪 崇幸、津田 幸元、高松 孝太郎、幸崎 弥之助、田北 智裕  
熊本医療センター

**P9-2 環状 20 番染色体症候群の長期的発作・認知・社会的アウトカム**

Seizure, cognitive and social outcome in patients with ring chromosome 20 syndrome

○徳本 健太郎<sup>1)</sup>、西田 拓司<sup>1)</sup>、池田 仁<sup>1,2)</sup>、池田 浩子<sup>1,2)</sup>、川口 典彦<sup>1)</sup>、水谷 聡志<sup>1)</sup>、山口 解冬<sup>1)</sup>、大谷 英之<sup>1)</sup>、山崎 悦子<sup>1)</sup>、白井 直敬<sup>1)</sup>、今井 克美<sup>1)</sup>、井上 有史<sup>1)</sup>  
1)NHO 静岡てんかん・神経医療センター 2)てんかん・神経大阪南森町いけだクリニック

**P9-3 てんかん支援ネットワーク二次診療施設にて、小児期発症てんかん患者の抗発作薬中止時の再発症例の検討**

Retrospective study of cases of recurrence at discontinuation of antiseizure medications in patients with childhood-onset epilepsy at a secondary facility of the epilepsy support network

○大澤 由記子<sup>1)</sup>、神谷 信雄<sup>2)</sup>、小保内 俊雅<sup>1)</sup>

1)東京都立多摩北部医療センター小児科 2)東京都立多摩北部医療センター神経内科

**P9-4** 小児期発症てんかんにおける抗てんかん発作薬中止や成人科移行のまとめ

Summary of discontinuation of antiseizure medication and transition to adult health care in child-onset epilepsy

- 池田 ちづる、友枝 李果、小山 真輝、百崎 謙、今村 穂積  
国立病院機構熊本再春医療センター

**P9-5** 単純ヘルペス脳炎後の抗てんかん薬は継続も許容される

Continuation of antiseizure medication for herpes simplex encephalitis is acceptable

- 佐藤 慶史郎<sup>1,2)</sup>、善光 みさと<sup>1)</sup>、柳澤 輝一<sup>1)</sup>、齊藤 喬<sup>1)</sup>、杉江 藍<sup>1,2)</sup>、石井 辰仁<sup>1)</sup>、  
齋藤 拓也<sup>1)</sup>、本間 一成<sup>1)</sup>、近土 善行<sup>1)</sup>、沼本 真吾<sup>2)</sup>、和泉 允基<sup>2)</sup>、大森 義範<sup>2)</sup>、  
藤本 礼尚<sup>2)</sup>、内山 剛<sup>1)</sup>  
1) 聖隷浜松病院神経内科 2) 聖隷浜松病院てんかん・機能神経センター

**P9-6** 非手術てんかん患者の長期経過における心理学的指標の変化

Changes in psychological indices during the long-term course of patients with epilepsy without surgical treatment

- 堀之内 徹<sup>2)</sup>、三戸 麻友紗<sup>1)</sup>、中村 悠一<sup>1,2)</sup>、吉田 真桜<sup>2)</sup>、橋本 直樹<sup>1)</sup>  
1) 北海道大学病院精神科神経科 2) 北海道大学病院てんかんセンター  
3) 北海道大学病院医療技術部心理室

---

一般ポスター 10 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 2 日/9 月 13 日(金) 15:00~16:00

---

**発達・神経心理**

座長：藤川 麻由 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

**P10-1** 発作間欠期てんかん性放電は記憶機能に悪影響を与えるか？ てんかん外科術後症例での検討

Do interictal epileptiform discharges disrupt memory functions? Investigation in post-operative epilepsy patients

- 川口 典彦、本山 りえ、臼井 直敬、徳本 健太郎、萩原 真斗、笠井 永実、笠井 良修、  
西田 拓司、今井 克美  
NHO 静岡てんかん・神経医療センターてんかん科

**P10-2** 発作寛解後、リハビリテーションを開始し処理速度の改善が得られた症例

Improvement of Processing speed by rehabilitation following complete seizure control—  
Case report—

- 益子 紗緒里<sup>1)</sup>、峯 清一郎<sup>2,3)</sup>  
1) 行徳総合病院リハビリテーション科 2) 行徳総合病院脳神経外科  
3) 行徳総合病院てんかんセンター

**P10-3 てんかんを併存するディスレクシア症例の視覚情報処理能力**

Visual perception in the patients of dyslexia with epilepsy

○居相 有紀<sup>1)</sup>、島川 修一<sup>1)</sup>、福井 美保<sup>1,2)</sup>、奥村 智人<sup>3)</sup>、北原 光<sup>1)</sup>、芦田 明<sup>1,3)</sup>

1)大阪医科薬科大学病院小児科 2)大阪大谷大学教育学部

3)大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所

---

**一般ポスター 11** ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 2 日/9 月 13 日(金) 15:00~16:00

---

**画像**

座長：高瀬 敬一郎 (飯塚病院脳神経内科)

**P11-1 びまん性皮質下帯状異所性灰白質を呈した YWHAE 遺伝子を含む 17p13.3 欠失の女児例**

Diffuse subcortical band heterotopia: Expanding the phenotype in loss of the YWHAE gene

○前田 謙一<sup>1)</sup>、森 こそえ<sup>1)</sup>、日高 倫子<sup>1)</sup>、木許 恭宏<sup>1)</sup>、池田 俊郎<sup>1)</sup>、本田 涼子<sup>2)</sup>、吉浦 孝一郎<sup>3)</sup>

1)宮崎大学医学部附属病院小児科 2)NHO 長崎医療センター小児科

3)長崎大学原爆後障害医療研究所人類遺伝学研究分野

**P11-2 MR スペクトロスコピー (MRS) によるグルタミン酸測定一脳腫瘍関連てんかんにおける解析一**

MRS -measured glutamates in brain tumors related epilepsy

○宮城島 孝昭<sup>1)</sup>、板橋 悠太郎<sup>1)</sup>、高橋 章夫<sup>2)</sup>、大宅 宗一<sup>1)</sup>、平戸 政史<sup>2)</sup>

1)群馬大学医学部脳神経外科 2)渋川医療センターてんかんセンター

**P11-3 PNES、側頭葉てんかんと鑑別に苦慮した BAFME の 1 例**

A Case of BAFME mimicking PNES and temporal lobe epilepsy

○加藤 英生、谷口 豪、大竹 真央、藤 雄一朗、中田 千尋、中川 栄二

国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

---

**一般ポスター 12** ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 2 日/9 月 13 日(金) 15:00~16:00

---

**症例報告 2**

座長：大津 真優 (鎌倉療育医療センター小さき花の園)

**P12-1 1 型糖尿病患者の治療コンプライアンス改善に小児神経医が携われた 1 例**

A case study of a pediatric neurologist's involvement in improving treatment compliance in a patient with type 1 diabetes mellitus

○塩手 仁也<sup>1)</sup>、井上 貴仁<sup>1)</sup>、小川 厚<sup>2)</sup>

1)福岡大学筑紫病院小児科 2)福岡大学筑紫病院臨床医学研修センター

**P12-2 全脳梁離断術により発作が消失した Lennox-Gastaut 症候群の 10 歳女児**

A 10-year-old girl with Lennox-Gastaut syndrome that achieved a remission by total corpus callosotomy

○畑井 恵理子<sup>1)</sup>、チョン ピンフィー<sup>1)</sup>、下川 能史<sup>2)</sup>、梶原 健太<sup>1)</sup>、園田 有里<sup>1)</sup>、  
酒井 康成<sup>1)</sup>、大賀 正一<sup>1)</sup>

1)九州大学病院小児科 2)九州大学病院脳神経外科

**P12-3 発熱を契機にてんかん発作が群発した片側巨脳症に対し半球離断術を施行した 1 歳男児の 1 例**

Hemispherectomy for fever-induced seizure clusters in 1-year-old boy with hemimegalencephaly

○梶原 健太<sup>1)</sup>、園田 有里<sup>1)</sup>、チョン ピンフィー<sup>1)</sup>、下川 能史<sup>2)</sup>、酒井 康成<sup>1)</sup>

1)九州大学病院小児科 2)九州大学病院脳神経外科

**P12-4 迷走神経刺激療法で早期電池消耗疑いを認めた小児例**

Suspected early battery depletion in a child with vagus nerve stimulation therapy

○江藤 昌平、野崎 章仁

滋賀県立小児保健医療センター遺伝科

**P12-5 感冒時のペランパネル血中濃度の上昇に伴い一過性歩行障害が出現した 1 例**

A case of transient gait disturbance due to elevated serum concentration of perampanel at the time of illness

○浜原 彩加<sup>1,2)</sup>、秋庭 崇人<sup>1)</sup>、松田 慎平<sup>1)</sup>、五十嵐 鮎子<sup>1)</sup>、島田 姿野<sup>1,2)</sup>、中澤 友幸<sup>1)</sup>、  
池野 充<sup>2)</sup>、安部 信平<sup>1,2)</sup>、高橋 健<sup>1)</sup>

1)順天堂大学医学部附属浦安病院小児科 2)順天堂大学小児科

《プログラム》  
一般演題ポスター  
第3日目

一般ポスター 13 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 3 日/9 月 14 日(土) 13:30~14:30

## 遺伝 2

座長：田中 章浩 (京都府立医科大学大学院医学系研究科脳神経内科学)

### P13-1 てんかん患者・家族における遺伝学的検査と遺伝カウンセリングに関する意識調査 Survey of needs for genetic counseling in epilepsy patients and the families

○堀田 純子<sup>1,2)</sup>、山下 朋代<sup>1,2)</sup>、馬場 遥香<sup>1)</sup>、酒井 恵利<sup>1)</sup>、小野 智愛<sup>1)</sup>、浄弘 裕紀子<sup>1)</sup>、濱崎 考史<sup>2)</sup>、瀬戸 俊之<sup>1,2)</sup>

1)大阪公立大学大学院医学研究科臨床遺伝学 2)大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学

### P13-2 新規エクソン重複変異を有する CDKL5 遺伝子欠損症の 1 例

A case of CDKL5-related syndrome with a novel duplication variant

○秋庭 崇人<sup>1,2)</sup>、島田 姿野<sup>1,2)</sup>、矢部 友奈<sup>1)</sup>、井口 晃宏<sup>1)</sup>、宮下 光洋<sup>1)</sup>、水谷 聡志<sup>1)</sup>、山口 解冬<sup>1)</sup>、大谷 英之<sup>1)</sup>、高橋 悟<sup>3)</sup>、今井 克美<sup>1)</sup>

1)NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科 2)順天堂大学小児科 3)旭川医科大学小児科

### P13-3 SCN2A 遺伝子 de novo ヘテロ接合性バリエントを認め焦点てんかンを発症した神経発達症の 1 例

A case of neurodevelopmental disorder with focal epilepsy and a de novo heterozygous variant in the SCN2A gene

○松田 慎平<sup>1)</sup>、島田 姿野<sup>1,2)</sup>、西條 直也<sup>3)</sup>、秋庭 崇人<sup>1,2)</sup>、水谷 聡志<sup>2)</sup>、高山 順<sup>1)</sup>、石田 倫也<sup>5)</sup>、菊池 敦生<sup>3)</sup>、山口 解冬<sup>2)</sup>、清水 俊明<sup>1)</sup>、今井 克美<sup>2)</sup>

1)順天堂大学医学部附属順天堂医院小児科 2)NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科  
3)東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野  
4)東北大学大学院医学系研究科 AI フロンティア新医療創生分野  
5)国際医療福祉大学熱海病院小児科

### P13-4 FLNA 遺伝子に新規フレームシフト変異を認めた Periventricular nodular heterotopia の 1 例

A case of Periventricular nodular heterotopia with a novel frameshift mutation in the FLNA gene

○中川 裕康<sup>1)</sup>、廣瀬 源二郎<sup>2)</sup>、大西 寛明<sup>2)</sup>、新井田 要<sup>3)</sup>

1)浅ノ川総合病院小児科 2)浅ノ川総合病院てんかんセンター  
3)金沢医科大学病院ゲノム医療センター

一般ポスター 14 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 3 日/9 月 14 日(土) 13:30~14:30

## 脳波・脳磁図・生理検査 2

座長：金澤 恭子 (国立精神・神経医療研究センター脳神経内科)

### P14-1 深部電極により内側側頭葉てんかんと診断された症例の高密度脳波における棘波分布についての検討

Study on spike distribution in high-density EEG of a case diagnosed with mesial temporal lobe epilepsy using depth electrodes

- 佐々木 宏典<sup>1,2)</sup>、岩根 正樹<sup>1,2)</sup>、濱岡 敏基<sup>1,2)</sup>、松田 綾子<sup>1,2)</sup>、江角 智子<sup>1,2)</sup>、中尾 崇志<sup>1,2)</sup>、長網 敏和<sup>2,3)</sup>、藤井 正美<sup>2,3)</sup>

- 1) 山口県立総合医療センター中央検査部 2) 山口県立総合医療センターてんかんセンター  
3) 山口県立総合医療センター脳神経外科

### P14-2 定位的頭蓋内脳波 (SEEG) のリファレンス・接地電極で発生した皮膚障害の対応と予防策

Prevention of Skin Problems Associated with Reference and Ground Electrodes in Stereotactic Electroencephalogram

- 出村 彩郁<sup>1)</sup>、菊池 隆幸<sup>1)</sup>、山田 大輔<sup>1)</sup>、澤田 真寛<sup>1)</sup>、吉田 健司<sup>2)</sup>、小林 勝哉<sup>3)</sup>、下竹 昭寛<sup>3)</sup>、松橋 眞生<sup>1)</sup>、池田 昭夫<sup>4)</sup>、荒川 芳輝<sup>1)</sup>

- 1) 京都大学医学部附属病院脳神経外科 2) 京都大学医学部附属病院小児科  
3) 京都大学医学部附属病院脳神経内科 4) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学

### P14-3 頭皮上脳波での発作時 direct current (DC) shifts と眼球運動の鑑別における横双極モニタージェの有用性

The utility of transverse bipolar montage in distinguishing ictal (direct current) DC shifts from eye movement artifact in scalp EEG

- 安達 智美<sup>1)</sup>、十川 純平<sup>2)</sup>、梶川 駿介<sup>3)</sup>、中谷 光良<sup>4)</sup>、金澤 恭子<sup>5)</sup>、小林 勝哉<sup>1)</sup>、松橋 眞生<sup>6)</sup>、高橋 良輔<sup>1)</sup>、池田 昭夫<sup>6)</sup>

- 1) 京都大学大学院医学研究科臨床神経学 2) 京都大学大学院医学研究科呼吸管理睡眠制御学講座  
3) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター脳神経内科  
4) 順天堂大学医学部附属練馬病院脳神経内科 5) 国立精神・神経医療研究センター脳神経内科  
6) 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

### P14-4 知的障害併存てんかん患者における脳波複雑性は意識をなくす発作と激しい自傷行動と関連するか：予備的検討

EEG correlates with seizure without awareness and severe self-injurious behavior in patients with epilepsy and intellectual disability. A pilot study

- 東 英樹、明智 龍男

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

**P14-5 発作間欠期てんかん性精神病における聴性定常反応**

Auditory steady-state response in Interictal Psychosis of Epilepsy

- 藤野 勝、成 儒彬、三笥 良、高井 善史、平野 昭吾、中尾 智博  
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

一般ポスター 15 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 3 日/9 月 14 日(土) 13:30~14:30

**薬物治療 3**

座長:丸山 慎介 (鹿児島大学病院小児科)

**P15-1 ペランパネルの一次単剤療法にて発作抑制に至った痙攣重積型二相性脳症後の驚愕てんかんの 2 例**

Successful primary monotherapy with perampanel in two cases with startle epilepsy followed by AESD

- 青木 雄介、和田 真子、堀田 悠人、武藤 亜希、川口 将宏、相場 佳織、跡部 真人、鈴木 基正、糸見 和也  
あいち小児保健医療総合センター神経内科

**P15-2 高齢者の非痙攣性てんかん重積に有効な薬物療法の検討**

The effective pharmacological treatment of non convulsive status epilepticus in patients more than seventy

- Kumi Nin  
東京北医療センター

**P15-3 当院におけるフェンフルラミンの安全性と有効性**

Safety and efficacy of fenfluramine

- 沼本 真吾<sup>1,2)</sup>、奥村 彰久<sup>1,2)</sup>、和泉 允基<sup>3)</sup>、大森 義範<sup>3)</sup>、藤本 礼尚<sup>3)</sup>  
1) 聖隷浜松病院小児神経科 2) 愛知医科大学小児科  
3) 聖隷浜松病院てんかん・機能神経センター

**P15-4 Soticlestat の抗てんかん発作作用の想定される機序**

Proposed Mechanism of Action of Soticlestat as an Antiseizure Medication

- 藤本 真二<sup>1)</sup>、Naga Venkatesha Murthy<sup>2)</sup>、H. Steve White<sup>3)</sup>、Mahnaz Asgharnejad<sup>2)</sup>、Arturo Benitez<sup>2)</sup>、中島 康祐<sup>4)</sup>、近藤 伸一<sup>4)</sup>  
1) 武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス  
2) Takeda Development Center Americas, Inc.  
3) Center for Epilepsy Drug Discovery, Department of Pharmacy, School of Pharmacy, University of Washington 4) 武田薬品工業株式会社ニューロサイエンス創薬ユニット



**P15-5 CYP2C19 遺伝子多型がラコサミドの薬物動態に与える影響**

Influence of CYP2C19 polymorphism on lacosamide pharmacokinetics

- 白谷 有香、山本 吉章、高橋 幸利、西田 拓司、白井 直敬、今井 克美  
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター臨床研究部

一般ポスター 16 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 3 日/9 月 14 日(土) 13:30~14:30

**社会面・QOL**

座長：吉岡 伸一 (鳥取大学名誉教授)

**P16-1 Dravet 症候群、乳児てんかん性スパズム症候群における COVID-19 感染症、予防接種の 2023 年実態調査**

A 2023 survey of COVID-19 infections and vaccinations in children with Dravet syndrome and infantile epileptic spasms syndrome

- 伊藤 進<sup>1,2,3)</sup>、西川 愛子<sup>1)</sup>、柳下 友映<sup>1)</sup>、黒岩 ルビー<sup>2)</sup>、本田 香織<sup>3)</sup>、永田 智<sup>1)</sup>  
 1) 東京女子医科大学小児科 2) ドラベ症候群患者家族会 3) ウエスト症候群患者会

**P16-2 日本語版 Epilepsy Self-Efficacy Scale の妥当性・信頼性の検討**

The validity and reliability of the Japanese version of Epilepsy Self-Efficacy Scale

- 高橋 健人<sup>1,2)</sup>、藤川 真由<sup>2)</sup>、田崎 勝也<sup>3)</sup>、小川 舞美<sup>2)</sup>、大友 風佳<sup>2)</sup>、神 一敬<sup>2)</sup>、  
 中里 信和<sup>2)</sup>  
 1) 東北大学大学院教育学研究科 2) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野  
 3) 青山学院大学国際政治経済学部国際コミュニケーション学科

**P16-3 日本とマレーシアにおけるてんかんへの一般市民の態度—PATE 尺度を用いた文化比較研究—**

Comparative cultural study using Public Attitudes Toward Epilepsy Scale (PATE scale) in Japan and Malaysia

- 嶋崎 広海<sup>1,2)</sup>、岩山 孝幸<sup>1,3)</sup>、小林 清香<sup>1)</sup>、畠田 順一<sup>1,4)</sup>、Zhi Jien Chia<sup>5)</sup>、吉益 晴夫<sup>1)</sup>、  
 Kheng Seang Lim<sup>5)</sup>  
 1) 埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック 2) 西熊谷病院精神科  
 3) 昭和女子大学人間社会学部心理学科 4) 東松山病院精神科  
 5) Division of Neurology, Department of Medicine, Faculty of Medicine, University of Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia

**P16-4 一般市民のてんかんに対する意識調査 (第 2 報)**

Questionnaire Survey on the General Public's Awareness of Epilepsy (2nd Report)

- 温井 めぐみ<sup>1,5)</sup>、福岡 正隆<sup>1,5)</sup>、岡崎 伸<sup>1,5)</sup>、大星 大観<sup>2,5)</sup>、木水 友一<sup>3,5)</sup>、井上 岳司<sup>1,5)</sup>、  
 九鬼 一郎<sup>1,5)</sup>、最上 友紀子<sup>3,5)</sup>、小出 泰道<sup>4,5)</sup>  
 1) 大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科 2) 市立伊丹病院小児科  
 3) 大阪母子医療センター小児神経科 4) 小出内科神経科 5) パープルデー大阪実行委員会

**P16-5 知的障害を伴うてんかん患者に対するアドバンス・ケア・プランニングの経験**  
Experiences of advance care planning in epileptic patients with intellectual disability

○野崎 章仁<sup>1)</sup>、春山 瑳依子<sup>2)</sup>

1) 滋賀県立小児保健医療センター遺伝科

2) 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療倫理学・遺伝医療学分野

**P16-6 小児期に発症した焦点てんかん患者の成人科への移行時期と就労状況**  
Investigation of transition period and employment status among patients with childhood onset epilepsy

○小川 舞美<sup>1)</sup>、神 一敬<sup>1)</sup>、浮城 一司<sup>1)</sup>、藤川 真由<sup>1)</sup>、大友 風佳<sup>1)</sup>、高橋 健人<sup>1)</sup>、

此松 和俊<sup>2)</sup>、久保田 隆文<sup>2)</sup>、柿坂 庸介<sup>3)</sup>、中里 信和<sup>1)</sup>

1) 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 2) 東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野

3) 東北大学大学院医学系研究科医学教育推進センター

**P16-7 てんかんの精神科トランジションにおける神経発達症・強度行動障害の特徴について**  
Characteristics of neurodevelopmental disorder and challenging behavior in psychiatric transitions of epilepsy

○Yuichiro Fuji、谷口 豪、大竹 眞央、加藤 英生、中田 千尋、中川 栄二

国立精神・神経医療研究センター病院

---

一般ポスター 17 ポスター会場 (福岡国際会議場 2階 多目的ホール) 第3日/9月14日(土) 13:30~14:30

---

**精神症状**

座長：栗田 紹子 (市立稚内病院精神科)

**P17-1 心因性非てんかん発作を合併するてんかん患者における発作所見の検討**  
Seizure findings in patients with epilepsy and concomitant psychogenic non-epileptic seizures

○松原 崇一朗<sup>1)</sup>、宮野 遼太郎<sup>1)</sup>、甲斐 恵太郎<sup>2)</sup>、浜崎 禎<sup>3)</sup>、原田 美保<sup>3)</sup>、植田 光晴<sup>1)</sup>

1) 熊本大学病院脳神経内科 2) 熊本大学病院脳神経外科 3) 熊本大学病院中央検査部

**P17-2 現実感喪失を呈した発作性の既知体験を伴うてんかん症例**  
Derealization in a patient with epilepsy with ictal illusion of familiarity

○安元 眞吾、本岡 大道、増本 政也、小曾根 基裕

久留米大学医学部神経精神医学講座

**P17-3** 発症後に精神状態の悪化を認めたが、脳波所見とともに精神状態も改善した Jeavons 症候群の 1 例

A case of Jeavons syndrome in which deterioration of mental condition was observed after onset, but mental condition improved along with improvement in electroencephalogram findings

- 石井 雅宏  
北九州総合病院

**P17-4** クロザピンによる発作発現リスク～服用患者 107 例における検討～

Risk of Seizure Occurrence with Clozapine—A Study of 107 Patients—

- 松野 陽介<sup>1)</sup>、原 広一郎<sup>1)</sup>、飯塚 大祐<sup>2)</sup>、清水 健生<sup>2)</sup>、福尾 ゆかり<sup>2)</sup>、岩佐 博人<sup>1,3)</sup>

1) 浅井病院精神科 2) 浅井病院薬剤部 3) 千葉県循環器病センター/てんかんセンター精神科

---

一般ポスター 18 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 3 日/9 月 14 日(土) 13:30~14:30

---

**医療システム (連携・移行等)**

座長: 山中 岳 (東京医科大学小児科・思春期科学分野)

**P18-1** nana-medi を用いてオンラインセカンドオピニオンを行った難治てんかん例について

Cases of refractory epilepsy with online second opinion using nana-medi

- 岡崎 伸<sup>1)</sup>、九鬼 一郎<sup>1)</sup>、山川 康平<sup>1)</sup>、石岡 梨紗子<sup>1)</sup>、松原 康平<sup>1)</sup>、福岡 正隆<sup>1)</sup>、  
温井 めぐみ<sup>1)</sup>、井上 岳司<sup>1)</sup>、中川 栄二<sup>2)</sup>

1) 大阪市立総合医療センター小児脳神経言語療法内科 2) 国立精神・神経医療研究センター病院

**P18-2** 一般小児科診療所におけるてんかん診療の実際と問題点

Practices and Problems in Epilepsy Care in General Pediatric Clinic

- 田島 大輔、柳島 正博  
やなぎしまこども医院

**P18-3** 大分県のでんかん医療提供体制の現状と課題～大分県てんかん支援拠点病院事業による調査より～

Current Status and Challenges of the Epilepsy Healthcare Delivery System in Oita Prefecture

- 松田 浩幸<sup>1,2,3)</sup>、佐々木 基子<sup>3)</sup>、上田 徹<sup>4)</sup>、柳田 暢志<sup>2)</sup>、秦 暢宏<sup>2)</sup>、藤木 稔<sup>2)</sup>

1) 大分大学医学部附属病院医療情報部 2) 大分大学医学部脳神経外科

3) 大分県てんかん地域診療連携体制整備事業 4) かみだ脳神経クリニック

**P18-4** 当施設における小児てんかん患者の特徴と他診療科との連携

Characteristics of pediatric epilepsy patients at our institution and collaboration with other departments

- 浅倉 佑太、堀口 明由美、永井 康平、小島 華林、村松 一洋、小坂 仁  
自治医科大学小児科

一般ポスター 19 ポスター会場 (福岡国際会議場 2 階 多目的ホール) 第 3 日/9 月 14 日 (土) 13:30~14:30

### 症例報告 3

座長：小玉 聡 (東京大学医学系研究科神経内科学)

#### P19-1 ベンゾジアゼピン・レベチラセタム・ラコサミド無効の持続性部分てんかんにペランパネルが著効した一例

Perampanel for intractable epilepsy partialis continua : a case report

○釘崎 里咲<sup>1)</sup>、加藤 量広<sup>2)</sup>、三浦 祐太郎<sup>1)</sup>、大友 智<sup>3)</sup>

1) みやぎ県南中核病院検査診療部検査部 2) みやぎ県南中核病院脳神経内科

3) みやぎ県南中核病院脳神経外科

#### P19-2 脳室心房シャント術後 2 年後に遅発性脳出血によるてんかん発作を生じた 1 例

A case of epileptic seizures due to delayed cerebral haemorrhage two years after ventriculo-atrial shunt surgery

○吉富 宗健<sup>1,2)</sup>、野中 崇久<sup>1,2)</sup>、昇 竜正<sup>1,2)</sup>、宮城 尚久<sup>1,2)</sup>、岡本 右滋<sup>1)</sup>、梶原 収功<sup>1)</sup>、森岡 基浩<sup>2)</sup>

1) 済生会八幡総合病院脳神経外科 2) 久留米大学医学部脳神経外科

#### P19-3 当院で出生した 18 トリソミー児におけるてんかんの特徴

Characteristics of epilepsy in children with 18 trisomy born in our hospital

○野村 俊介<sup>1)</sup>、平岩 明子<sup>1)</sup>、平井 宏子<sup>1)</sup>、長岡 貢秀<sup>2)</sup>、猪又 智実<sup>2)</sup>、川崎 裕香子<sup>2)</sup>、田村 賢太郎<sup>2)</sup>、田中 朋美<sup>1)</sup>、宮 一志<sup>3)</sup>、吉田 丈俊<sup>2)</sup>、今井 千早<sup>1)</sup>

1) 富山大学小児科 2) 富山大学周産母子センター 3) 富山大学教育学部

#### P19-4 発症後 4 ヶ月の血液浄化療法で効果を認めた cNORSE の 19 歳男性例

A case of a 19-year-old male with cNORSE who was effective after blood purification therapy 4 months after onset

○伊佐早 健司<sup>1)</sup>、日野 栄絵<sup>1)</sup>、鎗木 真弓<sup>1)</sup>、高 理世子<sup>1)</sup>、川澤 貴幸<sup>1)</sup>、赤松 伸太郎<sup>1)</sup>、松森 隆史<sup>2)</sup>、太組 一郎<sup>2)</sup>、須賀 裕樹<sup>3)</sup>

1) 聖マリアンナ医科大学脳神経内科 2) 聖マリアンナ医科大学脳神経外科てんかんセンター

3) 公立昭和病院脳神経内科

#### P19-5 痙攣重積にて発症し治療時期に検討を要したラスムッセン症候群の 63 歳男性例

A case of a 63-year-old man with Rasmussen's encephalopathy, which developed due to status seizures and required consideration of the timing of treatment

○赤松 伸太郎<sup>1)</sup>、伊佐早 健司<sup>1)</sup>、日野 栄絵<sup>1)</sup>、鎗木 真弓<sup>1)</sup>、高 理世子<sup>1)</sup>、川澤 貴幸<sup>1)</sup>、松森 隆史<sup>2)</sup>、太組 一郎<sup>2)</sup>、高橋 幸利<sup>3)</sup>、山野 嘉久<sup>1)</sup>

1) 聖マリアンナ医科大学脳神経内科 2) 聖マリアンナ医科大学脳神経外科てんかんセンター

3) 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター